

医療機関における外国人患者の
受入に係る実態調査
結果報告書

令和3年3月
厚生労働省

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の背景目的	3
2. 調査の目的	3
3. 調査の対象及び調査時期	3
4. 調査実施方法	4
5. 回収結果	4
6. 報告書を見る際の注意事項	4
第2章 調査結果（病院）	5
I. 調査票 A 結果	7
1. 回答した医療機関の基本情報	7
(1) 開設者 (SA)	7
(2) 許可病床数 (FA)	7
(3) 総患者数 (外来) (FA)	8
(4) 総患者数 (入院) (FA)	8
(5) 医療機関の種別 (MA)	9
(6) 診療科目 (MA)	10
2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて	11
(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)	11
(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)	12
(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)	13
(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)	14
(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)	15
3. 外国人患者に対応する体制について	16
3-1. 外国人患者の受入れに関する体制	16
(1) - 1 自院における外国人患者の受診状況（患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等） (SA)	16
(1) - 2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出 (SA)	16
(1) - 3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について (SA)	17
3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況	18
(2) - 1 外国人患者対応専門部署の有無 (SA)	18
(2) - 2 外国人担当の専門部署の職員数 (SA)	18
(2) - 3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)	19
3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター	19

(3) - 1	外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)	19
(3) - 2	外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)	20
(3) - 3	外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)	21
(3) - 4	外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)	22
(3) - 5	外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)	23
(3) - 6	外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)	24
(3) - 7	外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)	25
3-4.	医療通訳	26
(4) - 1	医療通訳の人数 (FA)	26
(4) - 2	医療通訳の専任・兼任の別 (SA)	26
(4) - 3	医療通訳の兼職 (MA)	27
(4) - 4	医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)	28
(4) - 5	医療通訳がカバーしている日時 (SA)	28
(4) - 6	医療通訳の対応言語 (MA)	29
(4) - 7	医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)	30
3-5.	電話通訳 (遠隔通訳)	31
(5) - 1	電話通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)	31
(5) - 2	電話通訳 (遠隔通訳) がカバーしている日時 (SA)	31
(5) - 3	電話通訳 (遠隔通訳) の対応言語 (MA)	32
3-6.	ビデオ通訳 (遠隔通訳)	33
(6) - 1	ビデオ通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)	33
(6) - 2	ビデオ通訳 (遠隔通訳) がカバーしている日時 (SA)	33
(6) - 3	ビデオ通訳 (遠隔通訳) の対応言語 (MA)	34
3-7.	外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況	35
(7) - 1	タブレット端末等の利用状況 (SA)	35
(7) - 2	タブレット端末等に備わっている機能 (MA)	36
(7) - 3	翻訳機能の対応言語 (MA)	37
3-8.	院内案内図、院内表示	38
(8) - 1	院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)	38
(8) - 2	院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)	39
3-9.	多言語に対応するためのその他の取組 (FA)	40
4.	医療費 (自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費) について	41
(1)	診療報酬点数「1点」あたりの請求額 (SA)	41
(2)	診療報酬点数表に含まれてない追加的費用の内容 (MA)	42
5.	キャッシュレス決済について	43
(1)	非接触カードを利用した決済の導入状況 (SA)	43
(2)	クレジットカード (デビットカードを含む) を利用した決済の導入状況 (SA)	44
(3)	対応している非接触カード (MA)	45

(4) QRコードを利用した決済の導入状況 (SA)	46
(5) 対応しているQRコードサービス (MA)	47
(6) その他の決済サービスの利用状況 (FA)	48
6. 未収金等への対策について	49
6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している、取り組み	49
(1) - 1 訪日外国人患者に対して実施している取組 (MA)	49
(1) - 2 同意書の同意内容 (MA)	50
6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み	51
(2) - 1 在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)	51
(2) - 2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)	52
6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法	53
(3) - 1 医療費の回収方法 (MA)	53
II. 調査票B結果	54
1. 在留外国人患者の受入れ実績について	54
(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (SA)	54
(2) 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数 (在留外国人) (FA)	55
(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数 (在留外国人) (SA)	56
(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)	57
2. 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の受入れ実績について	58
(1) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の受入れの有無及び延べ人数 (SA)	58
(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (SA)	59
(3) 受入れた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の国籍別の延べ人数 (MA)	60
(4) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) への自由診療による収益の割合	61
3. 訪日外国人患者 (医療目的) の受入れ実績について	62
(1) 訪日外国人患者 (医療目的) の受入れの有無及び延べ人数 (SA)	62
(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数 (訪日外国人患者 (医療目的)) (SA)	63
(3) 受入れた訪日外国人患者 (医療目的) の国籍別の延べ人数 (MA)	64
(4) 受入れた訪日外国人患者 (医療目的) の ICD 分類 (FA)	65
(5) 訪日外国人患者 (医療目的) への自由診療による収益の割合	66
4. 未収金を生じた患者について	67
(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)	67
(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)	68
(3) 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) (FA)	69
(4) 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) (FA)	70
第3章 調査結果 (診療所)	71
I. 調査票A結果	73
1. 回答した医療機関の基本情報	73
(1) 開設者 (SA)	73

(2) 総患者数 (外来) (FA)	73
(3) 総患者数 (入院) (FA)	74
(4) 医療機関の種別 (MA)	74
(5) 診療科目 (MA)	75
2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて.....	76
(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)	76
(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)	76
(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)	77
(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)	77
(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)	78
3. 外国人患者に対応する体制について	79
3-1. 外国人患者の受入れに関する体制.....	79
(1) - 1 自院における外国人患者の受診状況 (患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等) (SA)	79
(1) - 2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出 (SA)	79
(1) - 3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について (SA)	80
3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況.....	80
(2) - 1 外国人患者対応の専門部署の有無 (SA)	80
(2) - 2 外国人担当の専門部署の職員数 (SA)	80
(2) - 3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)	81
3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター	81
(3) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)	81
(3) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)	82
(3) - 3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)	82
(3) - 4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)	83
(3) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)	83
(3) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)	84
(3) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)	85
3-4. 医療通訳	85
(4) - 1 医療通訳の人数 (FA)	85
(4) - 2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)	86
(4) - 3 医療通訳の兼職 (MA)	86
(4) - 4 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)	87
(4) - 5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)	87
(4) - 6 医療通訳の対応言語 (MA)	88
(4) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)	88
3-5. 電話通訳 (遠隔通訳)	89
(5) - 1 電話通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)	89

(5) - 2 電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時（SA）	89
(5) - 3 電話通訳（遠隔通訳）の対応言語（MA）	90
3-6. ビデオ通訳（遠隔通訳）	91
(6) - 1 ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）	91
(6) - 2 ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時（SA）	91
(6) - 3 ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語（MA）	92
3-7. 外国人患者の受入りに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況	93
(7) - 1 タブレット端末等の利用状況（SA）	93
(7) - 2 タブレット端末等に備わっている機能（MA）	93
(7) - 3 翻訳機能の対応言語（MA）	94
3-8. 院内案内図、院内表示	95
(8) - 1 院内案内図、院内表示の多言語化状況（SA）	95
(8) - 2 院内案内図、院内表示の対応言語（MA）	95
3-9. 多言語に対応するためのその他の取組（FA）	96
4. 医療費（自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費）について	97
(1) 診療報酬点数「1点」あたりの請求額（SA）	97
(2) 診療報酬点数表に含まれてない追加的費用の内容（MA）	97
5. キャッシュレス決済について	98
(1) クレジットカード（デビットカードを含む）を利用した決済の導入状況（SA）	98
(2) 非接触カードを利用した決済の導入状況（SA）	98
(3) 対応している非接触カード（MA）	99
(4) QR コードを利用した決済の導入状況（SA）	99
(5) 対応しているQRコードサービス（MA）	100
(6) その他の決済サービスの利用状況（FA）	100
6. 未収金等への対策について	101
6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している、取り組み	101
(1) - 1 訪日外国人患者に対して実施している取組（MA）	101
(1) - 2 同意書の同意内容（MA）	102
6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み	102
(2) - 1 在留外国人への本人確認実施の有無（SA）	102
(2) - 2 本人確認時に提示を求めているもの（MA）	103
6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法	104
(3) - 1 医療費の回収方法（MA）	104
II. 調査票B結果	105
1. 在留外国人患者の受入れ実績について	105
(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数（SA）	105
(2) 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数（在留外国人）（FA）	105
(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（在留外国人）（SA）	106

(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)	107
2. 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の受入れ実績について.....	108
(1) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の受入れの有無及び延べ人数 (SA)	108
(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (SA)	108
(3) 受入れた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の国籍別の延べ人数 (MA)	109
(4) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) への自由診療による収益の割合	110
3. 訪日外国人患者 (医療目的) の受入れ実績について.....	111
(1) 訪日外国人患者 (医療目的) の受入れの有無及び延べ人数 (SA)	111
(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数 (訪日外国人患者 (医療目的)) (SA) ...	111
(3) 受入れた訪日外国人患者 (医療目的) の国籍別の延べ人数 (MA)	112
(4) 受入れた訪日外国人患者 (医療目的) の ICD 分類 (FA)	113
(5) 訪日外国人患者 (医療目的) への自由診療による収益の割合	113
4. 未収金を生じた患者について	114
(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)	114
(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)	115
(3) 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) (FA)	115
(4) 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) (FA)	115
<巻末資料>	117
調査票.....	119

第1章 調査の概要

1. 調査の背景目的

我が国では、「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成 28 年 3 月明日の日本を支える観光ビジョン構想会議)において、2030 年には 6,000 万人の訪日外国人旅行者数を目標として観光先進国の実現を目指している。このような中、健康・医療戦略推進本部のもとに設置された「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」において、「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に向けた総合対策」が取りまとめられ、現在、関係府省庁が連携して取組を進めている。

また、平成 31 年 4 月からの新たな外国人材の受入れ制度の開始に伴い、在留外国人が日本各地において医療を受けることが予想されるため、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」(外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議)に基づき、全ての居住圏において外国人患者が安心して受診できる体制の整備を進めることとしている。

今後も、日本の医療機関を受診する外国人患者が増加すると思われる中、外国人患者が円滑に医療機関を受診するにあたり、医療機関だけではなく、地方自治体、観光事業者・宿泊事業者等が連携して、地域全体として、外国人患者の受入れ体制を構築する事が重要と考えられる。

この際、外国人に対する医療提供体制の現状を把握する必要があることから、厚生労働省において全国の病院と一部の診療所を対象とし、医療機関の外国人患者受入れ能力向上のための指導、監督に必要な基礎資料を得ることを目的として、実態調査を行うこととした。

2. 調査の目的

本調査は、その目的によって調査票を調査票 A, 調査票 B の 2 つに分けて行った。

それぞれの調査票は以下の様な目的で調査した。

- ・調査票 A : 医療機関における外国人患者受入れ体制に関する調査
- ・調査票 B : 医療機関における外国人患者受入れに関する調査

調査票 B では、受診された患者を一ヶ月間追跡調査している。

また、本調査では未収金について、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より一ヶ月を経ても診療費の一部又は全額を支払っていない場合としている。

3. 調査の対象及び調査時期

調査の対象とした医療機関は、調査対象者は全国の病院及び京都府及び沖縄県に所在する診療所である。

調査時期は以下のとおりである。

(ア) 病院

- ・調査票 A 令和 2 年 9 月 1 日時点
- ・調査票 B 令和 2 年 10 月 1 日～令和 2 年 10 月 31 日

(イ) 京都府及び沖縄県に所在する診療所

- ・調査票 A 令和 2 年 9 月 1 日時点
- ・調査票 B 令和 2 年 10 月 1 日～令和 2 年 10 月 31 日

4. 調査実施方法

アンケート協力依頼を送付、調査票を厚生労働省ホームページからダウンロード、メールにより電子的に回収。

5. 回収結果

本調査での回収結果は下表に示すとおりである。

表 1 回収結果

調査票種類	対象数 ¹⁾	回収数	回収率
病院を調査対象とした調査票 A	8,277件	4,800件	58.0%
病院を調査対象とした調査票 B	8,277件	4,097件	49.5%
京都府及び沖縄県の診療所を調査対象とした調査票 A	5,018件	963件	19.2%
京都府及び沖縄県の診療所を調査対象とした調査票 B	5,018件	727件	14.5%

1) 2020年10月1日時点

6. 報告書を見る際の注意事項

図表中のnは設問に対する回答者数で、比率計算の基数を示している。

- (1) 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。なお、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%を上下する場合がある。
- (2) グラフ内の数値は「割合(医療機関数)」で表している。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) クロス集計の合計は、設問に対して全ての区分を示していないことや、複数の区分に該当する医療機関があることなどにより、全体の合計とは合わない場合がある。
- (5) 本報告書で「救急医療機関」は、第2次救急医療機関及び救命救急センターを指す。

「JMIPもしくはJIH登録医療機関」は、「JMIP認証病院(※1)」および「ジャパンインターナショナルホスピタルズ(※2)」を指す。

また、「拠点的な医療機関」は「外国人患者を受入れる拠点的な医療機関」の選出及び受診体制に係る情報の取りまとめについて(依頼)(平成31年3月26日付け医政総発0326第3号、観参発800号)に基づき都道府県によって選出された医療機関を指す。

※1 一般財団法人日本医療教育財団により認証された医療機関。

※2 一般社団法人Medical Excellence JAPANにより推奨されている医療機関。

- (6) 報告書中の略語は以下を指す。

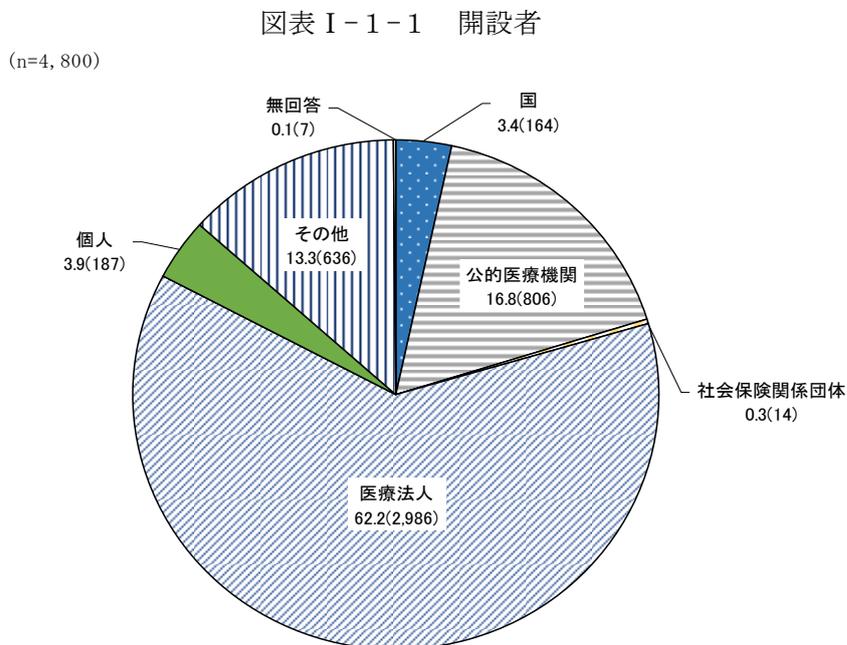
- * FA 自由回答
- * MA 複数回答
- * SA 単一回答

第2章 調査結果（病院）

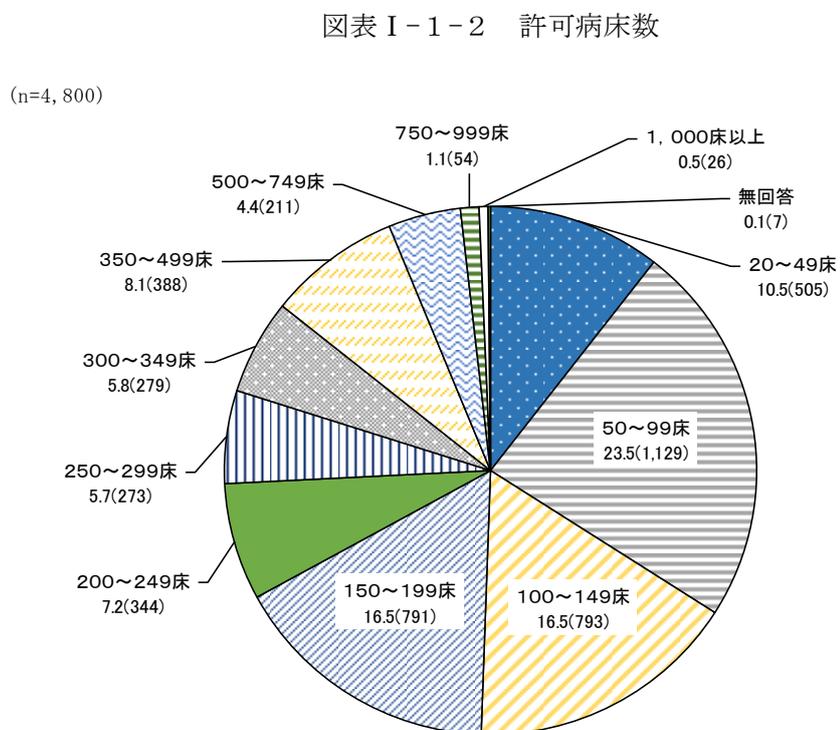
I. 調査票 A 結果

1. 回答した医療機関の基本情報

(1) 開設者 (SA)



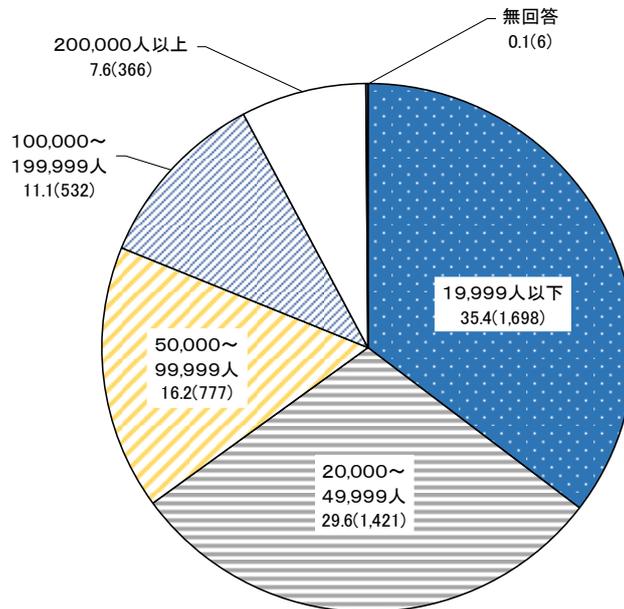
(2) 許可病床数 (FA)



(3) 総患者数 (外来) (FA)

図表 I-1-3 総患者数 (外来)

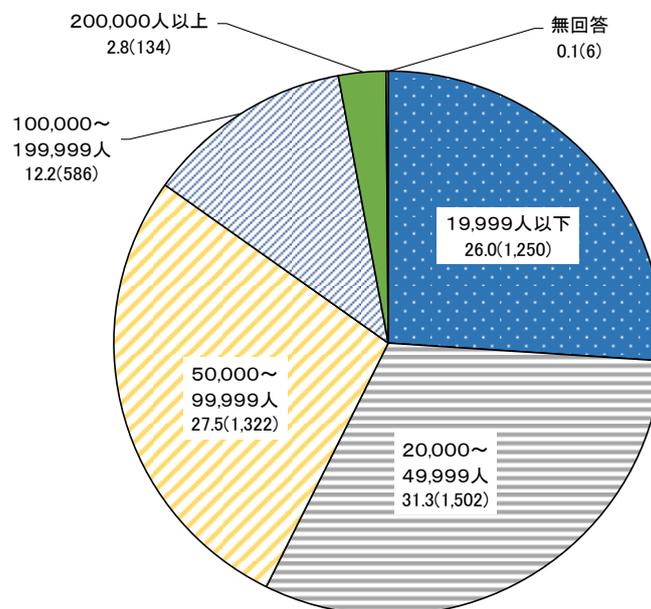
(n=4,800)



(4) 総患者数 (入院) (FA)

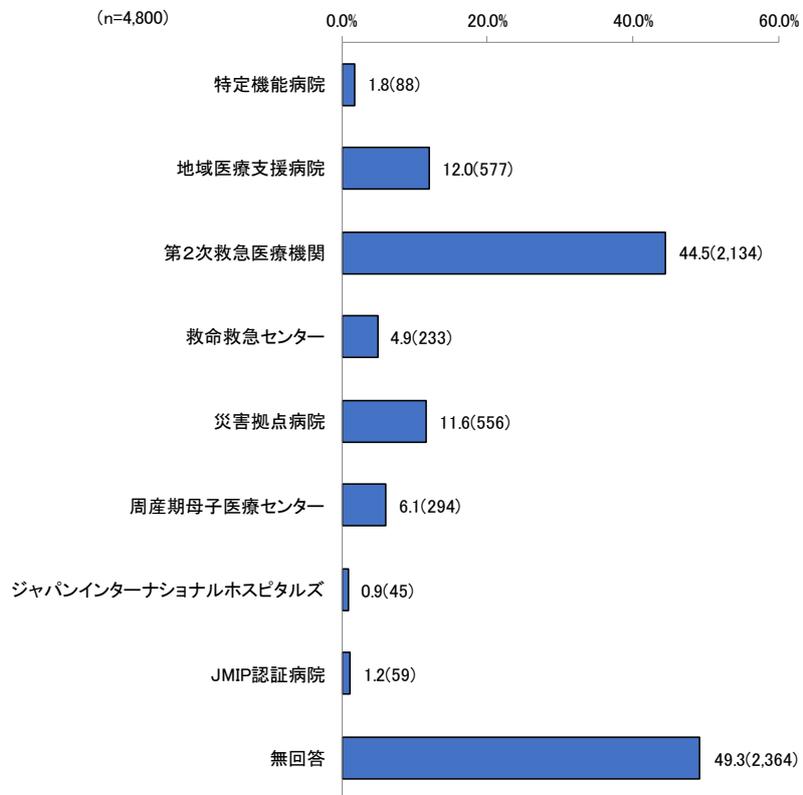
図表 I-1-4 総患者数 (入院)

(n=4,800)



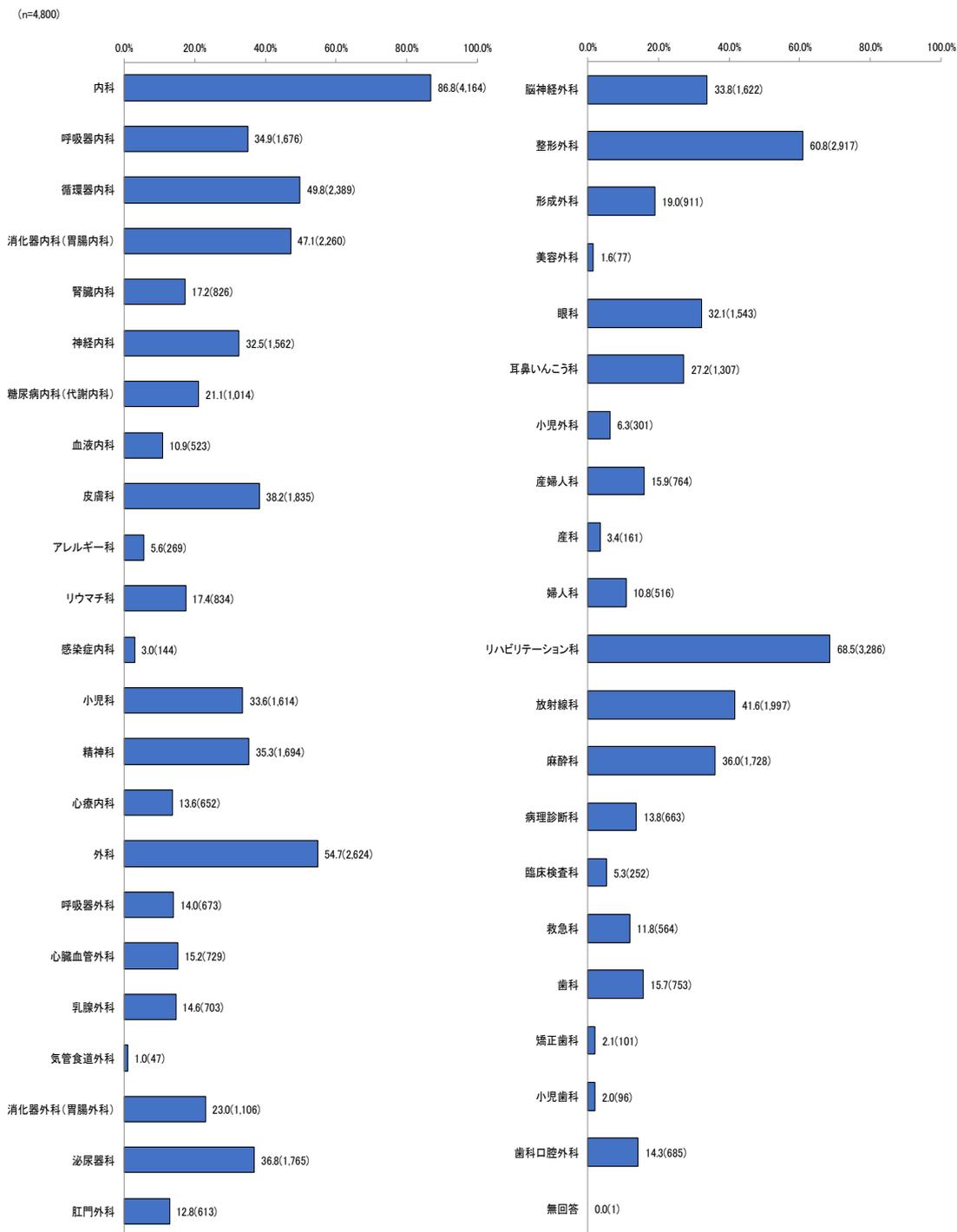
(5) 医療機関の種別 (MA)

図表 I-1-5 医療機関の種別



(6) 診療科目 (MA)

図表 I-1-6 診療科目



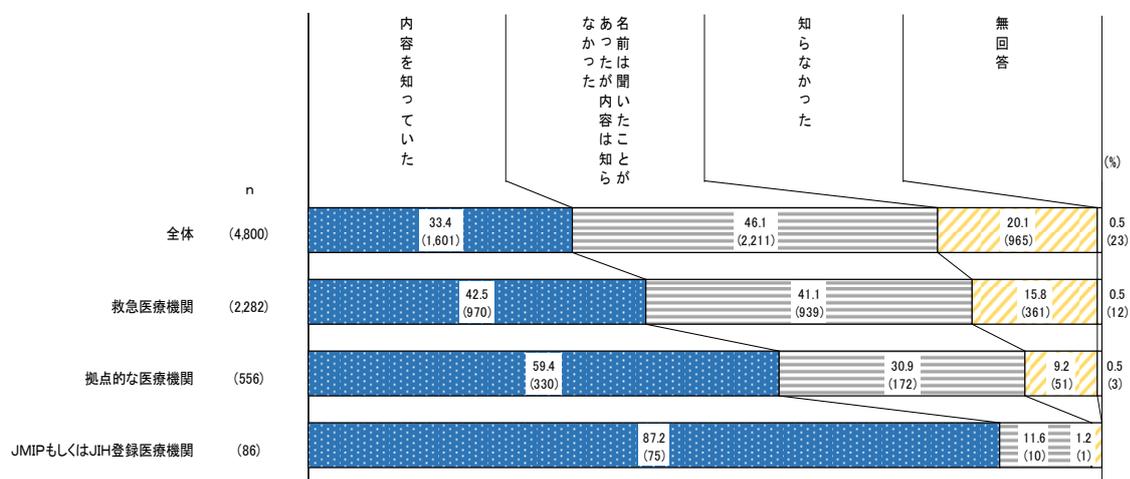
2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)

外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアルについてその認知度を聞いたところ、「内容を知っていた」が33.4%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が46.1%、「知らなかった」が20.1%、「無回答」が0.5%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関は「内容を知っていた」が42.5%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が41.1%となっている。拠点的な医療機関は「内容を知っていた」が59.4%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が30.9%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「内容を知っていた」が87.2%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が11.6%となっている。

図表 I-2-1 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度

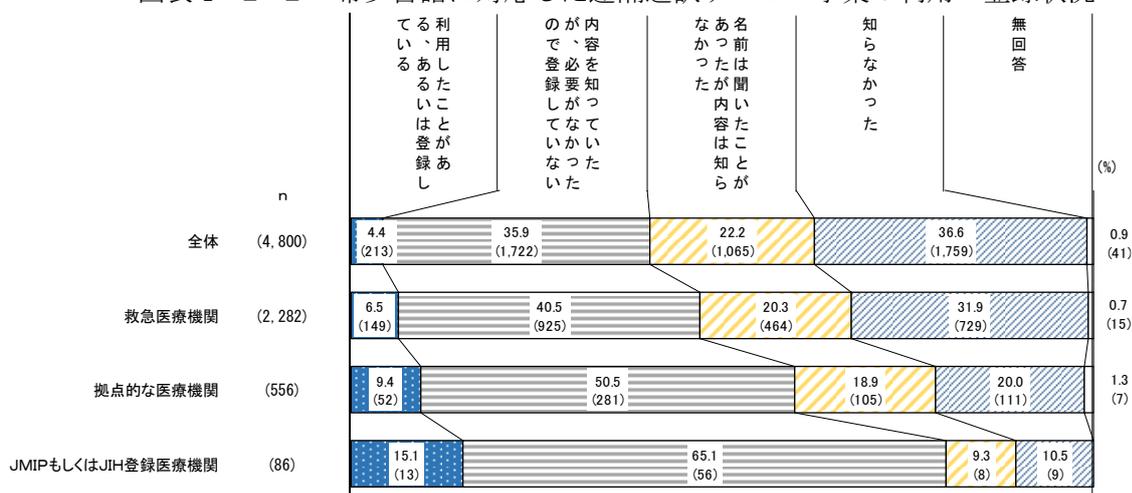


(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)

希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業についてその利用・登録状況を聞いたところ、「利用したことがある、あるいは登録している」4.4%、「内容を知っていたが、必要がなかったため登録していない」が35.9%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が22.2%、「知らなかった」が36.6%、「無回答」が0.9%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関は「内容を知っていたが、必要がなかったため登録していない」が40.5%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が20.3%となっている。拠点的な医療機関は「内容を知っていたが、必要がなかったため登録していない」が50.5%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が18.9%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「内容を知っていたが、必要がなかったため登録していない」が65.1%で最も高く、次いで「利用したことがある、あるいは登録している」が15.1%となっている。

図表 I-2-2 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況

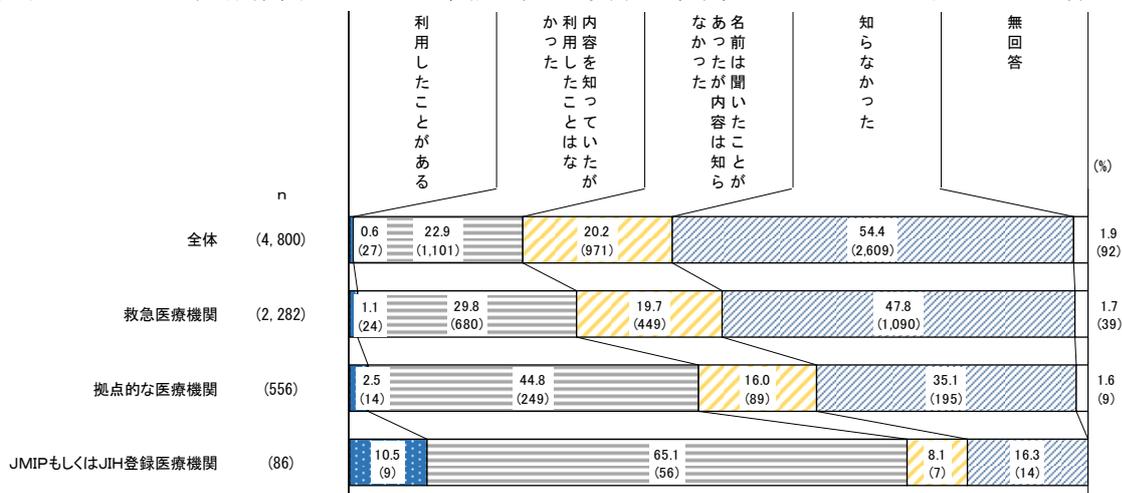


(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)

医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が0.6%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が22.9%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が20.2%、「知らなかった」が54.4%、「無回答」が1.9%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関は「知らなかった」が47.8%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」が29.8%となっている。拠点的な医療機関は「内容を知っていたが利用したことはなかった」が44.8%で最も高く、次いで「知らなかった」が35.1%となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「内容を知っていたが利用したことはなかった」が65.1%で最も高く、次いで「知らなかった」が16.3%となっている。

図表 I-2-3 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況

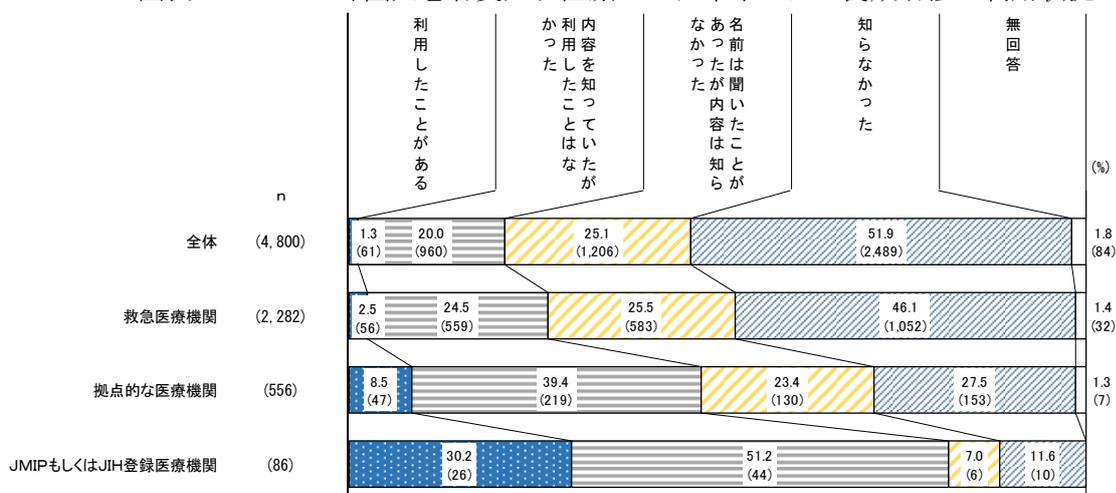


(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が1.3%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が20.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が25.1%、「知らなかった」が51.9%、「無回答」が1.8%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「知らなかった」が46.1%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が25.5%となっている。拠点的な医療機関は、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が39.4%で最も高く、次いで「知らなかった」が27.5%となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「内容を知っていたが利用したことはなかった」が51.2%で最も高く、次いで「利用したことがある」が30.2%となっている。

図表 I-2-4 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況

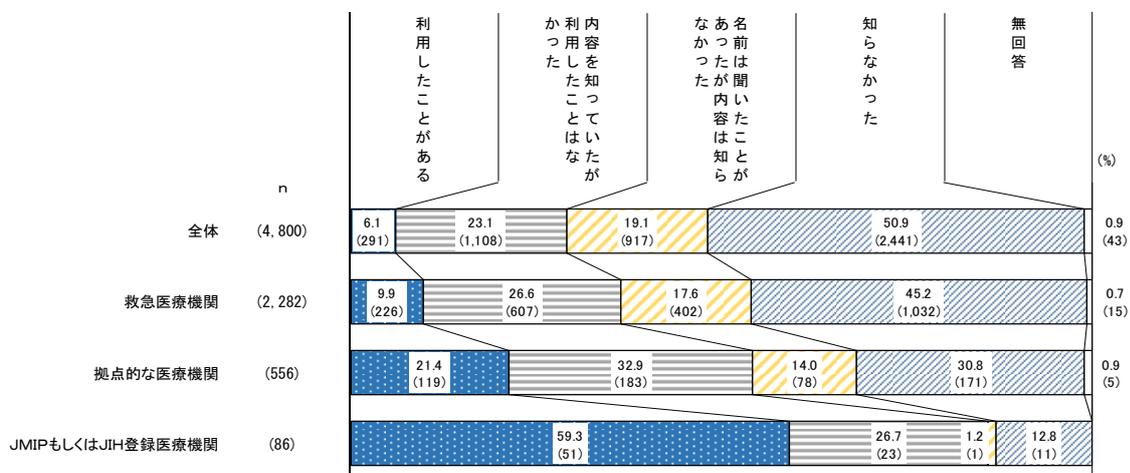


(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)

外国人向け多言語説明資料一覧についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が6.1%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が23.1%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が19.1%、「知らなかった」が50.9%、「無回答」が0.9%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「知らなかった」が45.2%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」が26.6%となっている。拠点的な医療機関は、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が32.9%で最も高く、次いで「知らなかった」が30.8%となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「利用したことがある」が59.3%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」26.7%となっている。

図表 I-2-5 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況



3. 外国人患者に対応する体制について

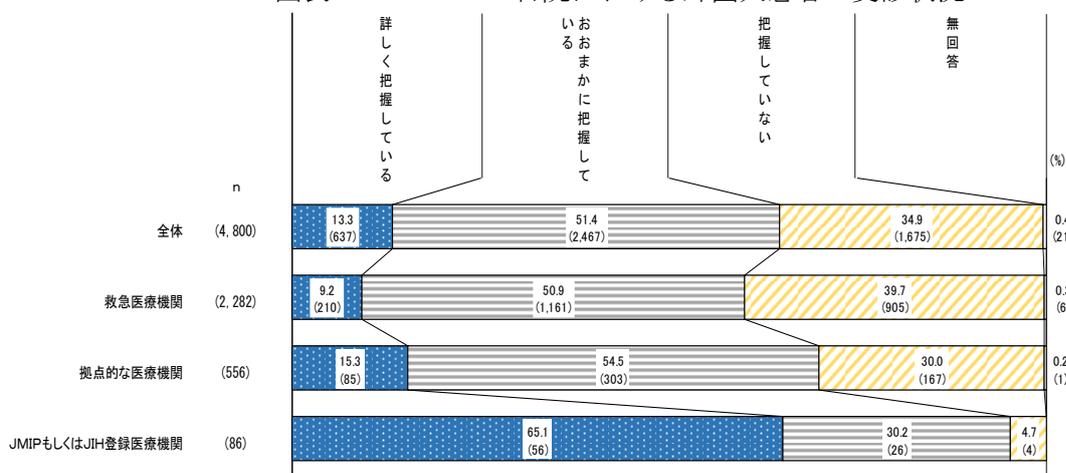
3-1. 外国人患者の受入れに関する体制

(1) - 1 自院における外国人患者の受診状況（患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等）(SA)

自院における外国人患者の受診状況を把握しているか聞いたところ、「詳しく把握している」が13.3%、「おおまかに把握している」が51.4%、「把握していない」が34.9%、「無回答」が0.4%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は、「おおまかに把握している」が50.9%で最も多く、次に「把握していない」が39.7%となっている。拠点的な医療機関は、「おおまかに把握している」が54.5%で最も多く、次いで「把握していない」が30.0%となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「詳しく把握している」が65.1%で最も多く、次いで「おおまかに把握している」が30.2%となっている。

図表 I-3-1-1 自院における外国人患者の受診状況

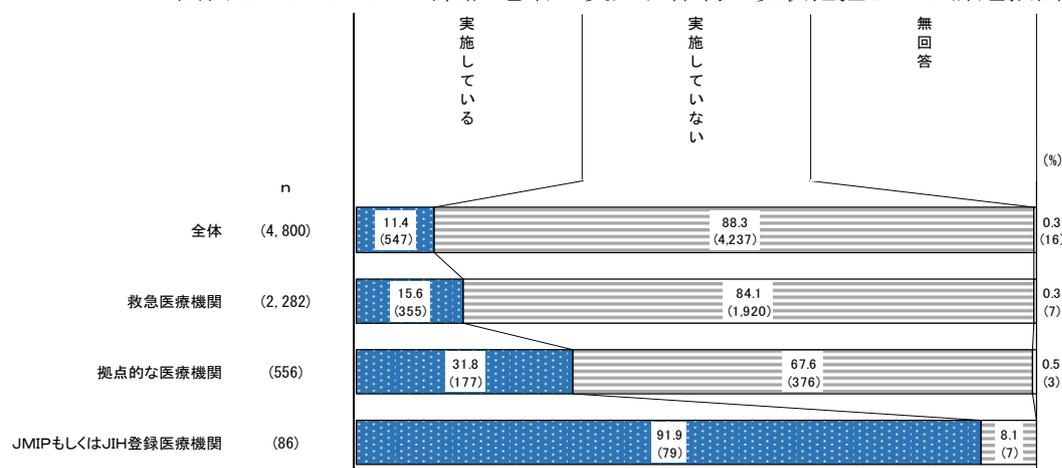


(1) - 2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出 (SA)

外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出について聞いたところ、「実施している」が11.4%、「実施していない」が88.3%、「無回答」が0.3%となっている。

医療機関の種別でみると、「実施している」が、救急医療機関では15.6%、拠点的な医療機関では31.8%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では91.9%となっている。

図表 I-3-1-2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出

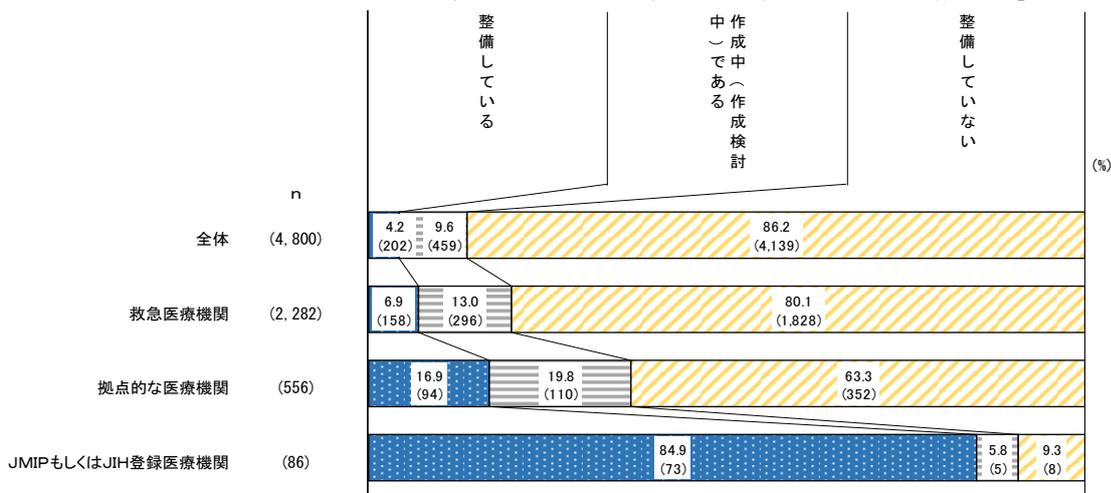


(1) - 3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について (SA)

自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について聞いたところ、「整備している」が4.2%、「作成中（作成検討中）である」が9.6%、「整備していない」が86.2%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「整備していない」が80.1%で最も高く、次いで「作成中（作成検討中）である」13.0%となっている。拠点的な医療機関では「整備していない」が63.3%で最も高く、次いで「作成中（作成検討中）である」が19.8%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「整備している」が84.9%で最も高く、次いで「整備していない」が9.3%となっている。

図表 I-3-1-3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」



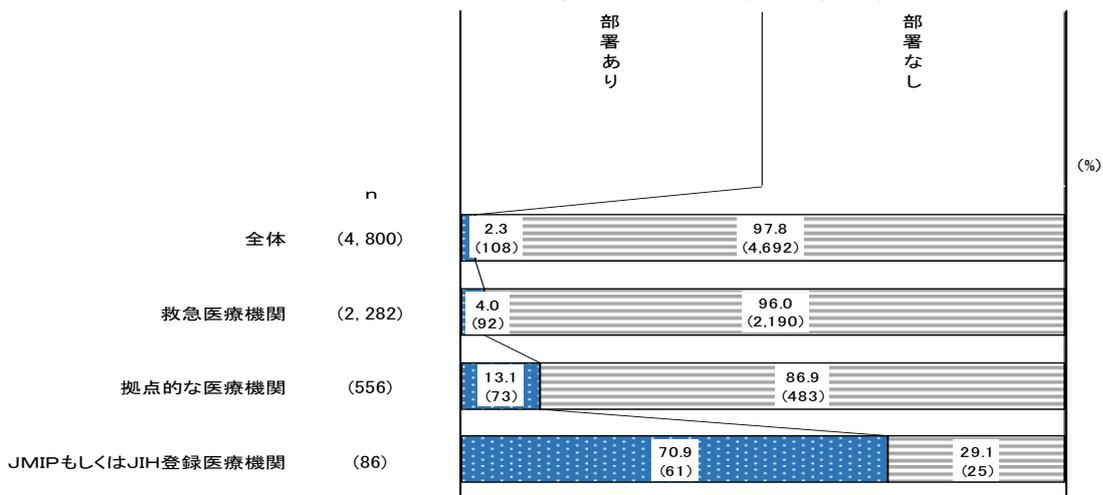
3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況

(2) - 1 外国人患者対応専門部署の有無 (SA)

外国人患者対応専門部署の有無について聞いたところ、「部署あり」が 2.3%、「部署なし」が 97.8%となっている。

医療機関の種別でみると、「部署あり」が救急医療機関では 4.0%、拠点的な医療機関では 13.1%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では 70.9%となっている。

図表 I-3-2-1 外国人患者対応専門部署の有無

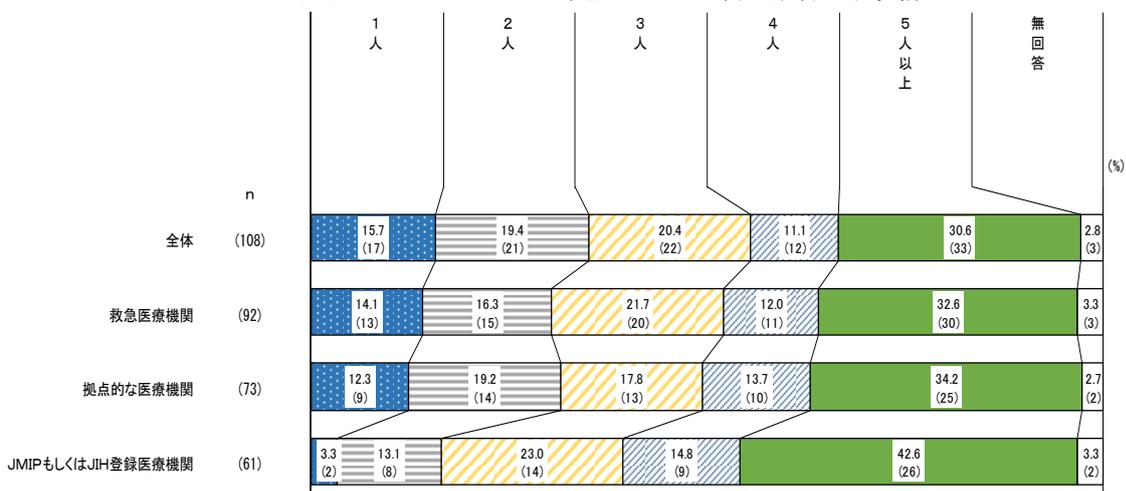


(2) - 2 外国人担当の専門部署の職員数 (SA)

外国人患者対応専門部署があると回答した医療機関に対して、外国人担当の専門部署の職員数について聞いたところ、「5人以上」が 30.6%で最も高く、次いで「3人」が 20.4%、「2人」が 19.4%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「5人以上」が 32.6%で最も高く、次いで「3人」が 21.7%となっている。拠点的な医療機関では「5人以上」が 34.2%で最も高く、次いで「2人」が 19.2%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「5人以上」が 42.6%で最も高く、次いで「3人」が 23.0%となっている。

図表 I-3-2-2 外国人担当の専門部署の職員数

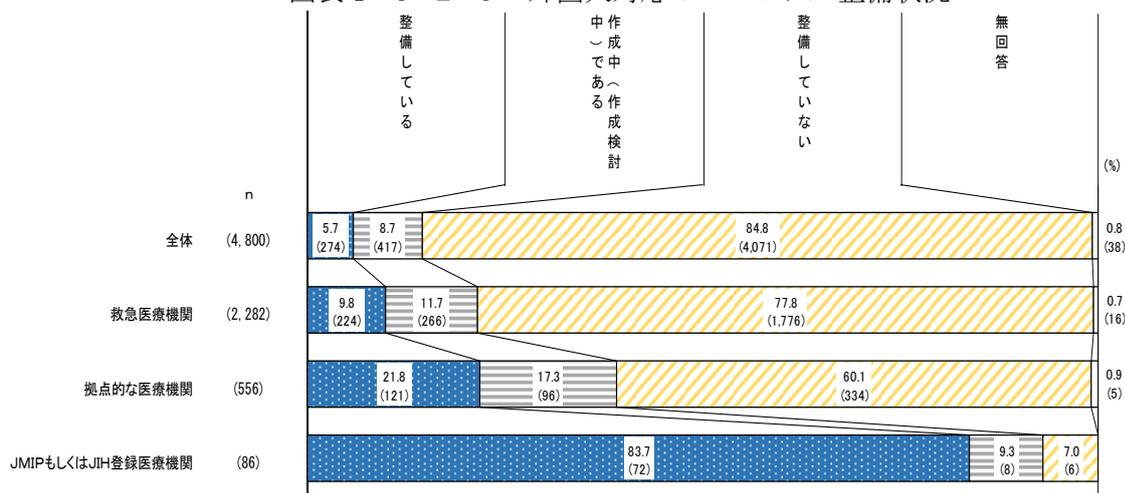


(2) - 3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)

外国人対応のマニュアル整備状況について聞いたところ、「整備している」が5.7%、「作成中（作成検討中）」であるが8.7%、「整備していない」が84.8%、「無回答」が0.8%となっている。

医療機関の種別でみると、「整備されている」は救急医療機関では9.8%、拠点的な医療機関では21.8%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では83.7%となっている。

図表 I-3-2-3 外国人対応のマニュアル整備状況



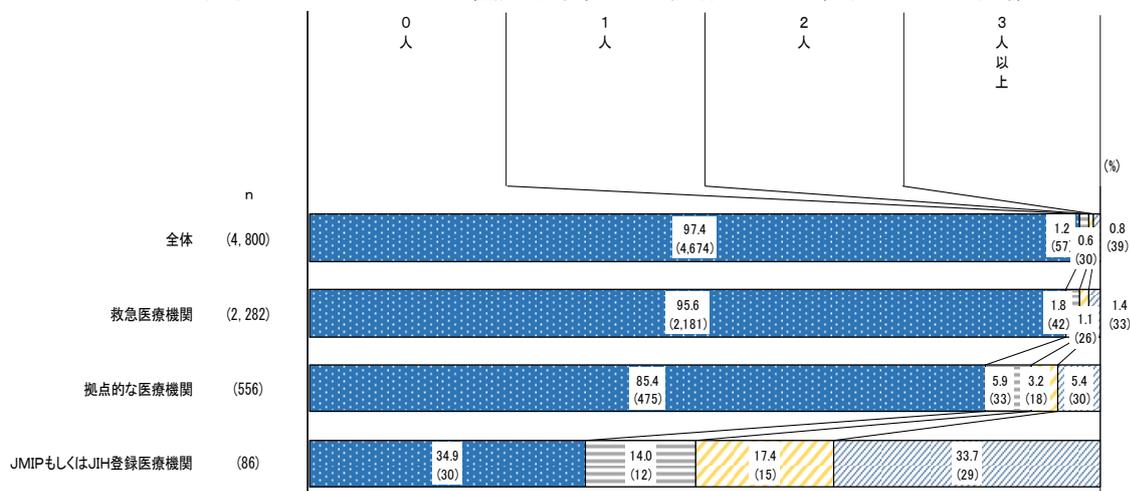
3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター

(3) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数について聞いたところ、「0人」が97.4%で最も高く、次いで「1人」が1.2%、「3人以上」が0.8%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「0人」が95.6%で最も高く、次いで「1人」が1.8%と続いている。拠点的な医療機関では「0人」が85.4%で最も高く、次いで「1人」が5.9%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「0人」が34.9%で最も高く、次いで「3人以上」が33.7%と続いている。

図表 I-3-3-1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数

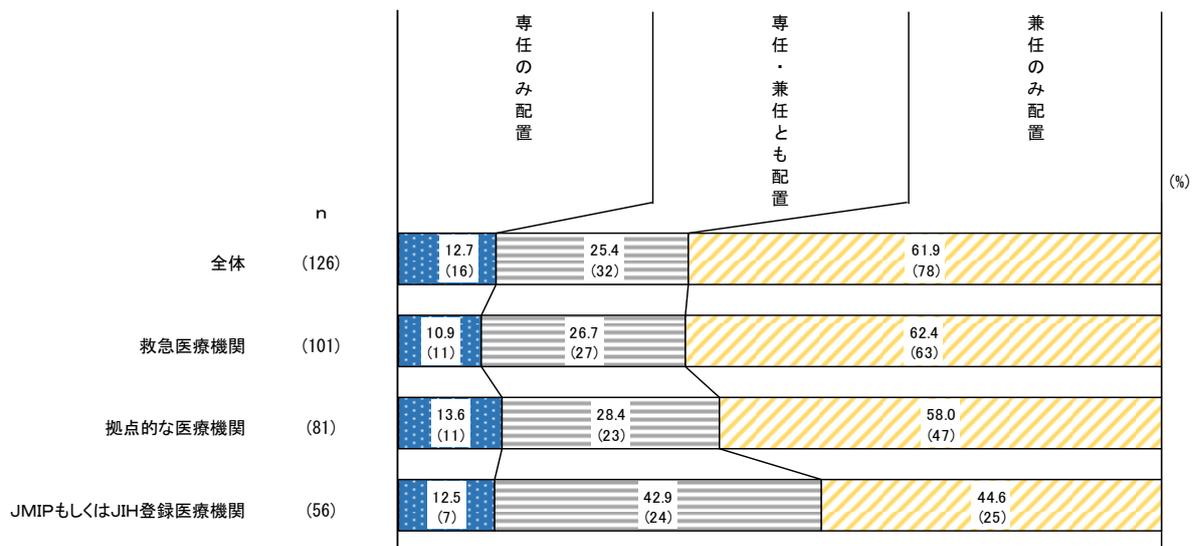


(3) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が61.9%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が25.4%、「専任のみ配置」が12.7%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「兼任のみ配置」が62.4%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が26.7%と続いている。拠点的な医療機関では「兼任のみ配置」が58.0%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が28.4%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「兼任のみ配置」が44.6%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が42.9%と続いている。

図表 I-3-3-2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別

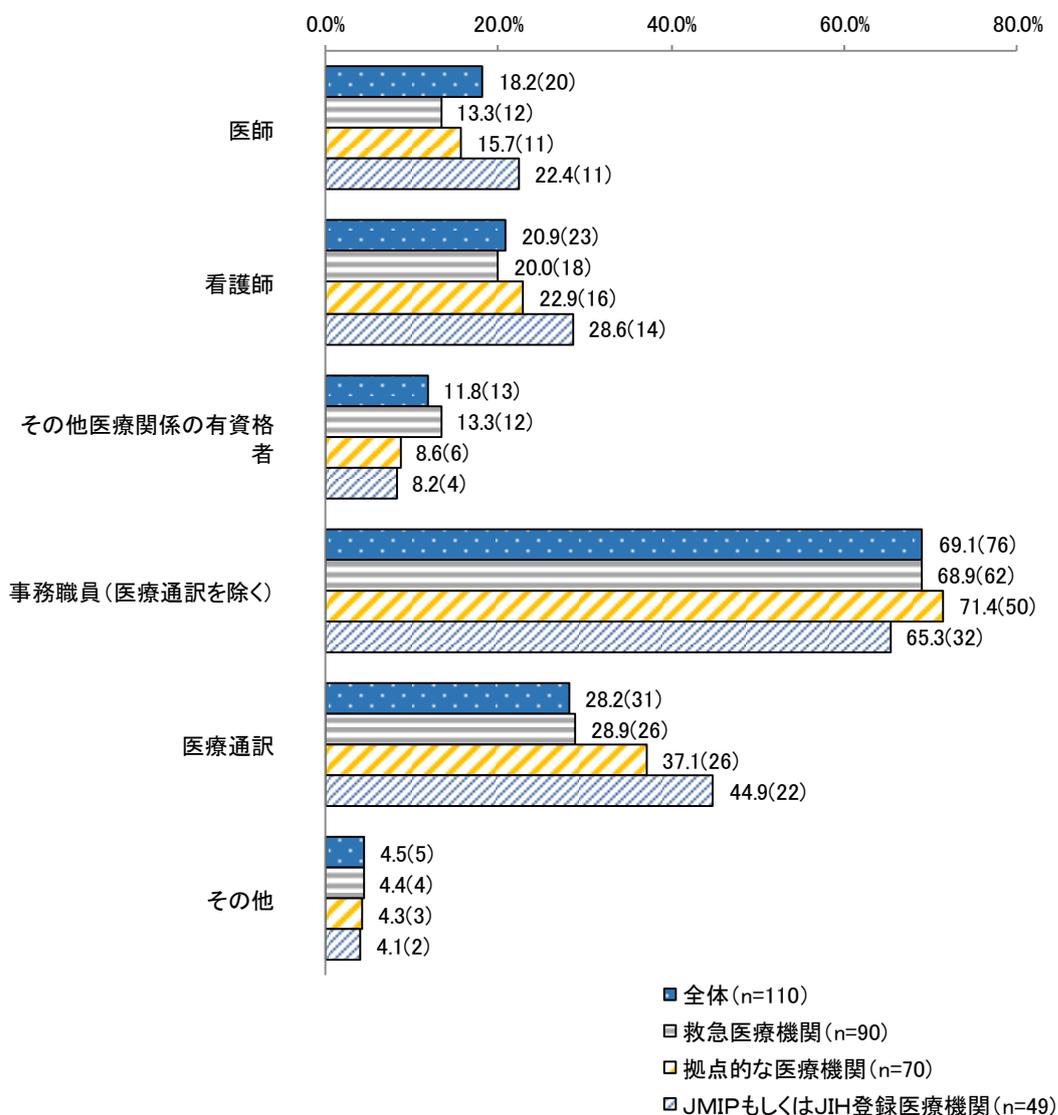


(3) - 3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)

兼任の外国人患者受入れ医療コーディネーターを配置していると回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職について聞いたところ、「事務職員」が 69.1%で最も高く、次いで「医療通訳」が 28.2%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では、「事務職員」が 68.9%で最も高く、次いで「医療通訳」が 28.9%と続いている。拠点的な医療機関では「事務職員」が 71.4%で最も高く、次いで「医療通訳」が 37.1%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「事務職員」が 65.3%で最も高く、次いで「医療通訳」が 44.9%と続いている。

図表 I-3-3-3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職

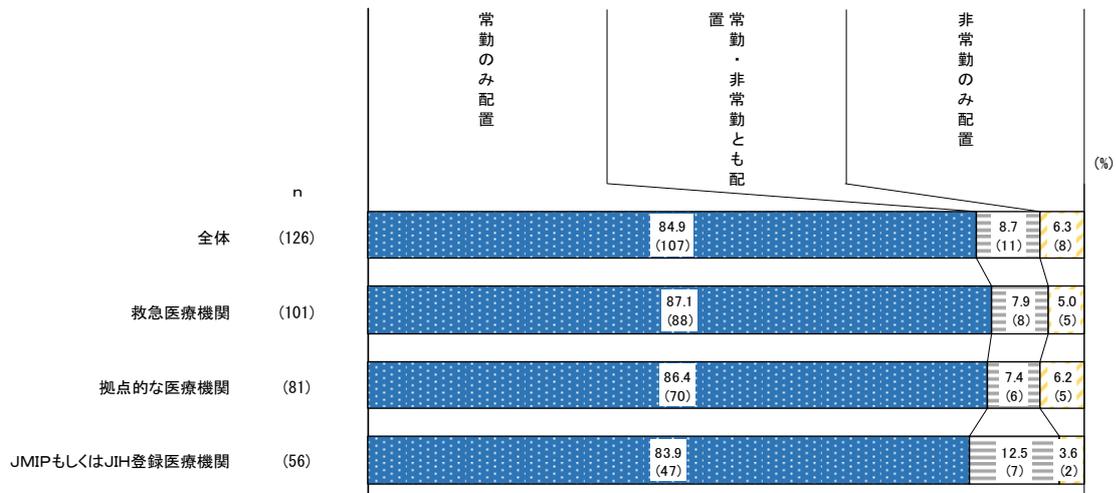


(3) - 4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が84.9%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が8.7%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「常勤のみ配置」が87.1%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が7.9%と続いている。拠点的な医療機関では「常勤のみ配置」が86.4%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が7.4%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「常勤のみ配置」が83.9%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が12.5%と続いている。

図表 I-3-3-4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別

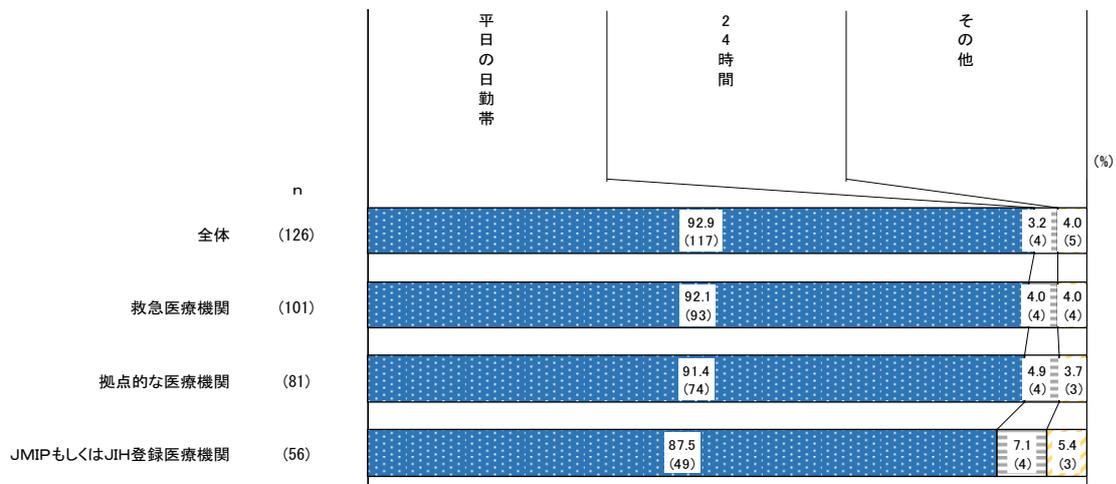


(3) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が92.9%で最も高く、次いで「その他」が4.0%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「平日の日勤帯」が92.1%で最も高く、次いで「24時間」と「その他」がそれぞれ4.0%と続いている。拠点的な医療機関では、「平日の日勤帯」が91.4%で最も高く、次いで「24時間」が4.9%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「平日の日勤帯」が87.5%で最も高く、次いで「24時間」が7.1%と続いている。

図表 I-3-3-5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時

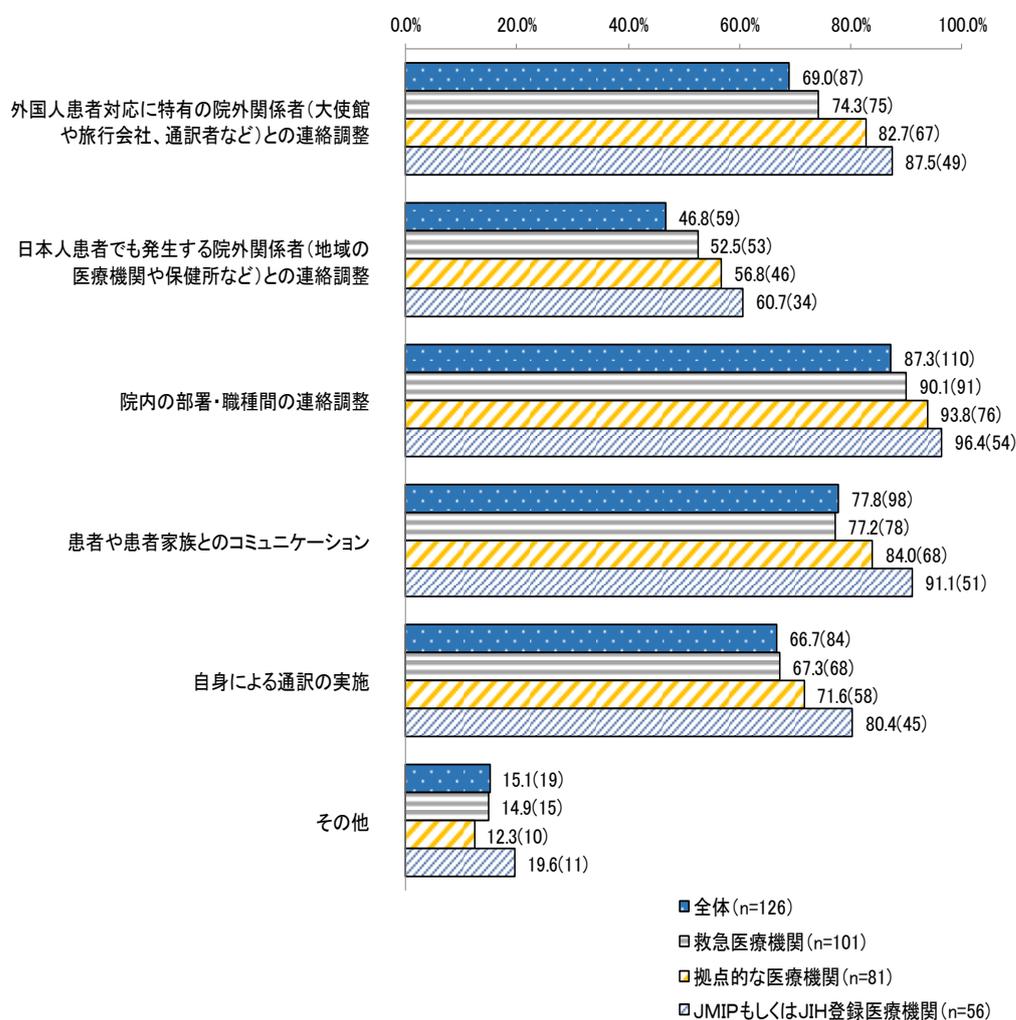


(3) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割について聞いたところ、「院内の部署・職種間の連絡調整」が87.3%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が77.8%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「院内の部署・職種間の連絡調整」が90.1%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が77.2%と続いている。拠点的な医療機関では、「院内の部署・職種間の連絡調整」が93.8%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が84.0%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「院内の部署・職種間の連絡調整」が96.4%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が91.1%と続いている。

図表 I-3-3-6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割

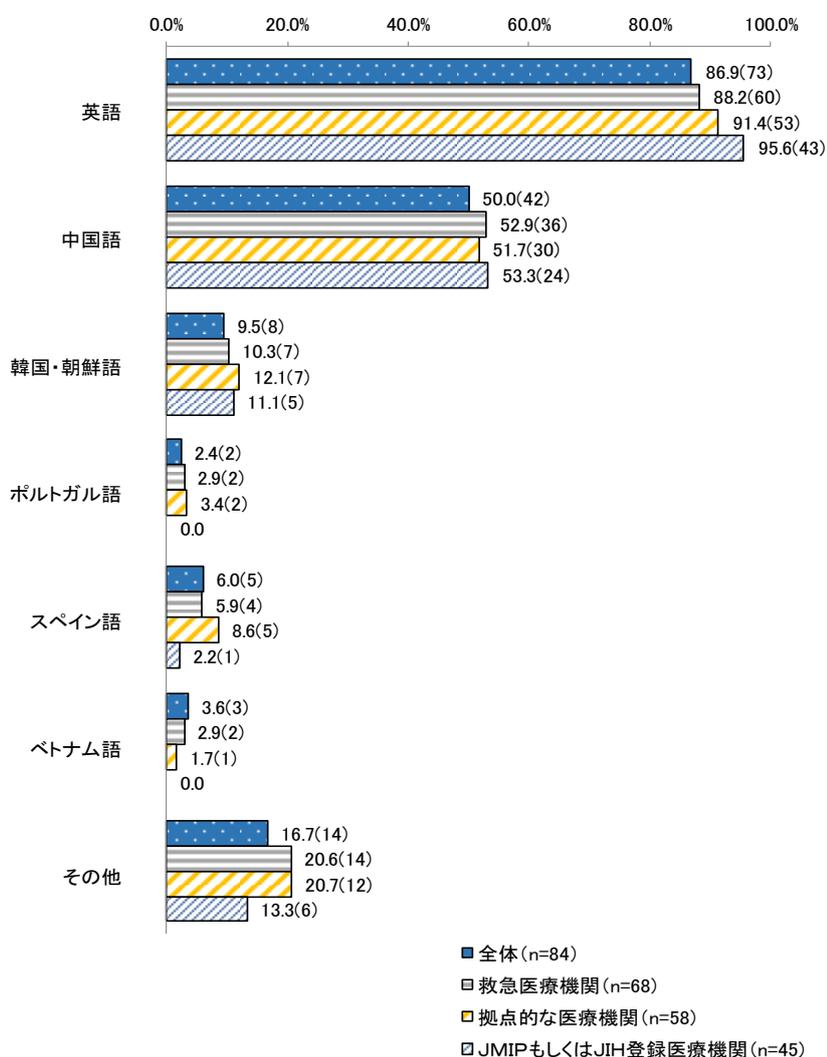


(3) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割で「自身による通訳の実施」と回答した医療機関に対してコーディネーターの対応言語について聞いたところ、「英語」が86.9%で最も高く、次いで「中国語」が50.0%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「英語」が88.2%で最も高く、次いで「中国語」が52.9%となっている。拠点的な医療機関では「英語」が91.4%で最も高く、次いで「中国語」が51.7%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「英語」が95.6%で最も高く、次いで「中国語」が53.3%となっている。

図表 I-3-3-7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語



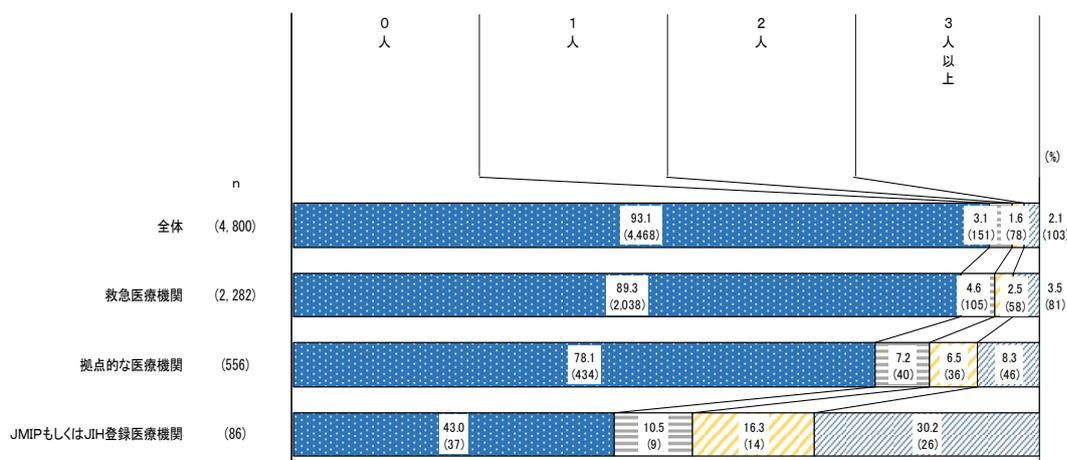
3-4. 医療通訳

(4) - 1 医療通訳の人数 (FA)

医療通訳の人数について聞いたところ、「0人」が93.1%で最も高く、次いで「1人」が3.1%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「0人」が89.3%で最も高く、次いで「1人」が4.6%と続いている。拠点的な医療機関では「0人」が78.1%で最も高く、次いで「3人以上」が8.3%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「0人」が43.0%で最も高く、次いで「3人以上」が30.2%と続いている。

図表 I-3-4-1 医療通訳の人数

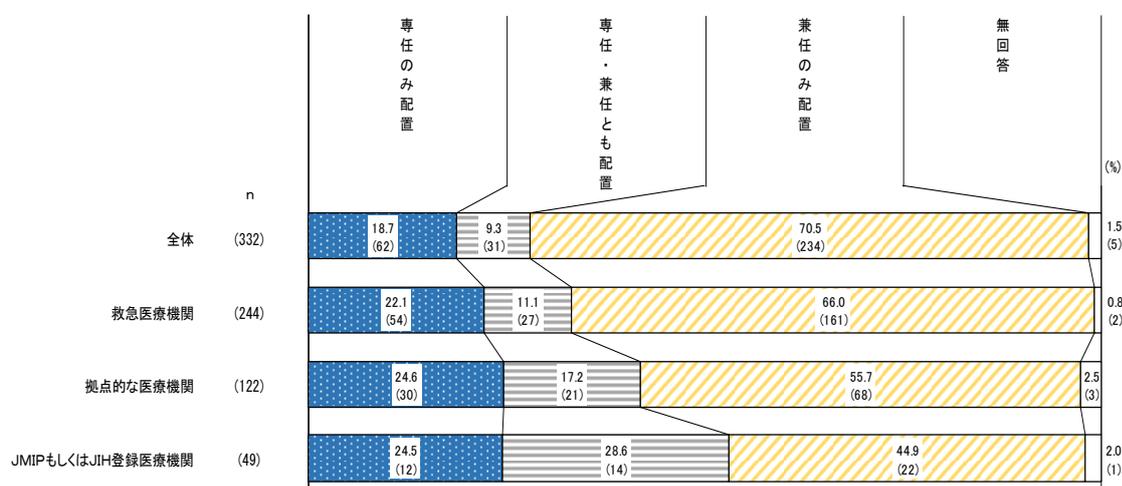


(4) - 2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が70.5%で最も高く、次いで「専任のみ配置」が18.7%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「兼任のみ配置」が66.0%で最も高く、次いで「専任のみ配置」が22.1%と続いている。拠点的な医療機関では「兼任のみ配置」が55.7%で最も高く、次いで「専任のみ配置」が24.6%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「兼任のみ配置」が44.9%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が28.6%と続いている。

図表 I-3-4-2 医療通訳の専任・兼任の別

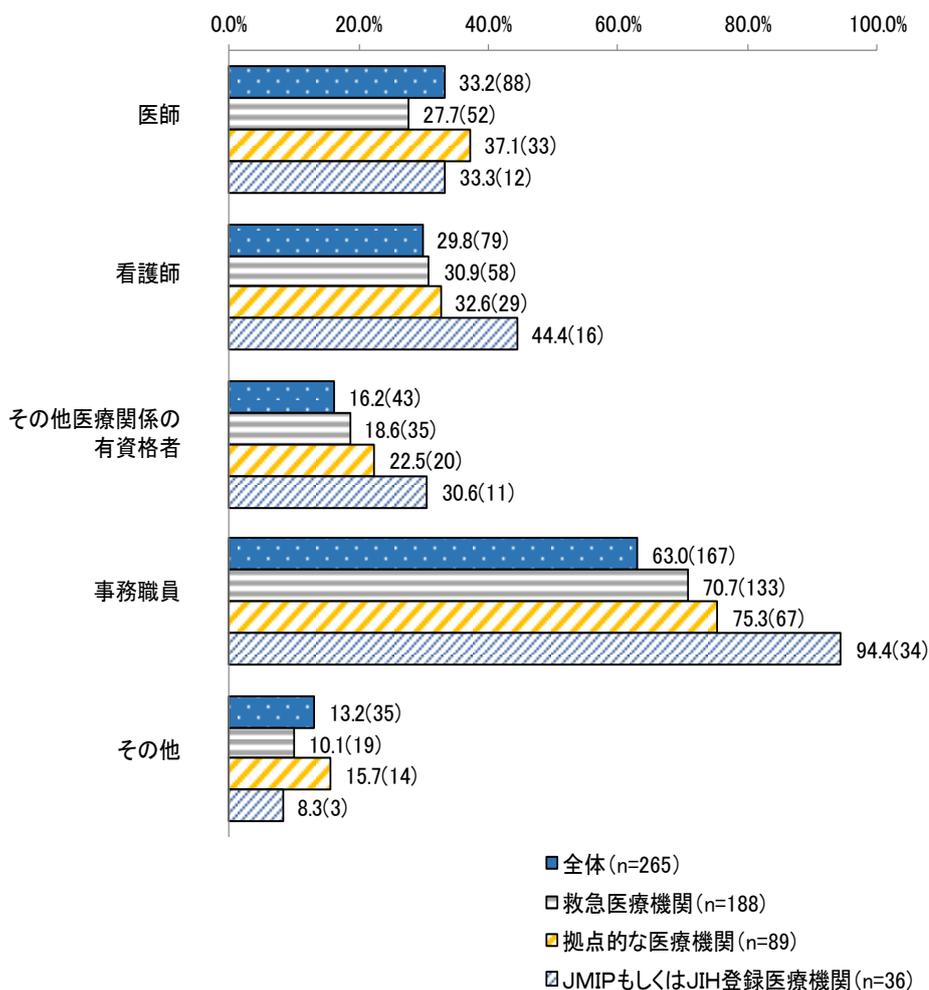


(4) - 3 医療通訳の兼職 (MA)

兼任の医療通訳を配置していると回答した医療機関に対して、医療通訳の兼職について聞いたところ、「事務職員」が 63.0%で最も高く、次いで「医師」が 33.2%と続いている。

医療機関の種別で見ると救急医療機関では、「事務職員」が 70.7%で最も高く、次いで「看護師」が 30.9%と続いている。拠点的な医療機関では、「事務職員」が 75.3%で最も高く、次いで「医師」が 37.1%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では、「事務職員」が 94.4%で最も高く、次いで「看護師」が 44.4%と続いている。

図表 I-3-4-3 医療通訳の兼職

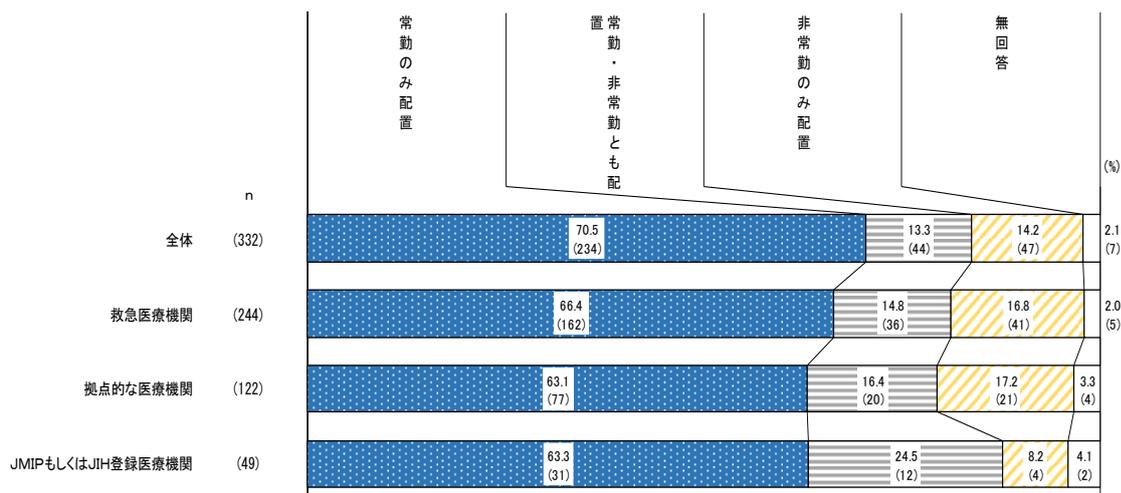


(4) - 4 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が70.5%で最も高く、次いで「非常勤のみ配置」が14.2%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「常勤のみ配置」が66.4%で最も高く、次いで「非常勤のみ配置」が16.8%と続いている。拠点的な医療機関では、「常勤のみ配置」が63.1%で最も高く、次いで「非常勤のみ配置」が17.2%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「常勤のみ配置」が63.3%で最も高く、次いで「常勤・非常勤とも配置」が24.5%と続いている。

図表 I-3-4-4 医療通訳の常勤・非常勤の別

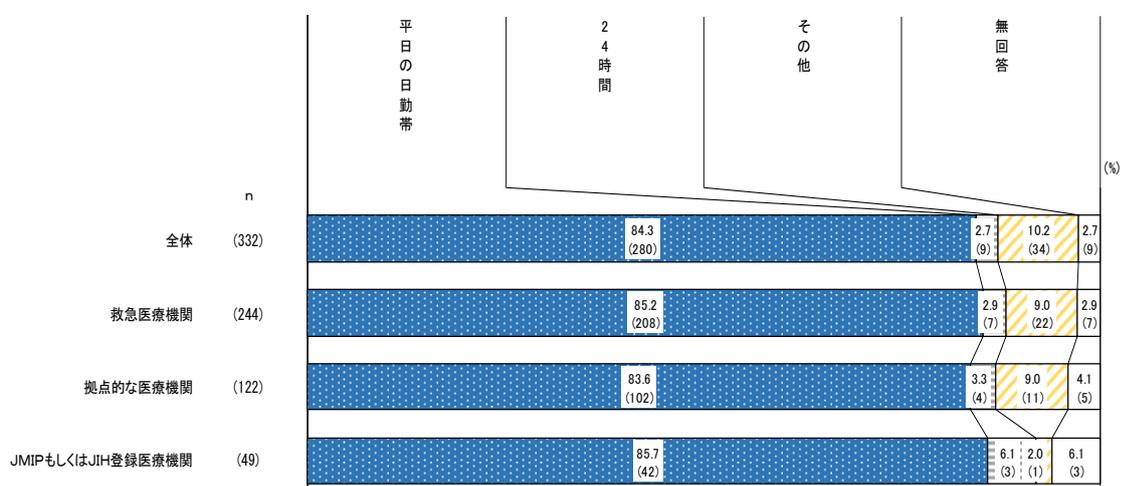


(4) - 5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳がカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が84.3%で最も高く、次いで「その他」が10.2%、「24時間」と「無回答」がそれぞれ2.7%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「平日の日勤帯」が85.2%で最も高く、次いで「その他」が9.0%と続いている。拠点的な医療機関では、「平日の日勤帯」が83.6%で最も高く、次いで「その他」が9.0%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「平日の日勤帯」が85.7%で最も高く、次いで「24時間」が6.1%と続いている。

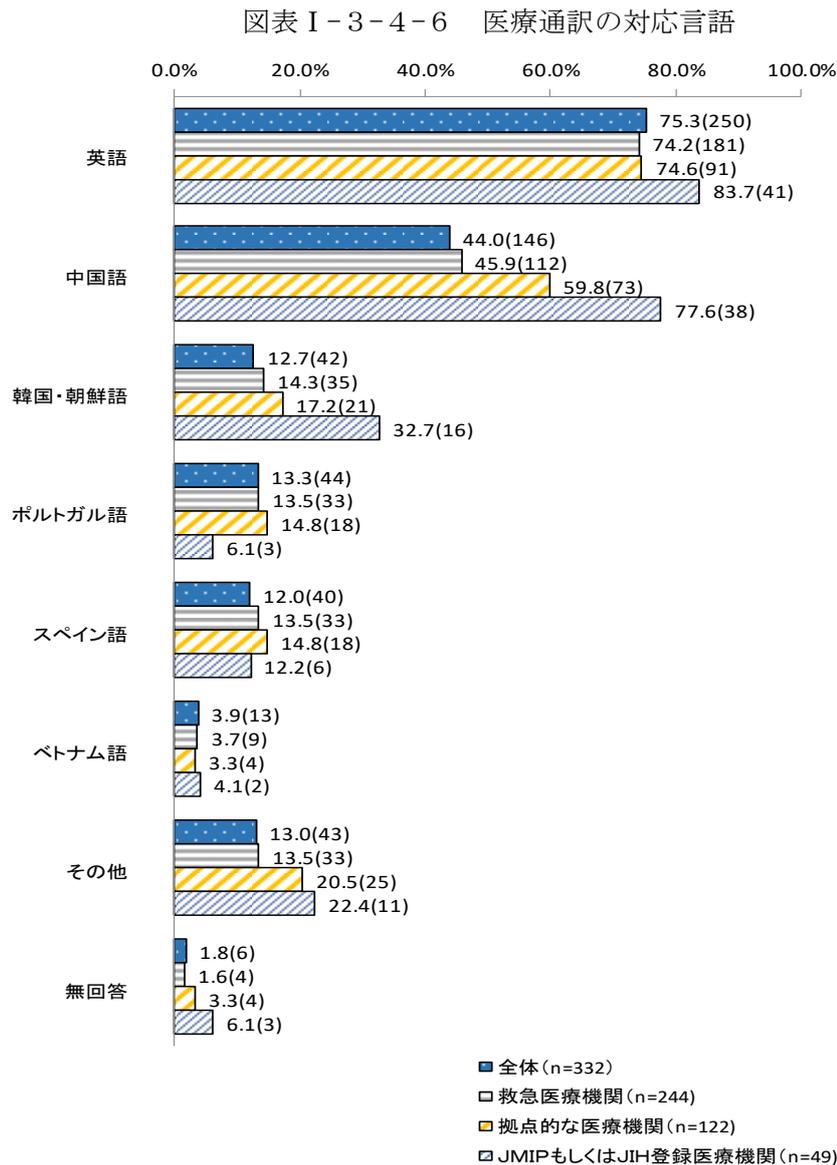
図表 I-3-4-5 医療通訳がカバーしている日時



(4) - 6 医療通訳の対応言語 (MA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が75.3%で最も高く、次いで「中国語」が44.0%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「英語」が74.2%で最も高く、次いで「中国語」が45.9%と続いている。拠点的な医療機関では「英語」が74.6%で最も高く、次いで「中国語」が59.8%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「英語」が83.7%で最も高く、次いで「中国語」が77.6%と続いている。

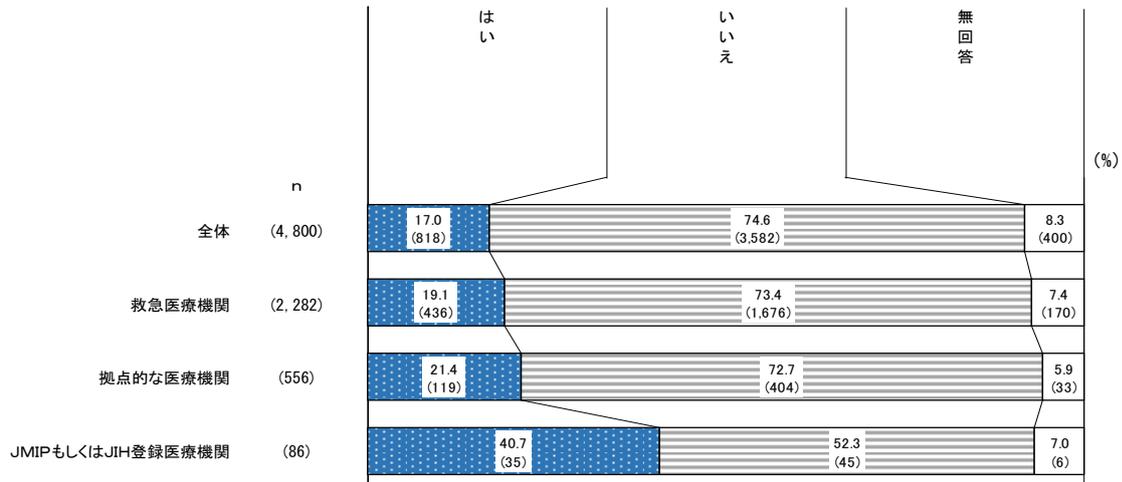


(4) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)

患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に案内しているか（医療機関のホームページ等による案内も含む）について聞いたところ、「いいえ」が74.6%、「はい」が17.0%、「無回答」が8.3%となっている。

医療機関の種別で見ると、「はい」が救急医療機関では19.1%、拠点的な医療機関では21.4%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では40.7%となっている。

図表 I-3-4-7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか



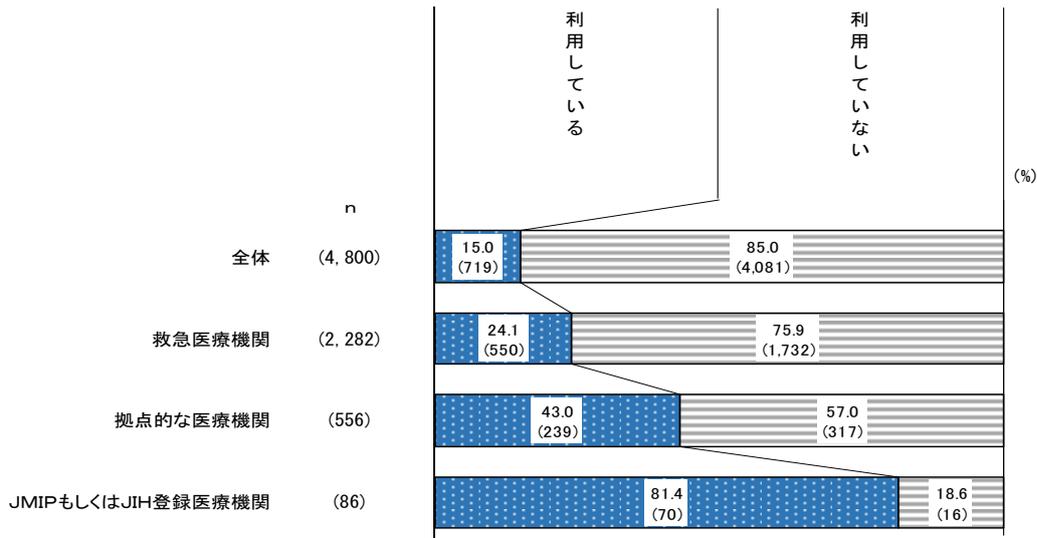
3-5. 電話通訳（遠隔通訳）

（5）－1 電話通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

電話通訳（遠隔通訳）の利用状況について聞いたところ、「利用している」が 15.0%、「利用していない」が 85.0%となっている。

医療機関の種別でみると、「利用している」が救急医療機関では 24.1%、拠点的な医療機関では 43.0%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では 81.4%となっている。

図表 I-3-5-1 電話通訳の利用状況

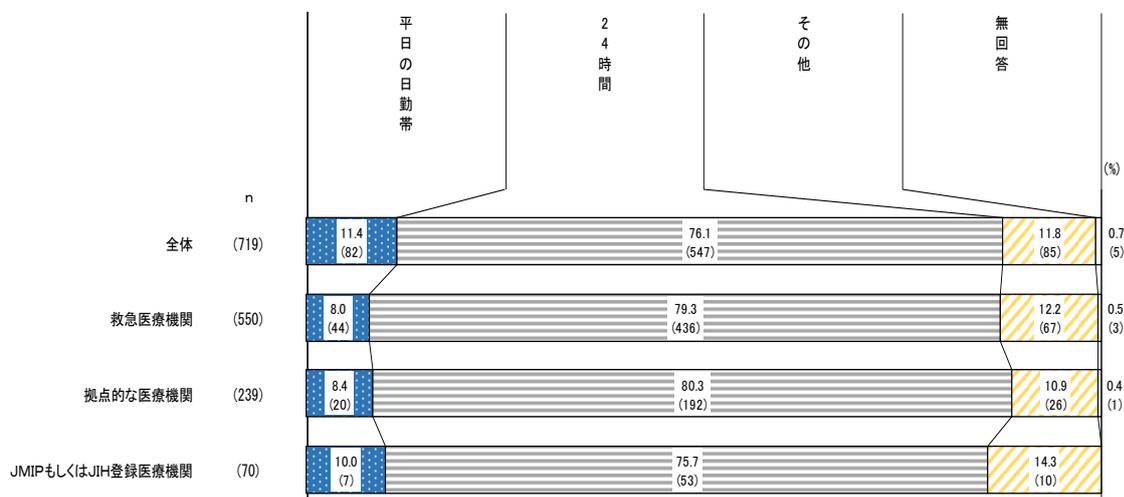


（5）－2 電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時（SA）

電話通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている範囲について聞いたところ、「24時間」が 76.1%で最も高く、次いで「その他」が 11.8%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「24時間」が 79.3%で最も高く、次いで「その他」が 12.2%となっている。拠点的な医療機関では、「24時間」が 80.3%で最も高く、次いで「その他」が 10.9%となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「24時間」が 75.7%で最も高く、次いで「その他」が 14.3%となっている。

図表 I-3-5-2 電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時

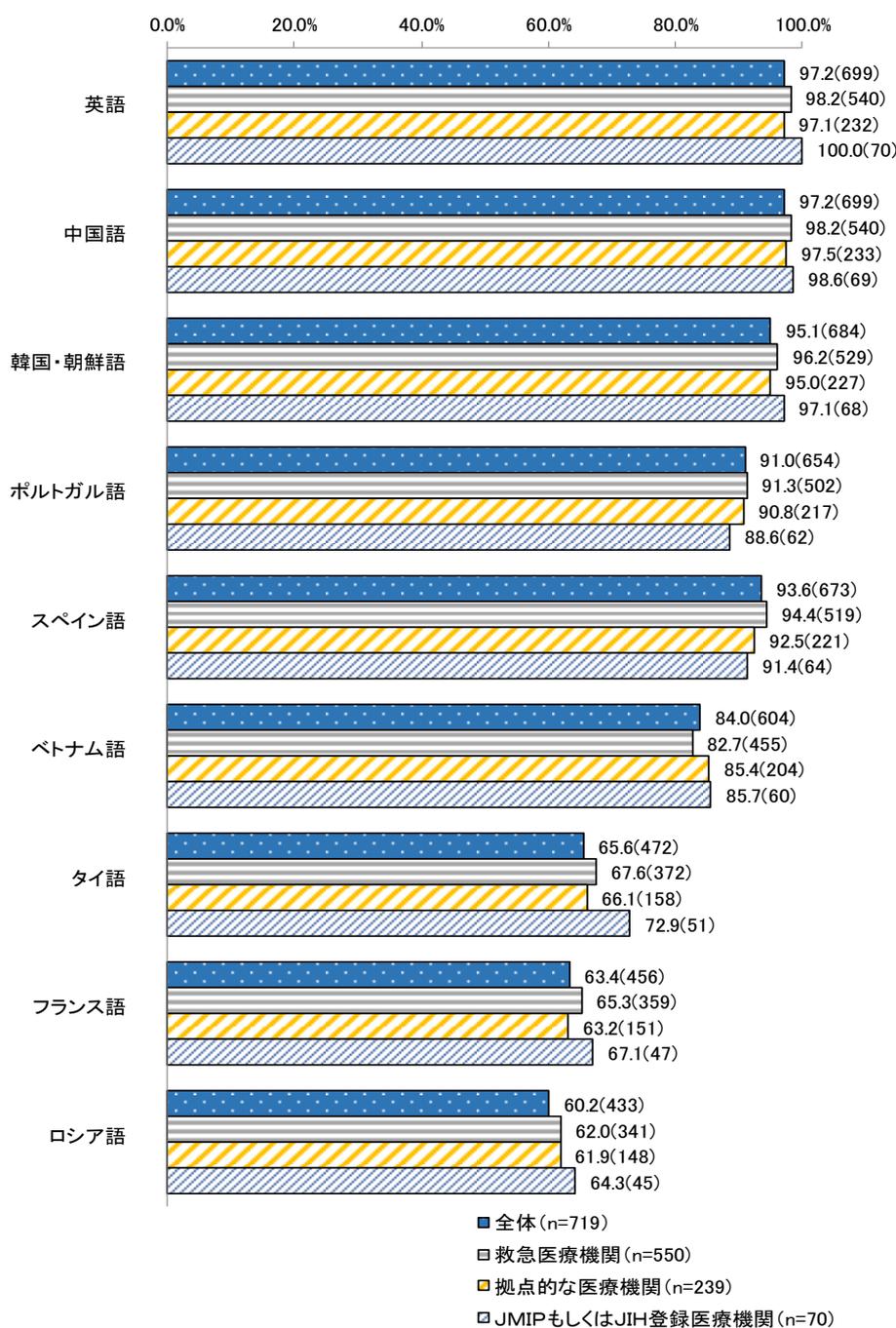


(5) - 3 電話通訳（遠隔通訳）の対応言語（MA）

電話通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、電話通訳（遠隔通訳）の対応言語について聞いたところ、「英語」と「中国語」がそれぞれ97.2%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮語」が95.1%で続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、「英語」と「中国語」がそれぞれ98.2%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮語」が96.2%で続いている。拠点的な医療機関では、「中国語」97.5%で最も高く、次いで「英語」97.1%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「英語」100.0%で最も高く、次いで「中国語」98.6%となっている。

図表 I-3-5-3 電話通訳（遠隔通訳）の対応言語



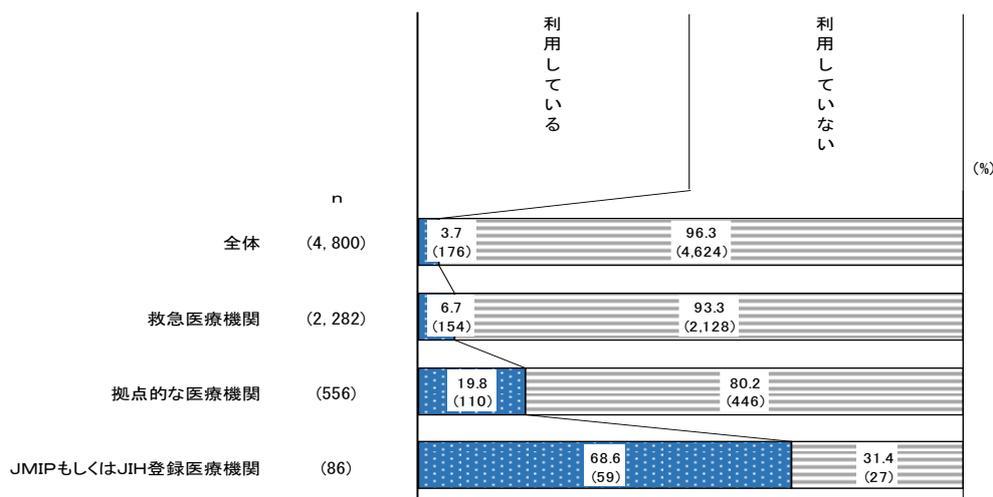
3-6. ビデオ通訳（遠隔通訳）

(6) - 1 ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況の配置状況について聞いたところ、「利用している」が3.7%、「利用していない」が96.3%となっている。

医療機関の種別でみると、「利用している」は救急医療機関では6.7%、拠点的な医療機関では19.8%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では68.6%となっている。

図表 I-3-6-1 ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況

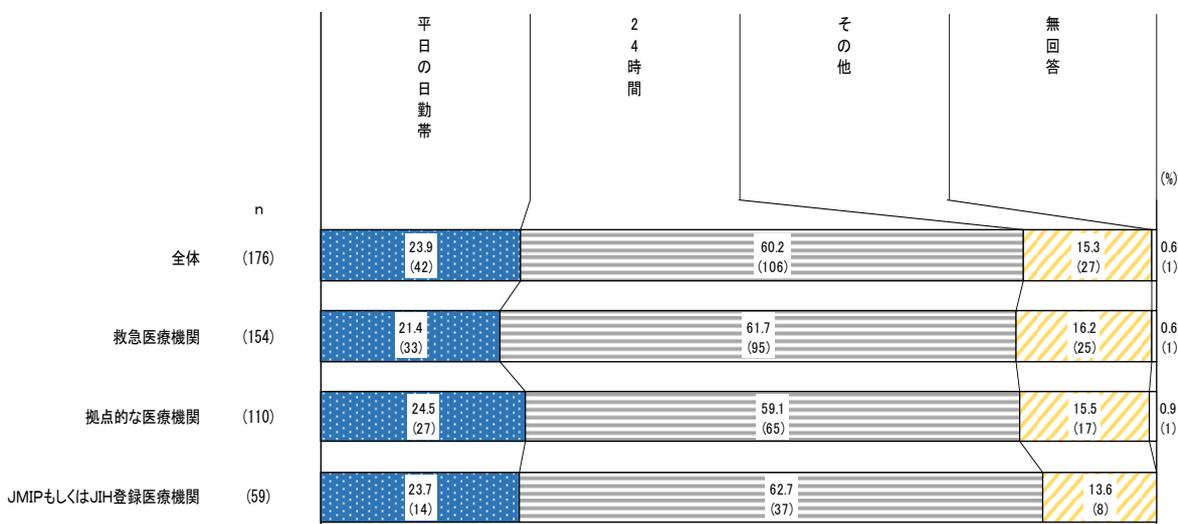


(6) - 2 ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時（SA）

ビデオ通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時について聞いたところ、「24時間」が60.2%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が23.9%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「24時間」が61.7%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が21.4%となっている。拠点的な医療機関では「24時間」が59.1%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が24.5%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「24時間」が62.7%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が23.7%となっている。

図表 I-3-6-2 ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時

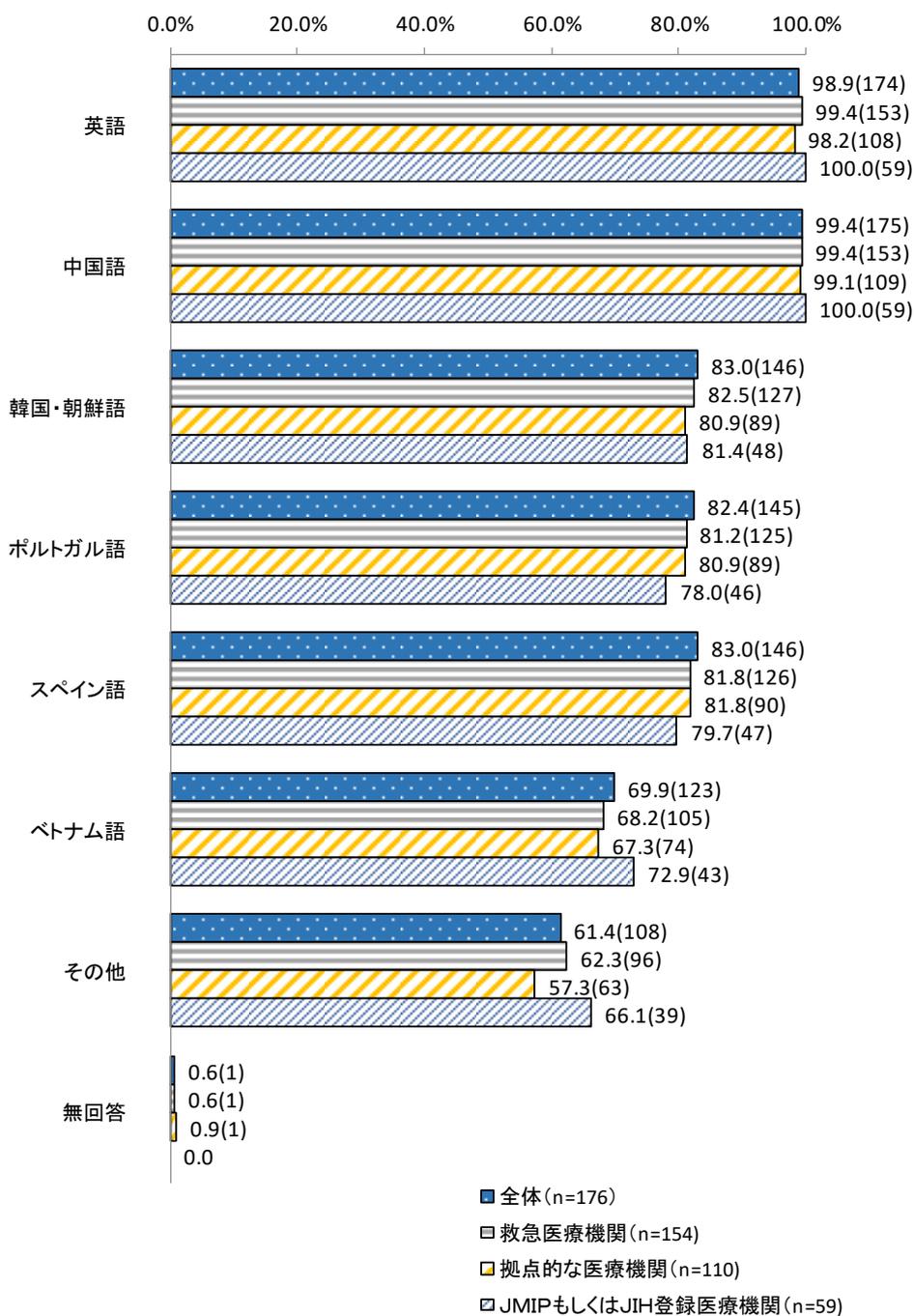


(6) - 3 ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語（MA）

ビデオ通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語について聞いたところ、「中国語」が 99.4%で最も高く、次いで「英語」が 98.9%で続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「英語」と「中国語」が 99.4%で最も高く、次いで「韓国語・朝鮮語」が 82.5%となっている。拠点的な医療機関では、「中国語」が 99.1%で最も高く、次いで「英語」が 98.2%となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「英語」と「中国語」がそれぞれ 100.0%で最も高く、次いで「韓国語・朝鮮語」が 81.4%となっている。

図表 I-3-6-3 ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語



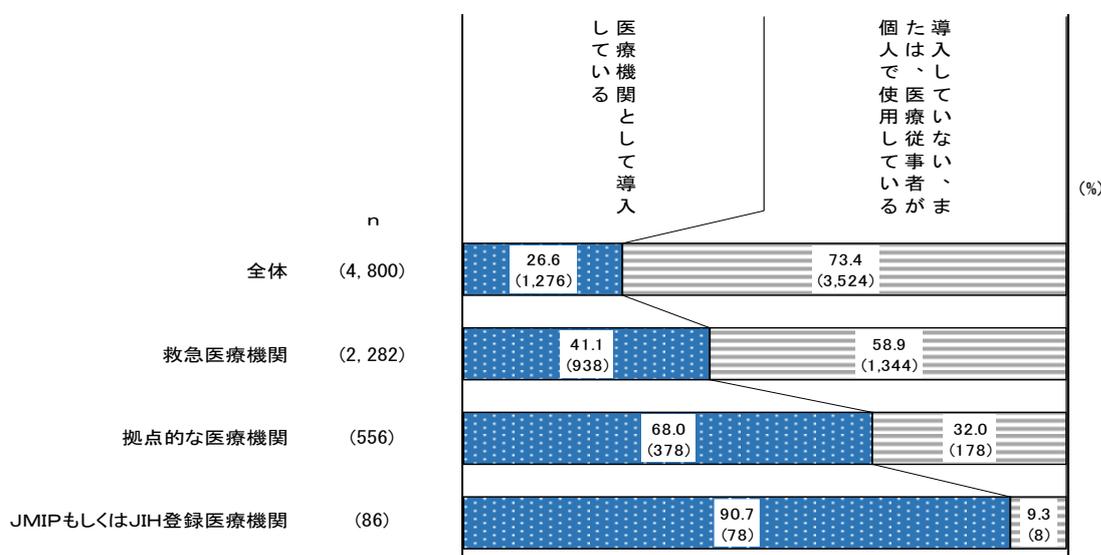
3-7. 外国人患者の受入に資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況

(7) - 1 タブレット端末等の利用状況 (SA)

タブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について聞いたところ、「医療機関として導入している」が 26.6%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」が 73.4%となっている。

医療機関の種別で見ると、「医療機関として導入している」が救急医療機関では、41.1%、拠点的な医療機関では 68.0%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では 90.7%となっている。

図表 I-3-7-1 タブレット端末等の利用状況

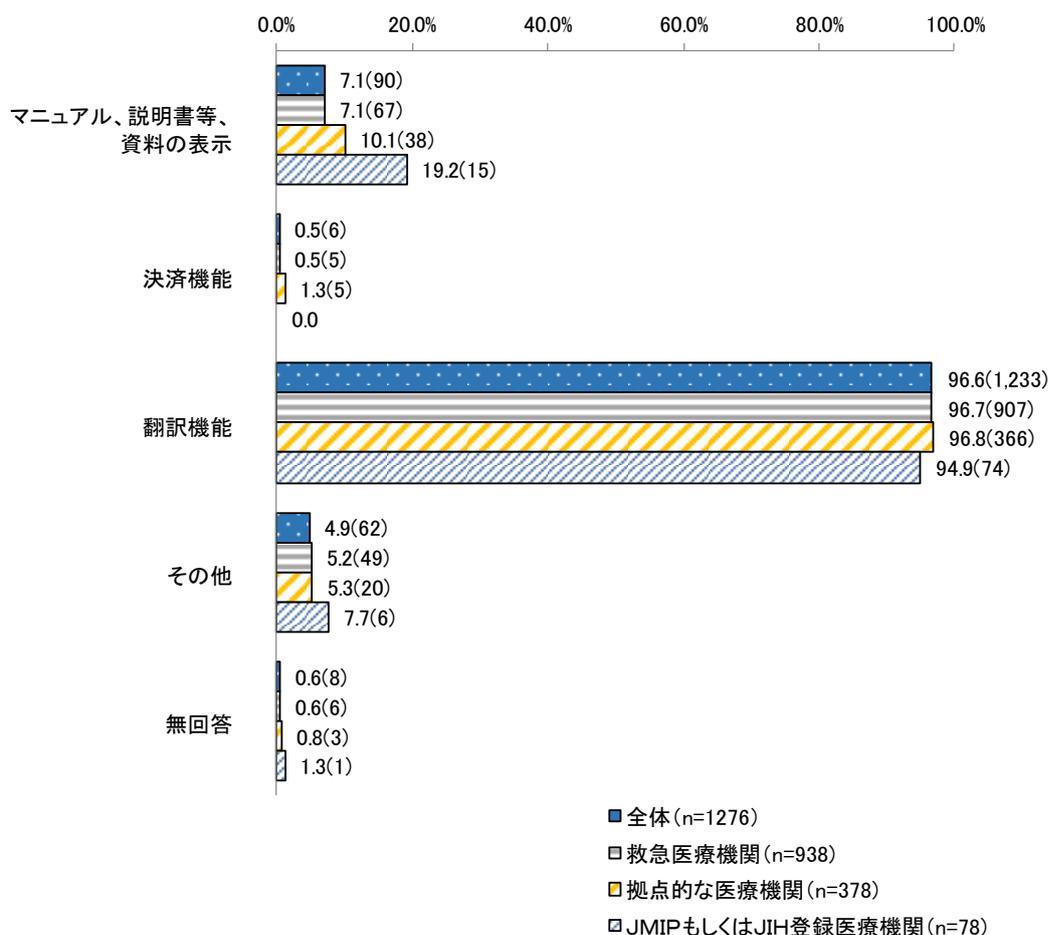


(7) - 2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)

タブレット端末等を導入している医療機関に対して、端末等に備わっている機能について聞いたところ、「翻訳機能」が 96.6%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 7.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「翻訳機能」が 96.7%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 7.1%と続いている。拠点的な医療機関では「翻訳機能」が 96.8%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 10.1%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「翻訳機能」が 94.9%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 19.2%と続いている。

図表 I-3-7-2 タブレット端末等に備わっている機能

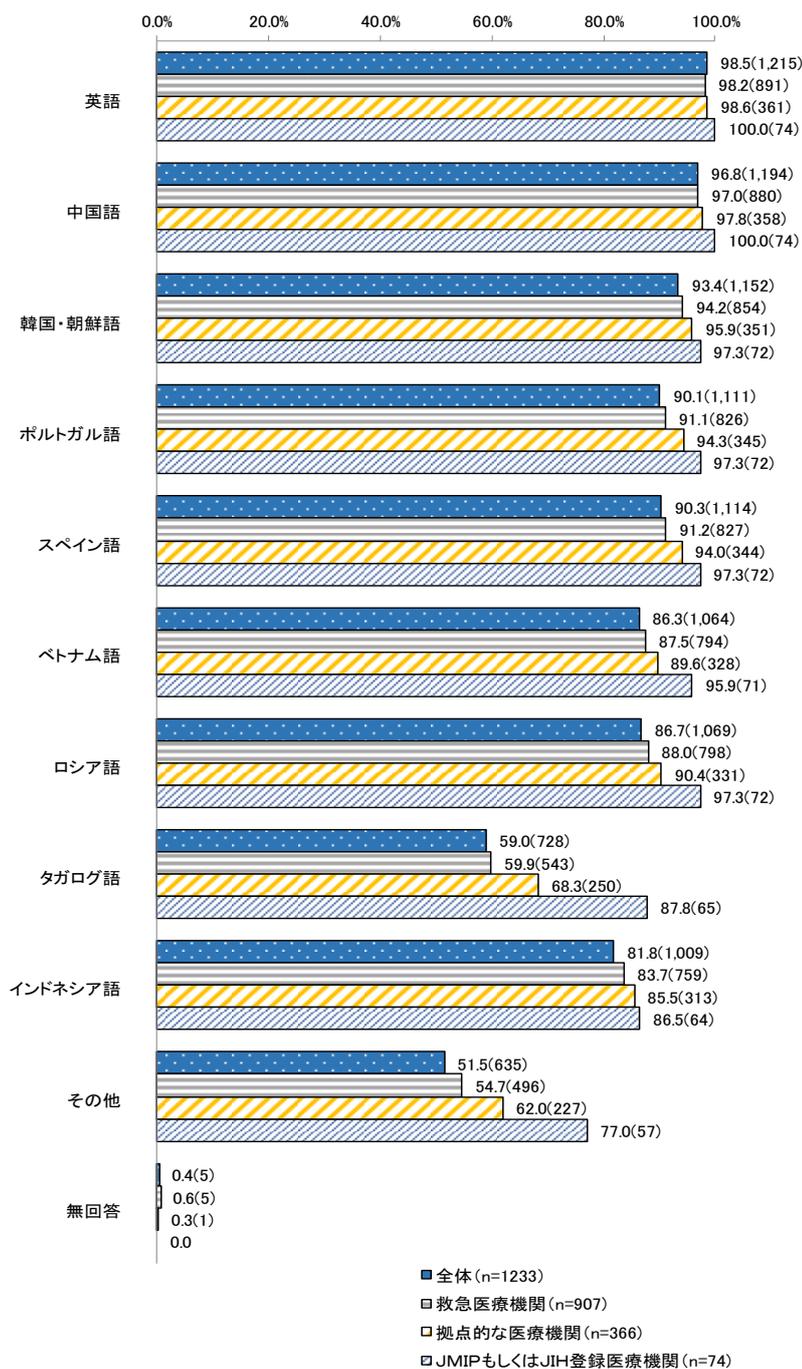


(7) - 3 翻訳機能の対応言語 (MA)

翻訳機能を備えているタブレット端末等を導入している医療機関に対して、翻訳機能の対応言語について聞いたところ、「英語」が 98.5%で最も高く、次いで「中国語」が 96.8%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「英語」が 98.2%で最も高く、次いで「中国語」が 97.0%と続いている。拠点的な医療機関では「英語」が 98.6%で最も高く、次いで「中国語」が 97.8%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「英語」と「中国語」が 100.0%で最も高く、次いで「韓国語・朝鮮語」「ポルトガル語」「スペイン語」「ロシア語」が 97.3%と続いている。

図表 I-3-7-3 翻訳機能の対応言語



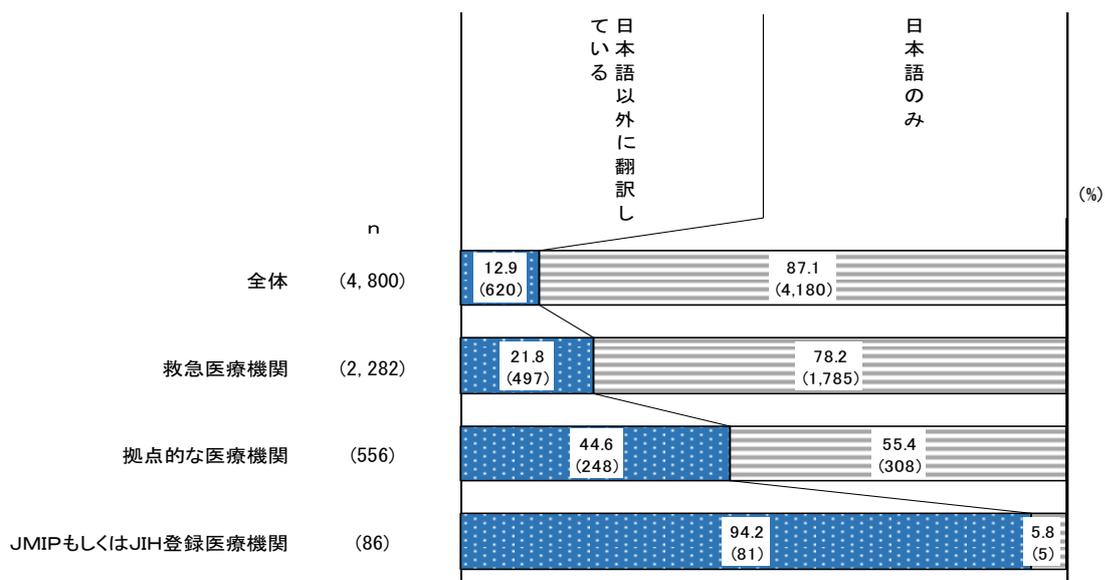
3-8. 院内案内図、院内表示

(8) - 1 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)

院内案内図、院内表示の多言語化状況について聞いたところ、「日本語以外に翻訳している」が 12.9%、「日本語のみ」が 87.1%となっている。

医療機関の種別でみると、「日本語以外に翻訳している」が、救急医療機関では 21.8%、拠点的な医療機関では 44.6%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では 94.2%となっている。

図表 I-3-8-1 院内案内図、院内表示の多言語化状況

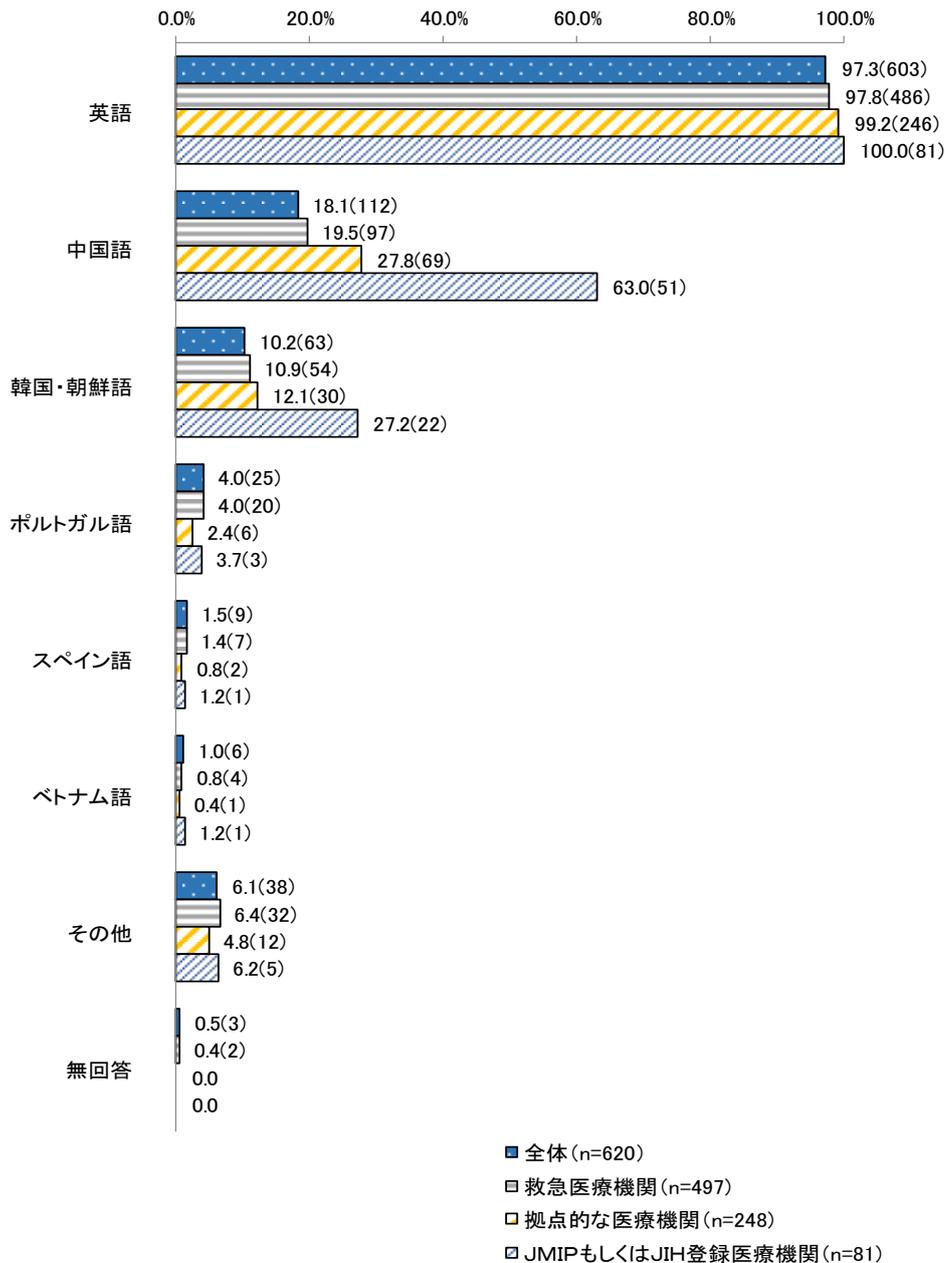


(8) - 2 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)

院内案内図、院内表示を日本語以外に翻訳していると回答した医療機関に対して、院内案内図、院内表示の対応言語について聞いたところ、「英語」が 97.3%で最も高く、次いで「中国語」が 18.1%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「英語」が 97.8%で最も高く、次いで「中国語」が 19.5%となっている。拠点的な医療機関では「英語」が 99.2%で最も高く、次いで「中国語」が 27.8%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「英語」が 100.0%で最も高く、次いで「中国語」が 63.0%となっている。

図表 I-3-8-2 院内案内図、院内表示の対応言語



3-9. 多言語に対応するためのその他の取組 (FA)

多言語に対応するためのその他の取組について聞いたところ、「問診票の多言語化」、「翻訳アプリの利用」、「ホームページの多言語化」、「院内案内パンフレットの多言語化」、「外国人対応マニュアルの作成」、「市の通訳ボランティア派遣事業の活用」、「ポケットークの購入」、「スマートフォンアプリ VoiceTra の利用」、「Google 翻訳の利用」、「デジタルサイネージの採用」等の回答が得られた。

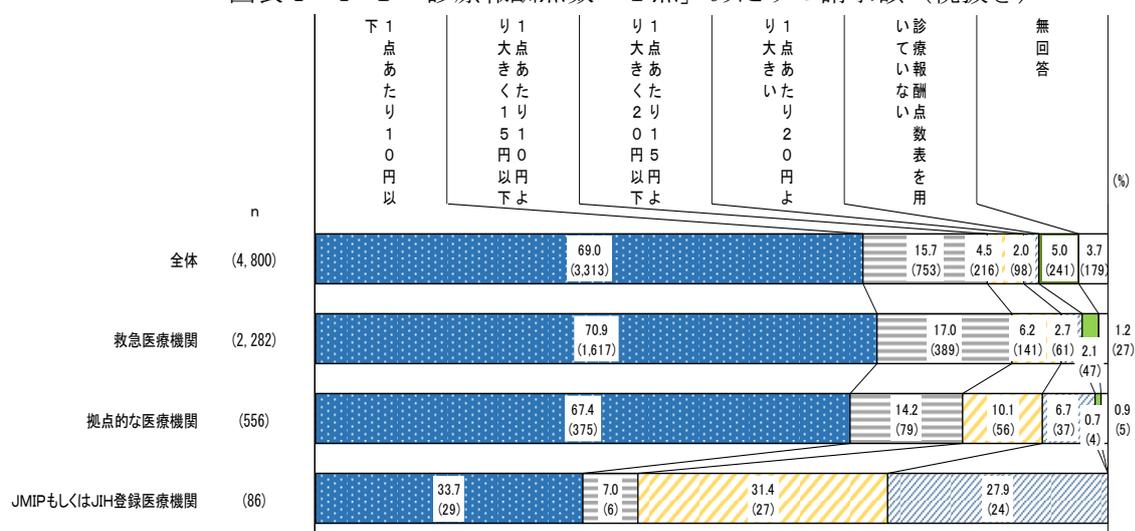
4. 医療費（自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費）について

(1) 診療報酬点数「1点」あたりの請求額（SA）

診療報酬点数「1点」あたりの金額（税抜き）について聞いたところ、「10 円以下」が 69.0%で最も高く、次いで「10 円より大きく 15 円以下」が 15.7%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「10 円以下」が 70.9%で最も高く、次いで「10 円より大きく 15 円以下」が 17.0%と続いている。拠点的な医療機関では「10 円以下」が 67.4%で最も高く、次いで「10 円より大きく 15 円以下」が 14.2%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「10 円以下」が 33.7%で最も高く、次いで「15 円より大きく 20 円以下」が 31.4%となっている。

図表 I-4-1 診療報酬点数「1点」あたりの請求額（税抜き）



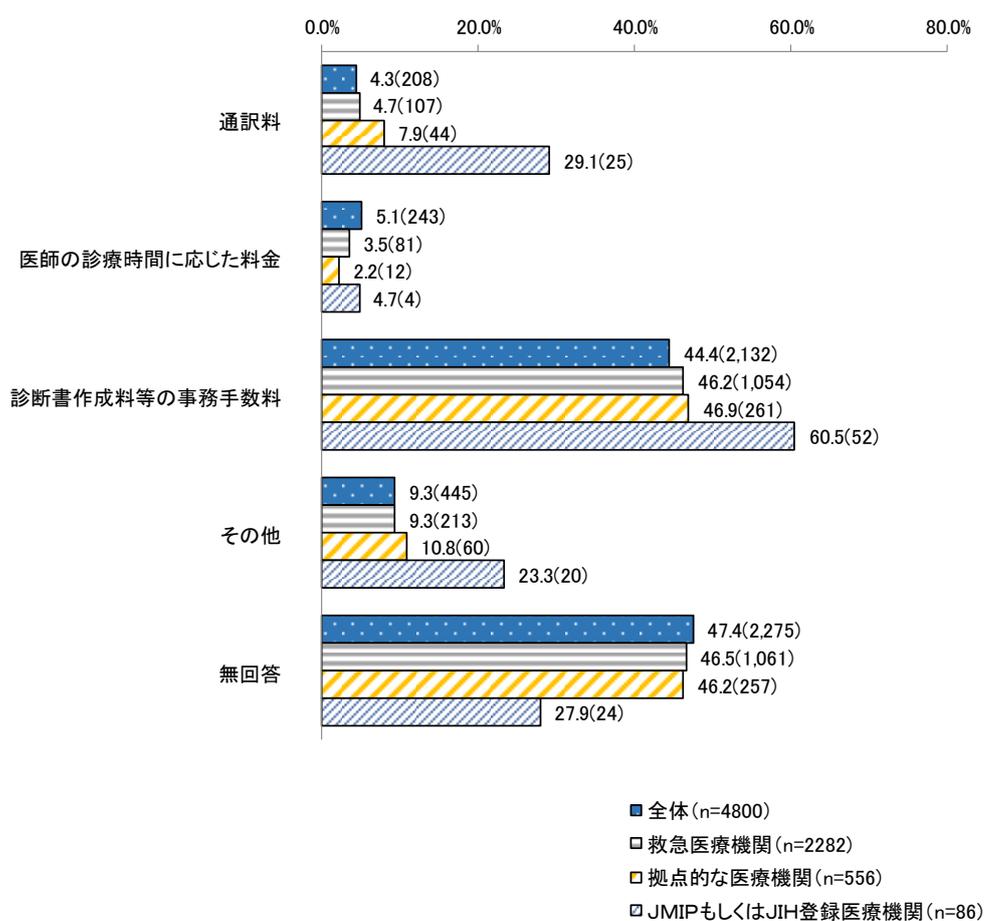
(2) 診療報酬点数表に含まれてない追加的費用の内容 (MA)

診療報酬点数表に含まれない追加的費用の請求について聞いたところ、「診断書作成等の事務手数料」が44.4%で最も高く、次いで「医師の診療時間に応じた料金」が5.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、いずれの医療機関でも「診断書作成等の事務手数料」が最も高く、救急医療機関では46.2%、拠点的な医療機関では46.9%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では60.5%となっている。

「通訳料」はJMIPもしくはJIH登録医療機関が比較的高く29.1%で、拠点的な医療機関では7.9%、救急医療機関では4.7%となっている。

図表 I-4-2 追加的費用の内容



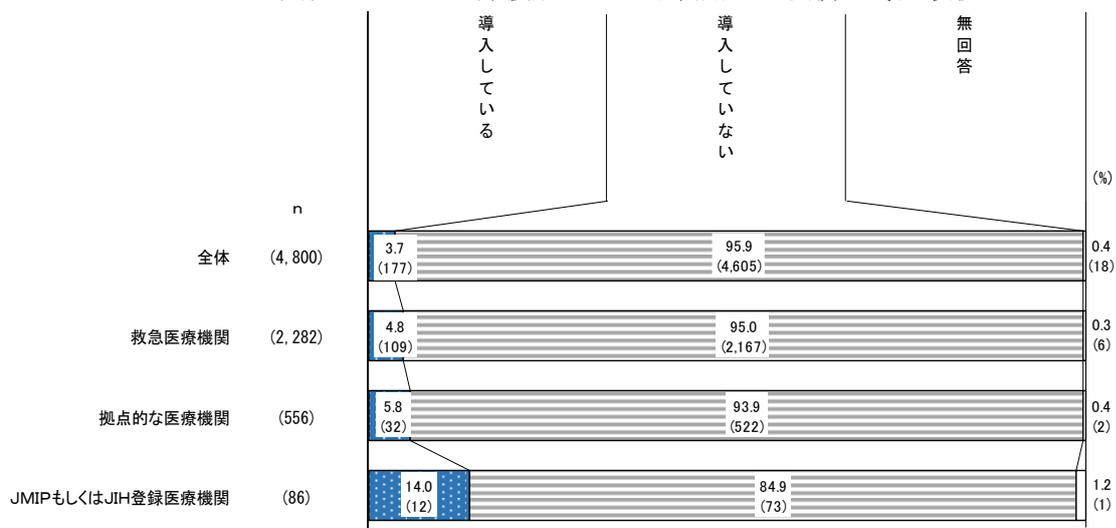
5. キャッシュレス決済について

(1) 非接触カードを利用した決済の導入状況 (SA)

非接触カードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 3.7%、「導入していない」が 95.9%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「導入している」が 4.8%、「導入していない」が 95.0%、拠点的な医療機関では「導入している」が 5.8%、「導入していない」が 93.9%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「導入している」が 14.0%、「導入していない」が 84.9%となっている。

図表 I-5-2 非接触カードを利用した決済の導入状況

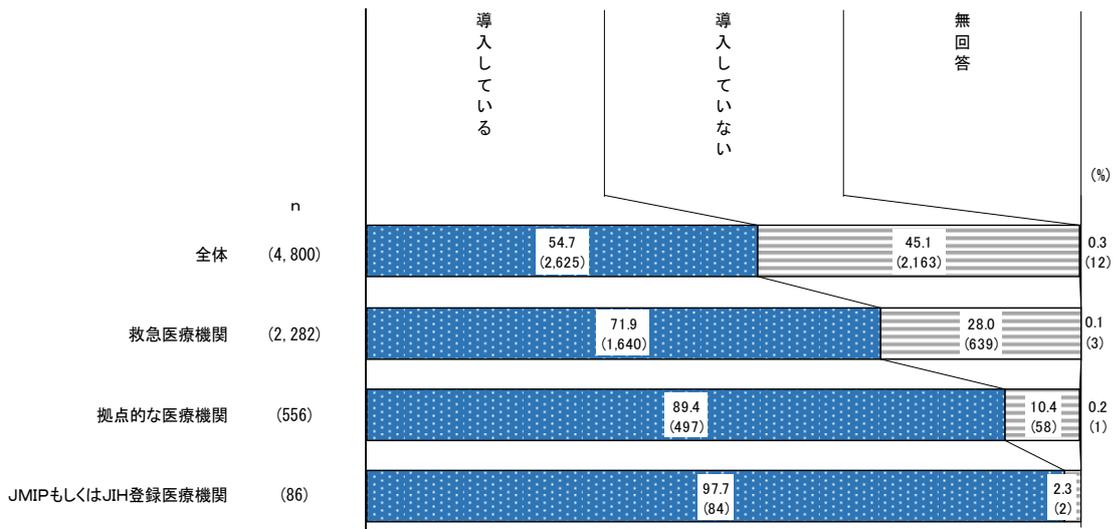


(2) クレジットカード（デビットカードを含む）を利用した決済の導入状況（SA）

クレジットカードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 54.7%、「導入していない」が 45.1%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「導入している」が 71.9%、「導入していない」が 28.0%、拠点的な医療機関では「導入している」が 89.4%、「導入していない」が 10.4%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「導入している」が 97.7%、「導入していない」が 2.3%となっている。

図表 I-5-1 クレジットカード（デビットカードを含む）を利用した決済の導入状況

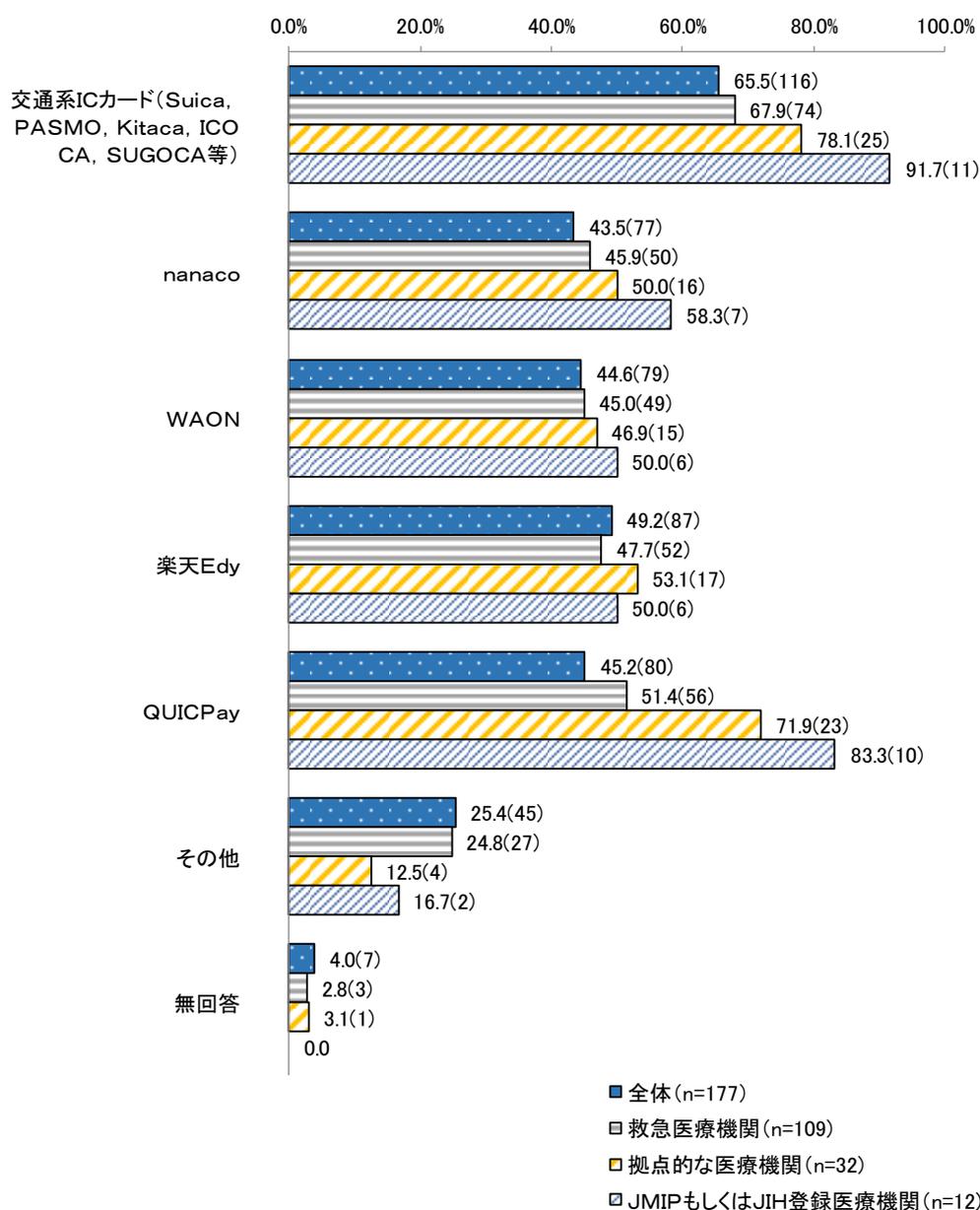


(3) 対応している非接触カード (MA)

非接触カードを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応しているサービスについて聞いたところ、「交通系 IC カード」が 65.5%で最も高く、次いで「楽天E d y」が 49.2%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「交通系 IC カード」が 67.9%で最も高く、次いで「QU I C P a y」が 51.4%と続いている。拠点的な医療機関では、「交通系 IC カード」が 78.1%で最も高く、次いで「QU I C P a y」が 71.9%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「交通系 IC カード」が 91.7%で最も高く、次いで「QU I C P a y」が 83.3%と続いている。

図表 I-5-3 対応している非接触カード

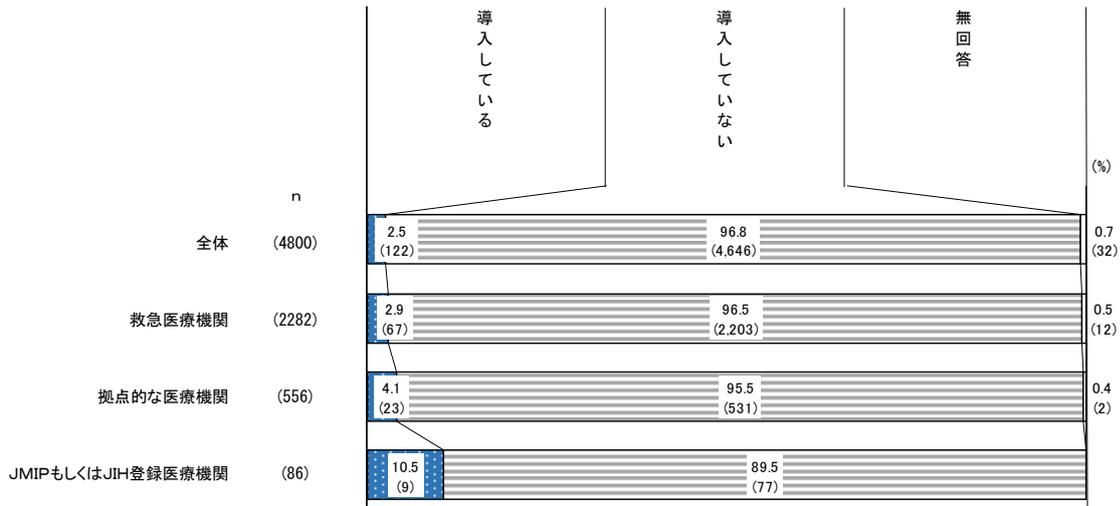


(4) QRコードを利用した決済の導入状況 (SA)

QRコードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が2.5%、「導入していない」が96.8%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「導入している」が2.9%、「導入していない」が96.5%、拠点的な医療機関では「導入している」が4.1%、「導入していない」が95.5%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「導入している」が10.5%、「導入していない」が89.5%となっている。

図表 I-5-4 QRコードを利用した決済の導入状況

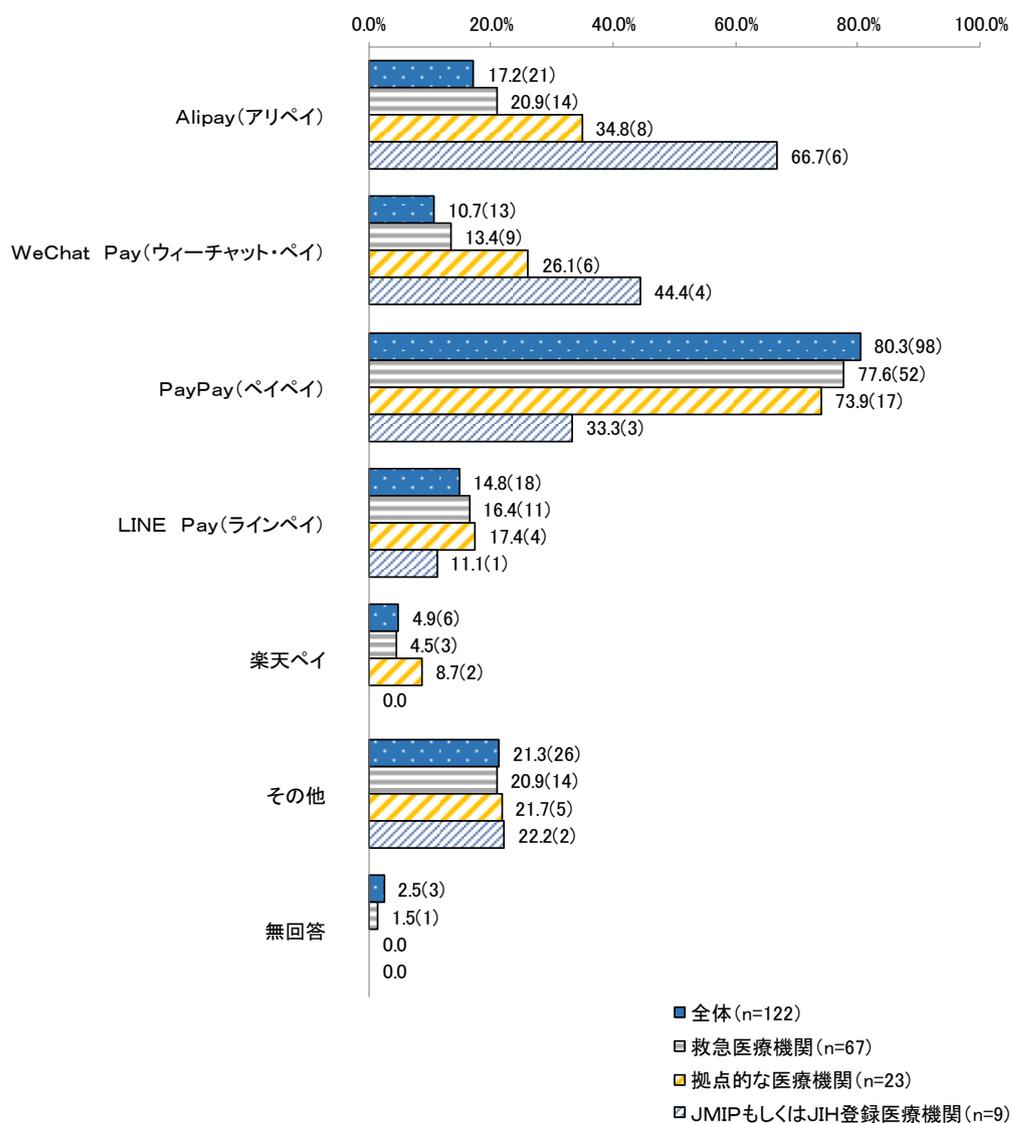


(5) 対応しているQRコードサービス (MA)

QRコードを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応しているQRコードサービスについて聞いたところ、「PayPay(ペイペイ)」が80.3%で最も高く、次いで「Alipay(アリペイ)」が17.2%、「LINE Pay(ライン・ペイ)」が14.8%となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「PayPay(ペイペイ)」が77.6%で最も高く、次いで「Alipay(アリペイ)」が20.9%となっている。拠点的な医療機関では「PayPay(ペイペイ)」が73.9%で最も高く、次いで「Alipay(アリペイ)」が34.8%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「Alipay(アリペイ)」が66.7%で最も高く、次いで「WeChat Pay(ウィーチャット・ペイ)」が44.4%となっている。

図表 I-5-5 対応しているQRコードサービス



(6) その他の決済サービスの利用状況 (FA)

その他の決済サービスの利用状況について聞いたところ、「小切手」、「銀行振込」、「メディカルゲート」、「STORES ターミナル」、「MCS 医療費後払いサービス」、「CADA」、「YOKA!Pay」、「コンビニ決済」等の回答が得られた。

6. 未収金等への対策について

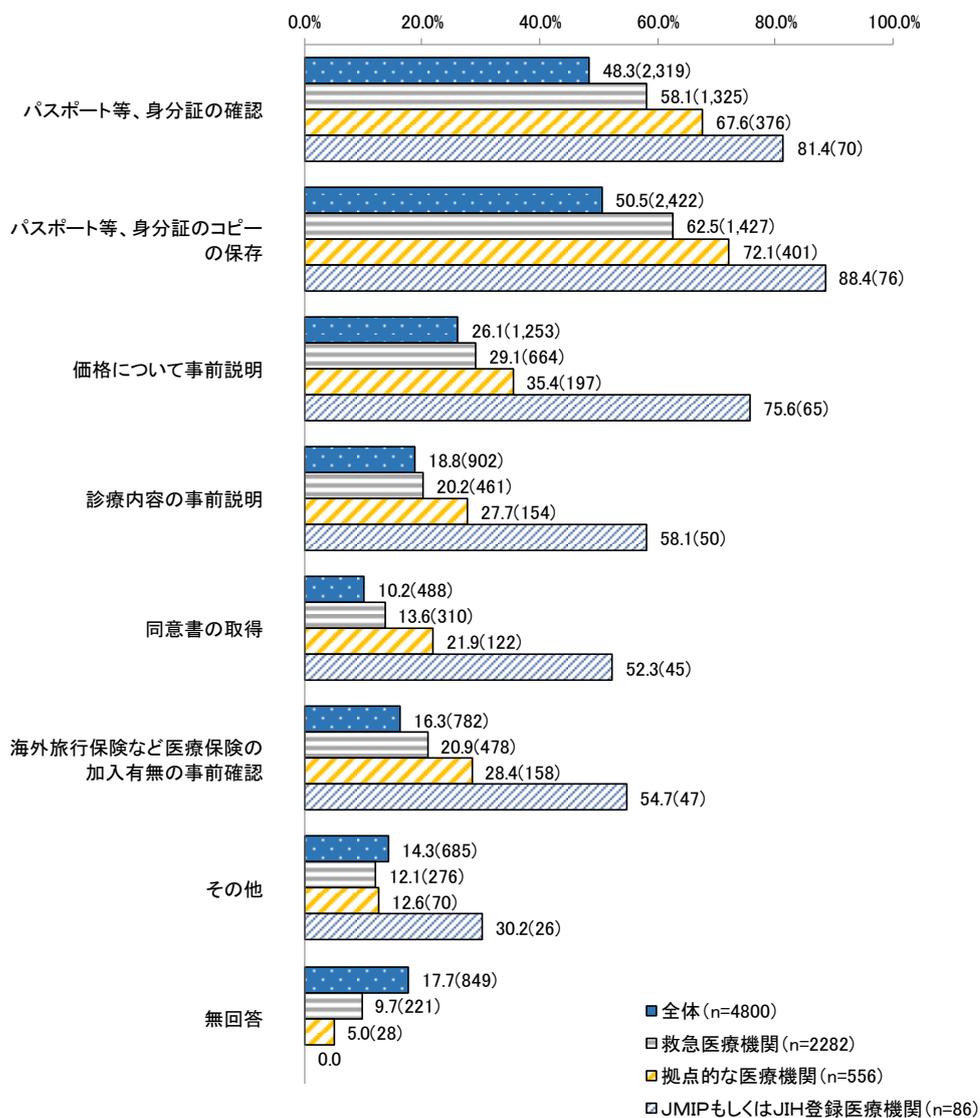
6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している、取り組み

(1) - 1 訪日外国人患者に対して実施している取組 (MA)

訪日外国人患者に対して実施している取組について聞いたところ、「パスポート等、身分証のコピーの保存」が 50.5%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 48.3%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が 62.5%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 58.1%と続いている。拠点的な医療機関では「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が 72.1%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 67.6%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が 88.4%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 81.4%と続いている。

図表 I-6-1-1 訪日外国人患者に対して実施している取組

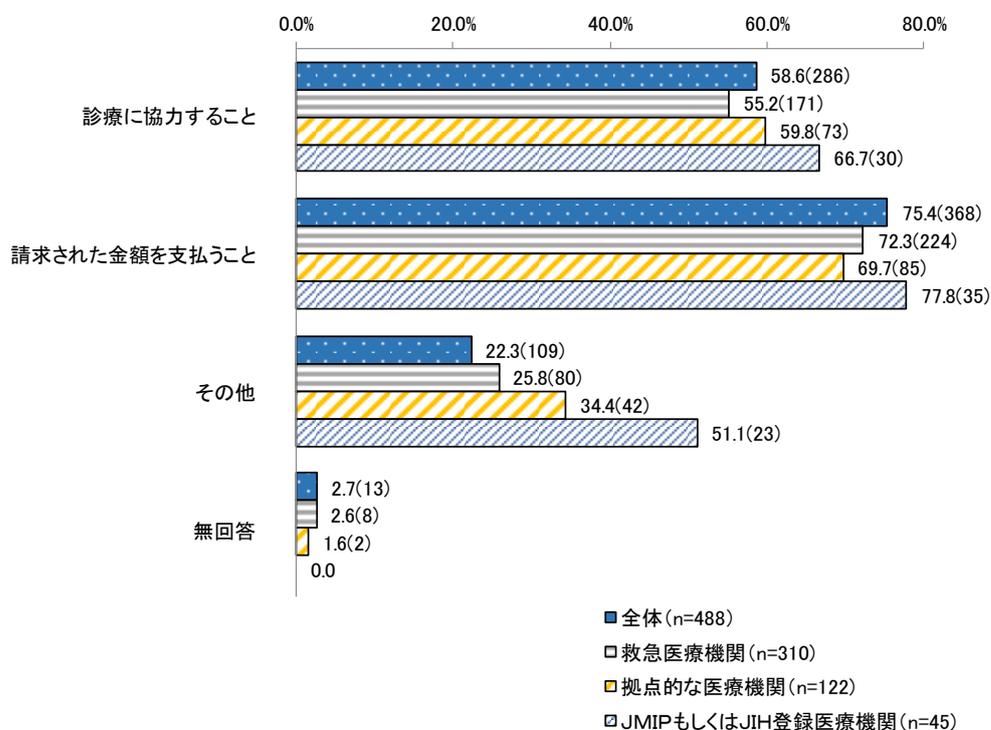


(1) - 2 同意書の同意内容 (MA)

訪日外国人患者に『同意書の取得』を実施している医療機関に対して、同意書の同意内容について聞いたところ、「請求された金額を支払うこと」が75.4%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が58.6%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「請求された金額を支払うこと」が72.3%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が55.2%と続いている。拠点的な医療機関では「請求された金額を支払うこと」が69.7%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が59.8%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「請求された金額を支払うこと」が77.8%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が66.7%と続いている。

図表 I-6-1-2 同意書の同意内容



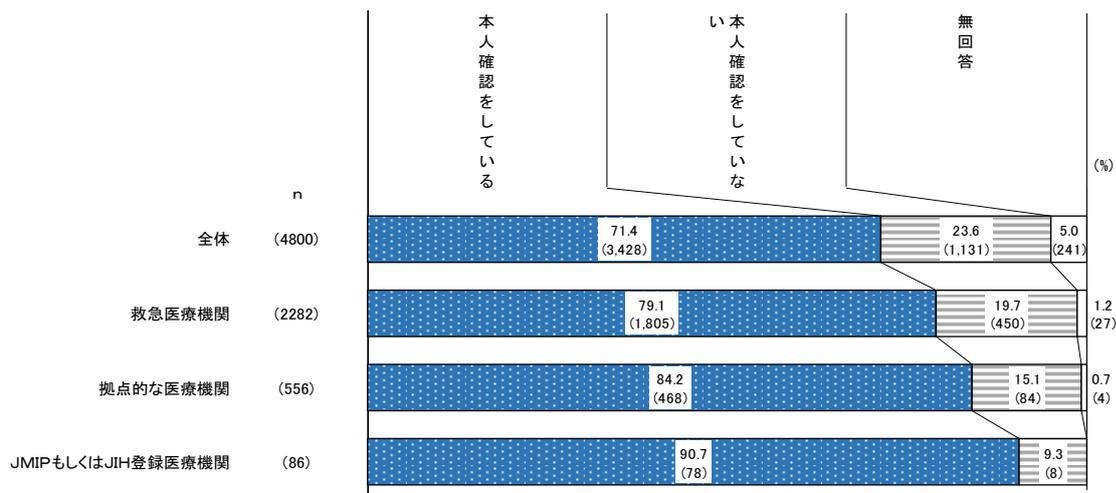
6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み

(2) - 1 在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)

在留外国人患者への本人確認実施の有無について聞いたところ、「本人確認をしている」が 71.4%、「本人確認をしていない」が 23.6%となっている。

医療機関の種別でみると、「本人確認をしている」は、救急医療機関では 79.1%、拠点的な医療機関では 84.2%、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では 90.7%となっている。

図表 I-6-2-1 在留外国人への本人確認実施の有無

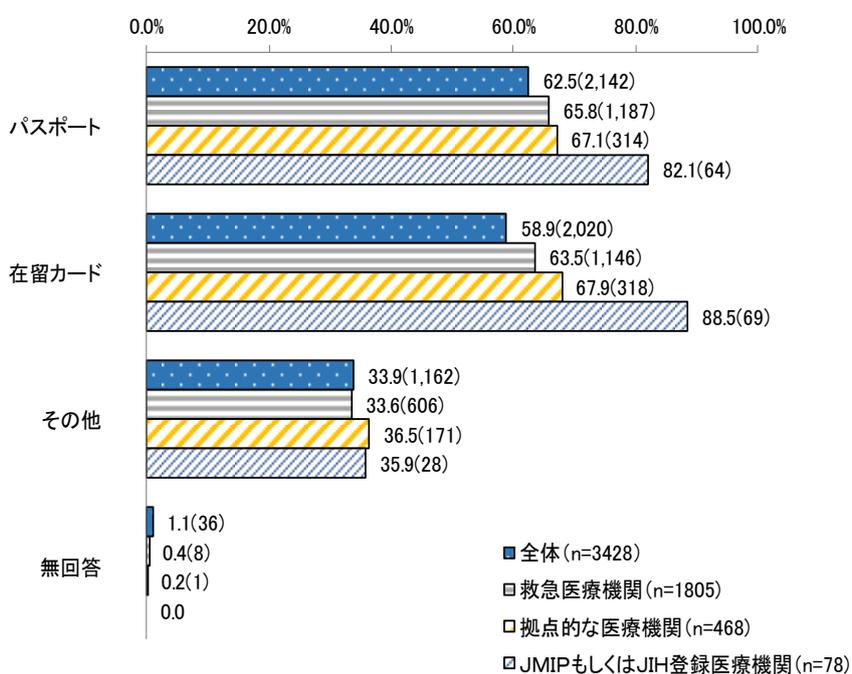


(2) - 2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)

在留外国人患者への本人確認を実施していると回答した医療機関に対して、本人確認時に提示を求めているものについて聞いたところ、「パスポート」が 62.5%で最も高く、次いで「在留カード」が 58.9%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「パスポート」が 65.8%で最も高く、次いで「在留カード」が 63.5%と続いている。拠点的な医療機関では「在留カード」が 67.9%で最も高く、次いで「パスポート」が 67.1%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「在留カード」が 88.5%で最も高く、次いで「パスポート」が 82.1%と続いている。

図表 I-6-2-2 本人確認時に提示を求めているもの



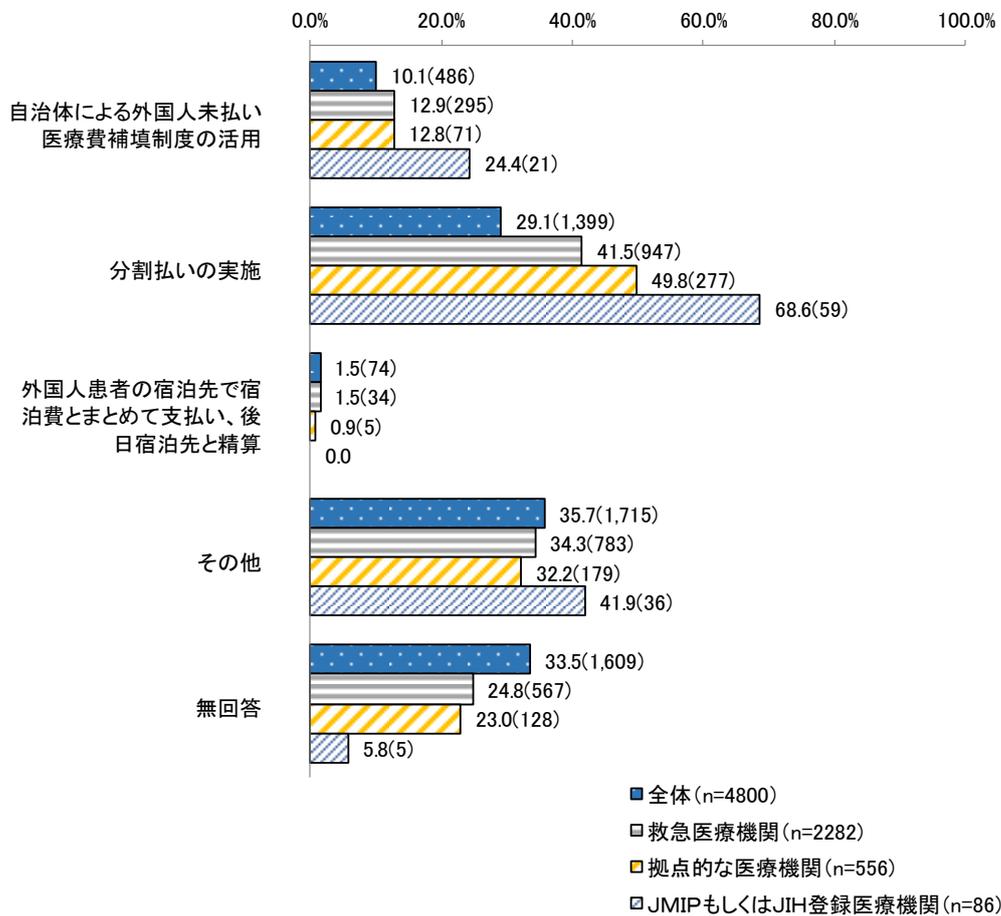
6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法

(3) - 1 医療費の回収方法 (MA)

外国人患者の医療費の回収方法について聞いたところ、「分割払いの実施」が 29.1%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用」が 10.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「分割払いの実施」が 41.5%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用」が 12.9%と続いている。拠点的な医療機関では「分割払いの実施」が 49.8%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用」が 12.8%と続いている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では「分割払いの実施」が 68.6%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用」が 24.4%と続いている。

図表 I-6-3-1 医療費の回収方法



II. 調査票 B 結果

1. 在留外国人患者の受入れ実績について

(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (SA)

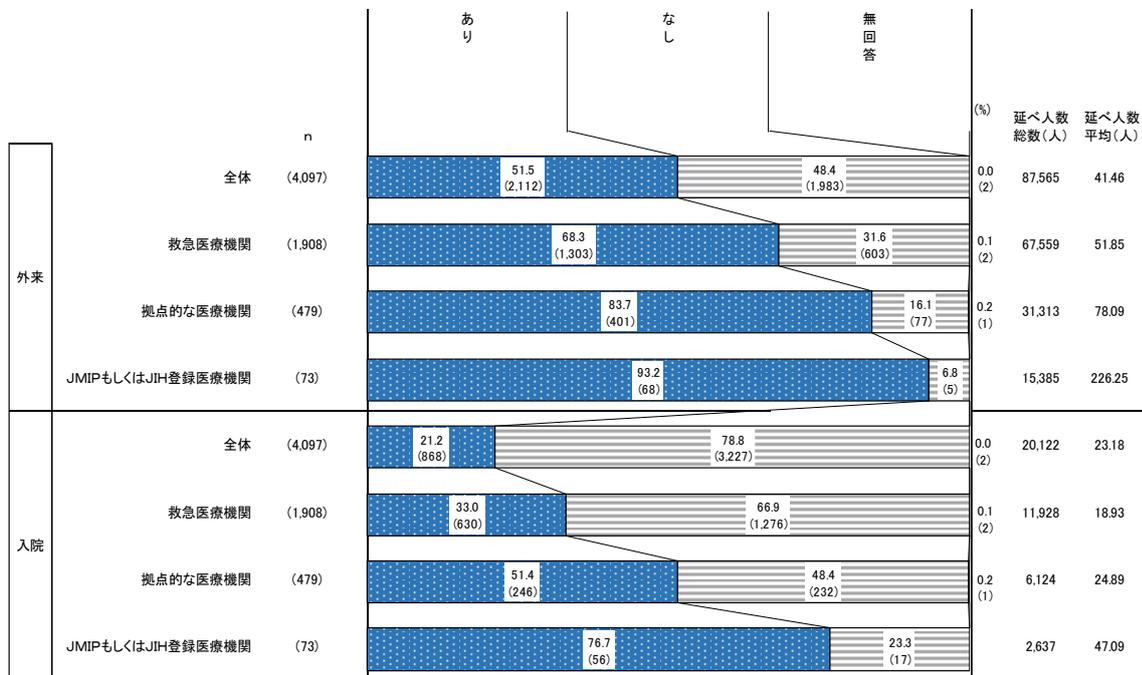
在留外国人患者受入れの有無について聞いたところ、外来では「あり」が 2,112 件 (51.5%)、「なし」が 1,983 件 (48.4%) となっており、入院では「あり」が 868 件 (21.2%)、「なし」が 3,227 件 (78.8%) となっている。

「あり」と回答した医療機関を種別でみると、救急医療機関では外来が 1,303 件 (68.3%)、入院が 630 件 (33.0%)、拠点的な医療機関では外来が 401 件 (83.7%)、入院が 246 件 (51.4%)、JMIP もしくは JIH 登録医療機関では外来が 68 件 (93.2%)、入院が 56 件 (76.7%) となっている。

受入れた在留外国人患者の延べ人数はそれぞれ 87,565 人 (外来)、20,122 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 41.46 人 (外来)、23.18 人 (入院) となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ 67,559 人 (外来)、11,928 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 51.85 人 (外来)、18.93 人 (入院) となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数はそれぞれ 31,313 人 (外来)、6,124 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 78.09 人 (外来)、24.89 人 (入院) となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では、延べ人数はそれぞれ 15,385 人 (外来)、2,637 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 226.25 人 (外来)、47.09 人 (入院) となっている。

図表 II-1-1 在留外国人患者受入れの有無及び延べ人数



(2) 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数（在留外国人）（FA）

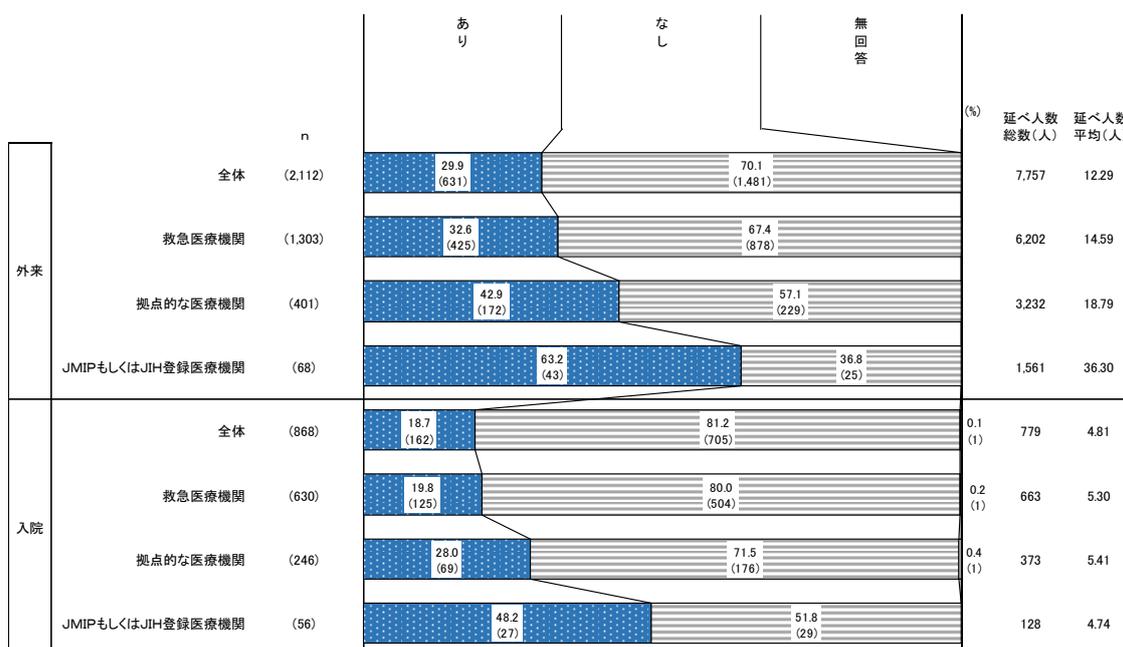
在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の公的医療保険の未加入者の有無について聞いたところ、外来では1名以上の未加入者「あり」と回答した医療機関が631件（29.9%）、未加入者「なし」と回答した医療機関が1,481件（70.1%）となっており、入院では「あり」が162件（18.7%）、「なし」が705件（81.2%）となっている。

「あり」と回答した医療機関を種別でみると、救急医療機関では外来が425件（32.6%）、入院が125件（19.8%）、拠点的な医療機関では外来が172件（42.9%）、入院が69件（28.0%）、JMIPもしくはJIH登録医療機関では外来が43件（63.2%）、入院が27件（48.2%）となっている。

受け入れた在留外国人患者の公的医療保険の未加入者の延べ人数はそれぞれ7,757人（外来）、779人（入院）、平均人数はそれぞれ12.29人（外来）、4.81人（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ6,202人（外来）、663人（入院）、平均人数はそれぞれ14.59人（外来）、5.30人（入院）となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数はそれぞれ3,232人（外来）、373人（入院）、平均人数はそれぞれ18.79人（外来）、5.41人（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、延べ人数はそれぞれ1,561人（外来）、128人（入院）、平均人数はそれぞれ36.30人（外来）、4.74人（入院）となっている。

図表Ⅱ-1-2 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数（在留外国人）



(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（在留外国人）(SA)

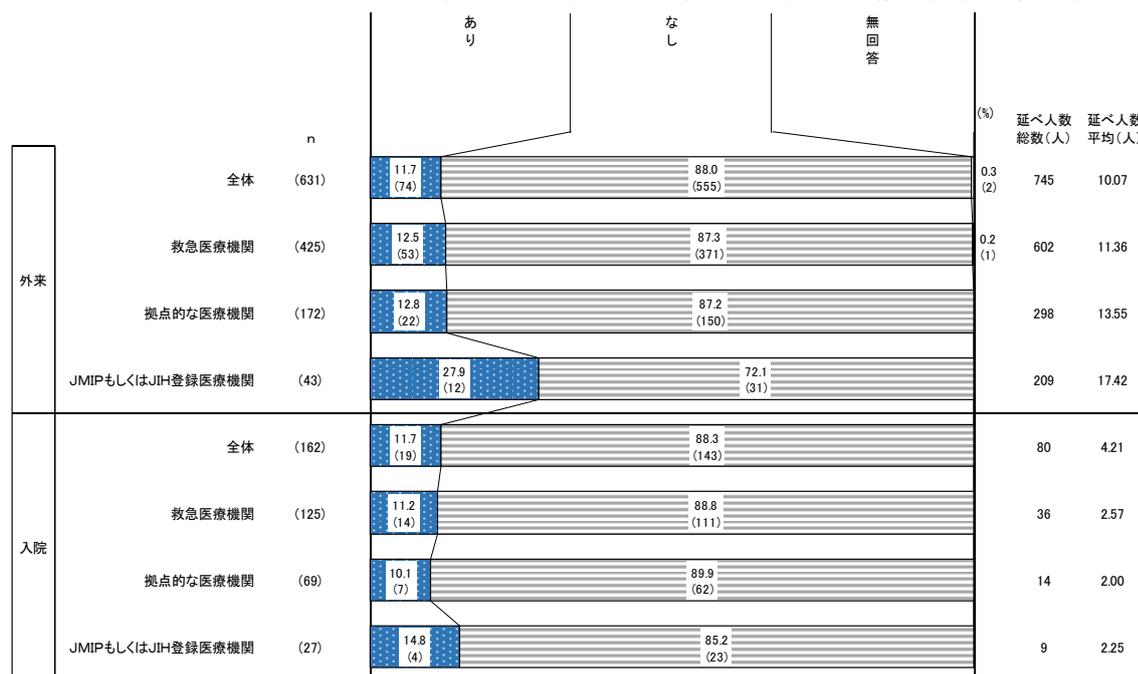
在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の民間医療保険利用者の有無について聞いたところ、外来では、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が74件（11.7%）、利用者「なし」と回答した医療機関が555件（88.0%）となっており、入院では「あり」が19件（11.7%）、「なし」が143件（88.3%）となっている。

「あり」と回答した医療機関を種別でみると、救急医療機関では外来が53件（12.5%）、入院が14件（11.2%）、拠点的な医療機関では外来が22件（12.8%）、入院が7件（10.1%）、JMIPもしくはJIH登録医療機関では外来が12件（27.9%）、入院が4件（14.8%）となっている。

受入れた在留外国人患者の民間医療保険利用者の延べ人数はそれぞれ745人（外来）、80人（入院）、平均人数はそれぞれ10.07人（外来）、4.21人（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ602人（外来）、36人（入院）、平均人数はそれぞれ11.36人（外来）、2.57人（入院）となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数はそれぞれ298人（外来）、14人（入院）、平均人数はそれぞれ13.55人（外来）、2.00人（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、延べ人数はそれぞれ209人（外来）、9人（入院）、平均人数はそれぞれ17.42人（外来）、2.25人（入院）となっている。

図表Ⅱ-1-3 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（在留外国人）

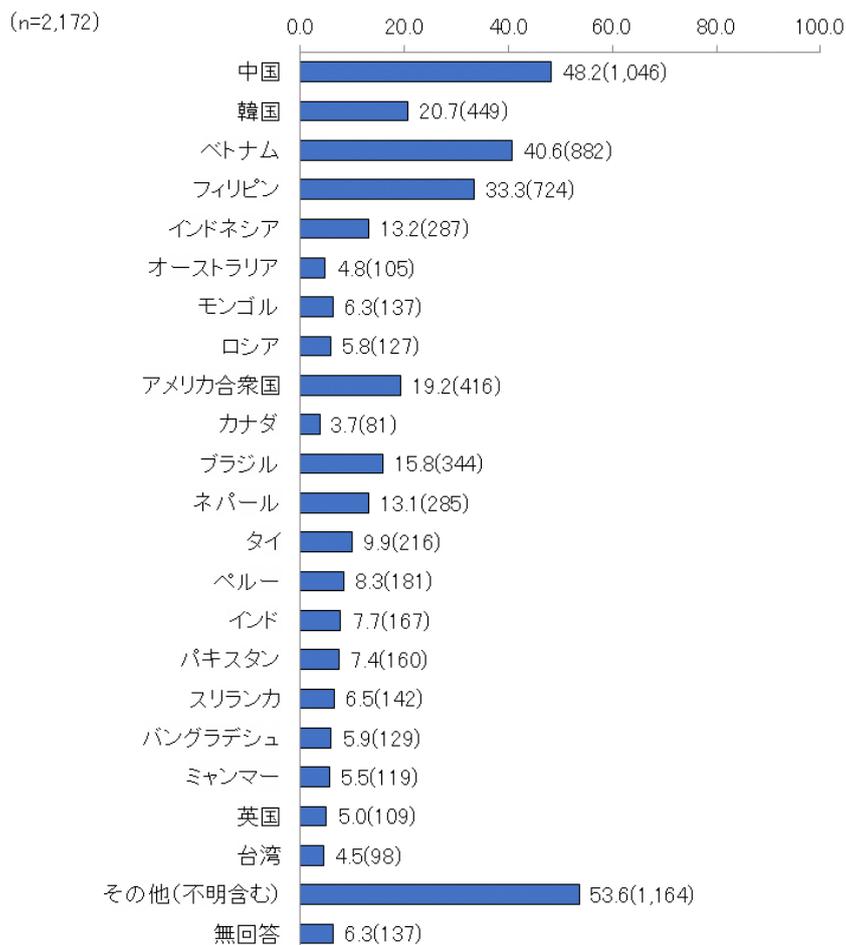


(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の国籍について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の48.2%で最も高く、次いで「ベトナム」籍が40.6%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-4 受入れた在留外国人患者の国籍



図表Ⅱ-1-4-1 受入れた在留外国人患者の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	オーストラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ合衆国	カナダ	ブラジル
回答医療機関数 (件)	1,046	449	882	724	287	105	137	127	416	81	344
総数 (人)	13,289	3,704	5,274	5,583	757	215	336	349	2,884	195	5,758
平均 (人)	12.70	8.25	5.98	7.71	2.64	2.05	2.45	2.75	6.93	2.41	16.74
	ネパール	タイ	ペルー	インド	パキスタン	スリランカ	バングラデシュ	ミャンマー	英国	台湾	その他 (不明含む)
回答医療機関数 (件)	285	216	181	167	160	142	129	119	109	98	1,164
総数 (人)	1,978	889	1,391	608	516	787	466	460	231	328	30,763
平均 (人)	6.94	4.12	7.69	3.64	3.23	5.54	3.61	3.87	2.12	3.35	26.43

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

2. 訪日外国人患者（医療渡航を除く）の受入れ実績について

(1) 訪日外国人患者（医療渡航を除く）の受入れの有無及び延べ人数（SA）

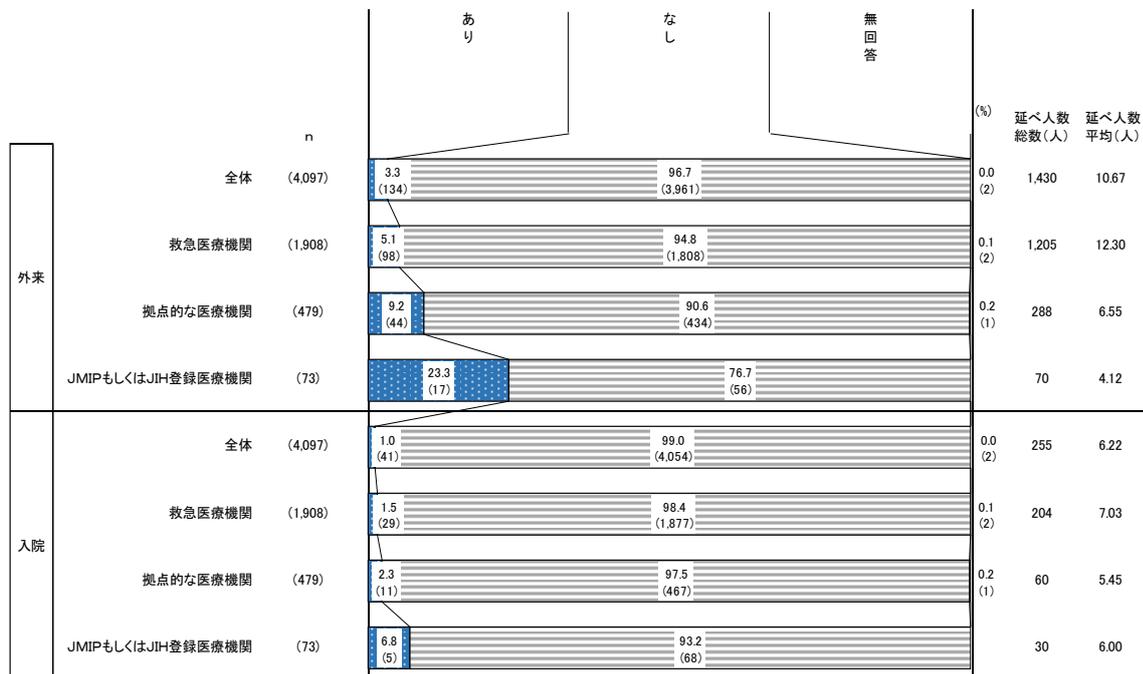
訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入れの有無について聞いたところ、外来では「あり」が134件（3.3%）、「なし」が3,961件（96.7%）となっており、入院では「あり」が41件（1.0%）、「なし」が4,054件（99.0%）となっている。

「あり」と回答した医療機関種別でみると、救急医療機関では外来が98件（5.1%）、入院が29件（1.5%）、拠点的な医療機関では、外来が44件（9.2%）、入院が11件（2.3%）、JMIPもしくはJIH登録医療機関では、外来が17件（23.3%）、入院が5件（6.8%）となっている。

受入れ患者の延べ人数はそれぞれ1,430人（外来）、255人（入院）、平均人数はそれぞれ10.67人（外来）、6.22人（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ1,205人（外来）、204人（入院）、平均人数はそれぞれ12.30人（外来）、7.03人（入院）となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数はそれぞれ288人（外来）、60人（入院）、平均人数はそれぞれ6.55人（外来）、5.45人（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、延べ人数はそれぞれ70人（外来）、30人（入院）、平均人数はそれぞれ4.12人（外来）、6.0人（入院）となっている。

図表Ⅱ-2-1 訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入れの有無及び延べ人数



(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（訪日外国人患者（医療渡航を除く））（SA）

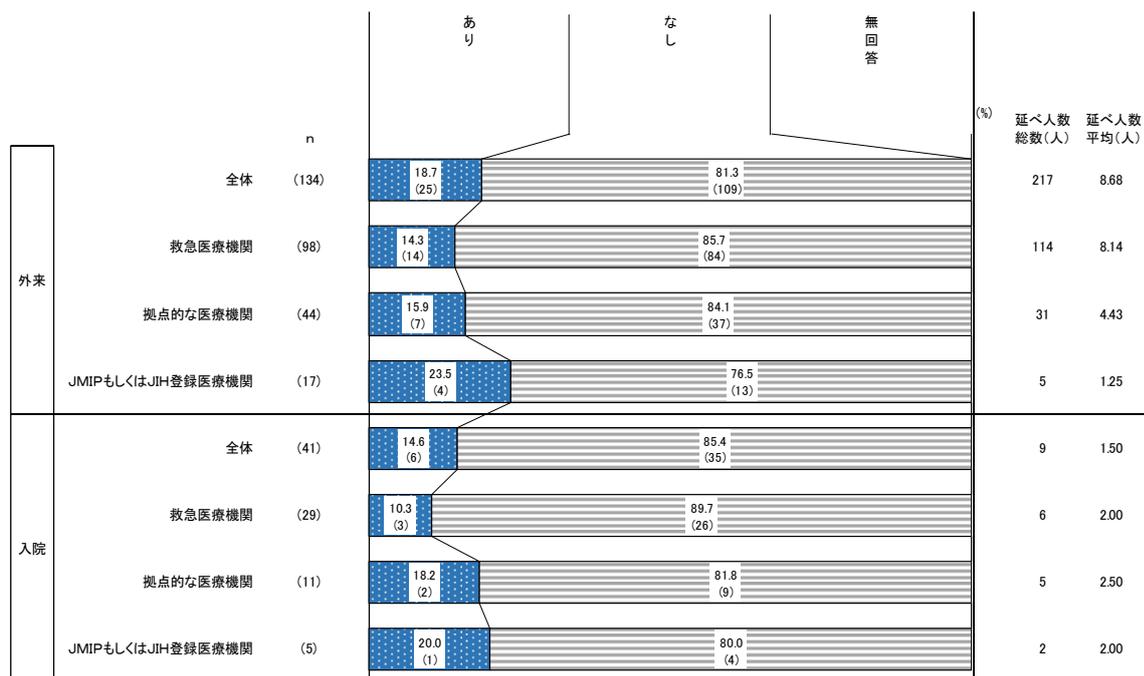
訪日外国人患者（医療渡航を除く）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の民間医療保険利用者について聞いたところ、外来では、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が25件（18.7%）、利用者「なし」と回答した医療機関が109件（81.3%）となっており、入院では、「あり」が6件（14.6%）、「なし」が35件（85.4%）となっている。

「あり」と回答した医療機関種別でみると、救急医療機関では外来が14件（14.3%）、入院が3件（10.3%）、拠点的な医療機関では外来が7件（15.9%）、入院が2件（18.2%）、JMIPもしくはJIH登録医療機関では外来が4件（23.5%）、入院が1件（20.0%）となっている。

受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の民間医療保険利用者の延べ人数はそれぞれ217人（外来）、9人（入院）、平均人数はそれぞれ8.68人（外来）、1.50人（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ114人（外来）、6人（入院）、平均人数はそれぞれ8.14人（外来）、2.00人（入院）となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数はそれぞれ31人（外来）、5人（入院）、平均人数はそれぞれ4.43人（外来）、2.50人（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、延べ人数はそれぞれ5人（外来）、2人（入院）、平均人数はそれぞれ1.25人（外来）、2.00人（入院）となっている。

図表Ⅱ-2-2 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（訪日外国人患者（医療渡航を除く））

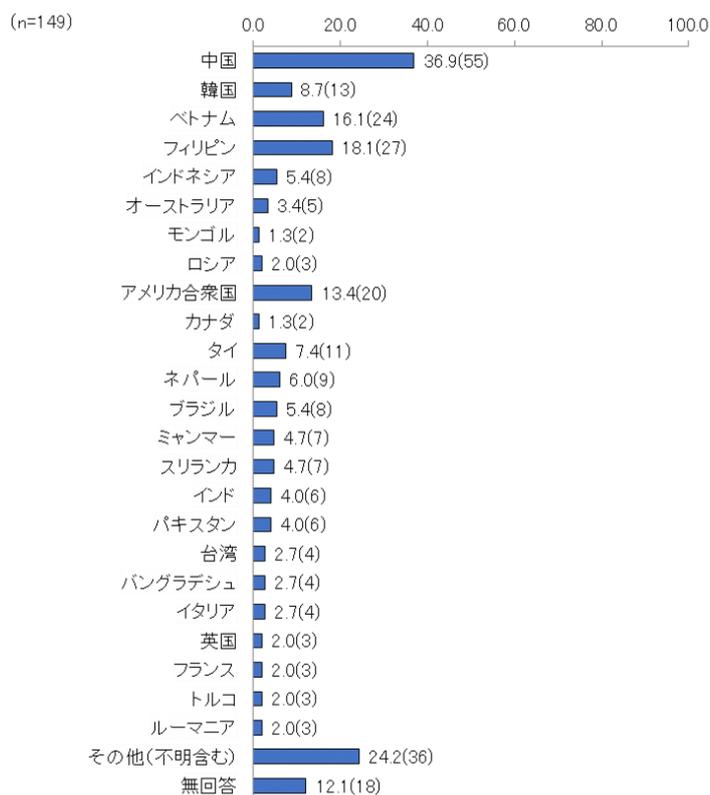


(3) 受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍別の延べ人数（MA）

訪日外国人患者（医療渡航を除く）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の 36.9%で最も高く、次いで「フィリピン」籍が 18.1%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者（医療渡航を除く）の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-2-3 受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍



図表Ⅱ-2-3-1 受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	オーストラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ合衆国	カナダ	タイ	
回答医療機関数 (件)	55	13	24	27	8	5	2	3	20	2	11	
総数 (人)	187	20	119	116	14	6	2	7	34	2	21	
平均 (人)	3.40	1.54	4.96	4.3	1.75	1.2	1	2.33	1.7	1	1.91	
	ネパール	ブラジル	ミャンマー	スリランカ	インド	パキスタン	台湾	バングラデシュ	イタリア	英国	フランス	
回答医療機関数 (件)	9	8	7	7	6	6	4	4	4	3	3	
総数 (人)	22	39	21	25	8	20	9	6	5	6	3	
平均 (人)	2.44	4.88	3	3.57	1.33	3.33	2.25	1.5	1.25	2	1	
	トルコ	ルーマニア	その他(不明含む)									
回答医療機関数 (件)	3	3	36									
総数 (人)	4	6	316									
平均 (人)	1.33	2	8.78									

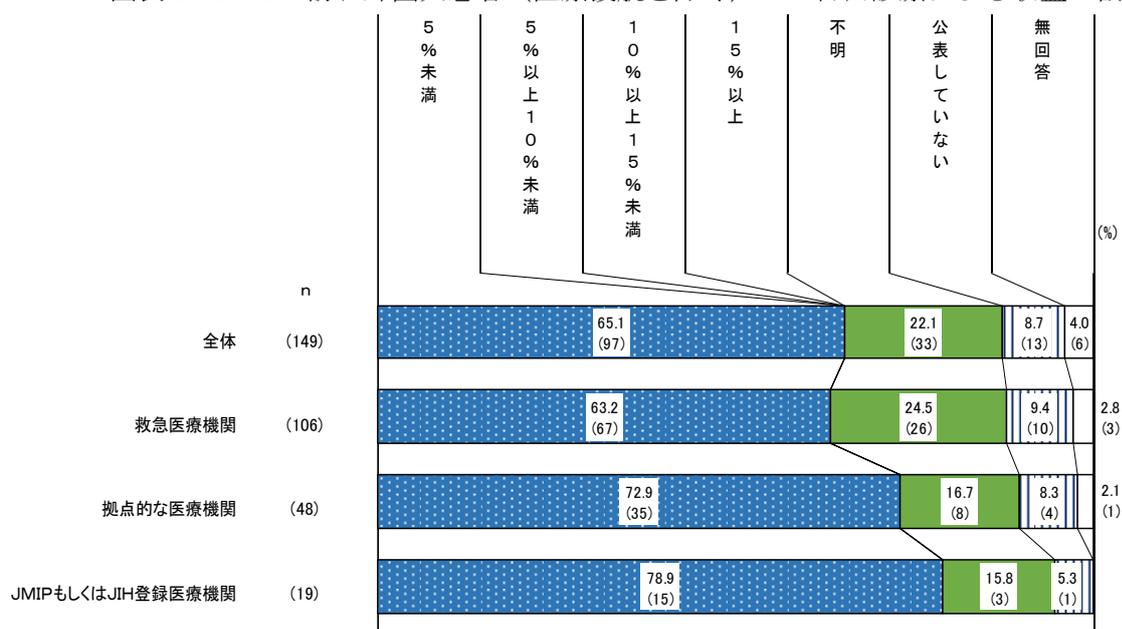
※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

(4) 訪日外国人患者（医療渡航を除く）への自由診療による収益の割合

訪日外国人患者（医療渡航を除く）を受入れたと回答した医療機関に対して、期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者（医療渡航を除く）への自由診療による収益の割合について聞いたところ、「5%未満」が65.1%で最も高く、次いで「不明」が22.1%と続いている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では「5%未満」が63.2%で最も高く、次いで「不明」が24.5%と続いている。拠点的な医療機関では「5%未満」が72.9%で最も高く、次いで「不明」が16.7%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「5%未満」が78.9%で最も高く、次いで「不明」が15.8%と続いている。

図表Ⅱ-2-4 訪日外国人患者（医療渡航を除く）への自由診療による収益の割合



3. 訪日外国人患者（医療目的）の受入れ実績について

(1) 訪日外国人患者（医療目的）の受入れの有無及び延べ人数（SA）

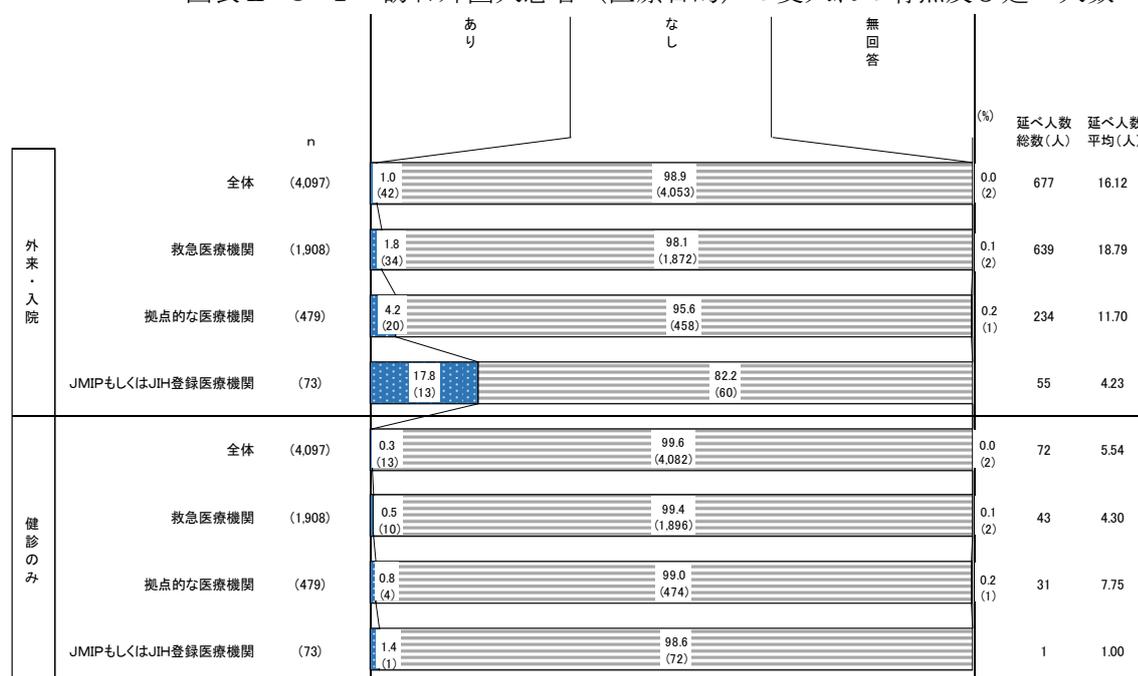
訪日外国人患者（医療目的）受入れの有無について聞いたところ、外来・入院では「あり」が42件（1.0%）、「なし」が4,053件（98.9%）となっており、健診のみでは「あり」が13件（0.3%）、「なし」が4,082件（99.6%）となっている。

「あり」と回答した医療機関を種別でみると、救急医療機関では外来・入院が34件（1.8%）、健診のみが10件（0.5%）、拠点的な医療機関では、外来・入院が20件（4.2%）、健診のみが4件（0.8%）、JMIPもしくはJIH登録医療機関では外来・入院が13件（17.8%）、健診のみが1件（1.4%）となっている。

受入れ患者の延べ人数はそれぞれ677人（外来・入院）、72人（健診のみ）、平均人数はそれぞれ16.12人（外来・入院）、5.54人（健診のみ）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ639人（外来・入院）、43人（健診のみ）、平均人数はそれぞれ18.79人（外来・入院）、4.30人（健診のみ）となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数はそれぞれ234人（外来・入院）、31人（健診のみ）、平均人数はそれぞれ11.70人（外来・入院）、7.75人（健診のみ）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、延べ人数はそれぞれ55人（外来・入院）、1人（健診のみ）、平均人数はそれぞれ4.23人（外来・入院）、1.0人（健診のみ）となっている。

図表Ⅱ-3-1 訪日外国人患者（医療目的）の受入れの有無及び延べ人数



(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（訪日外国人患者（医療目的））（SA）

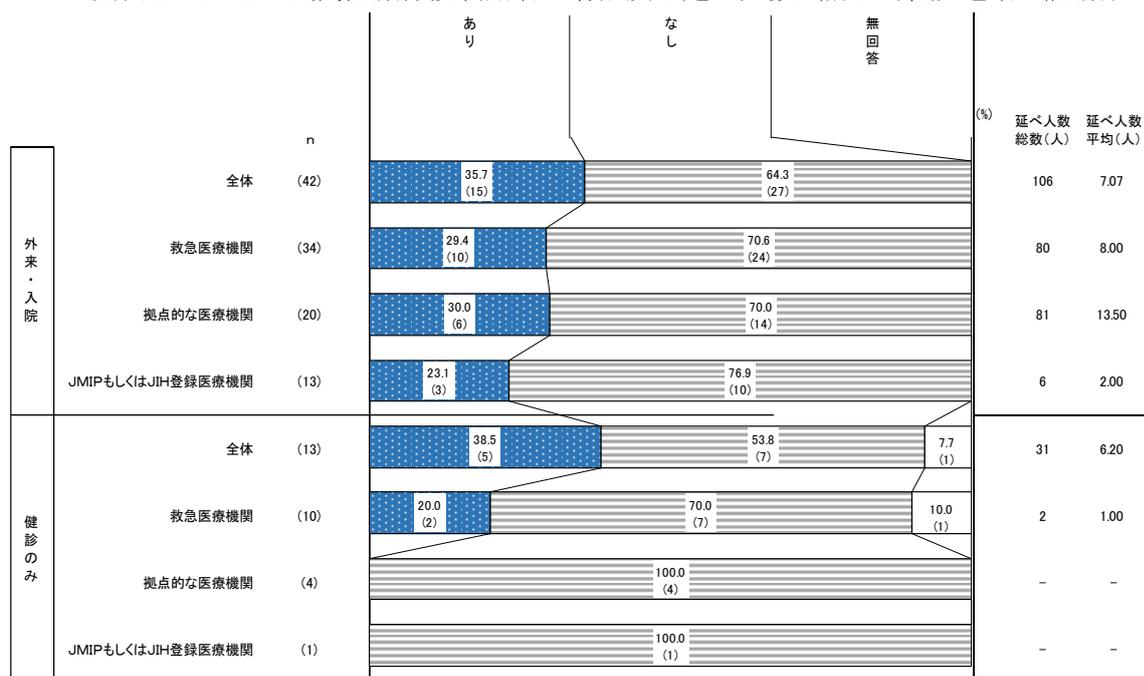
訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療目的）の民間医療保険利用者の有無について聞いたところ、外来・入院では、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が15件（35.7%）、利用者「なし」と回答した医療機関は27件（64.3%）となっており、検診のみでは、「あり」が5件（38.5%）、「なし」が7件（53.8%）であった。

「あり」と回答した医療機関の種別でみると、救急医療機関では外来・入院が10件（29.4%）、健診のみが2件（20.0%）、拠点的な医療機関では外来・入院が6件（30.0%）、JMIPもしくはJIH登録医療機関では外来・入院が3件（23.1%）となっている。

受入れた訪日外国人患者（医療目的）の民間医療保険利用者の延べ人数はそれぞれ106人（外来・入院）、31人（検診のみ）、平均人数はそれぞれ7.07人（外来、入院）、6.20人（検診のみ）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、延べ人数はそれぞれ80人（外来・入院）、2人（検診のみ）、平均人数はそれぞれ8.00人（外来・入院）、1.00人（検診のみ）となっている。拠点的な医療機関では、延べ人数は81人（外来・入院）、平均人数は13.50人（外来・入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では、延べ人数は6人（外来・入院）、平均人数は2.00人（外来・入院）となっている。

図表Ⅱ-3-2 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（訪日外国人患者（医療目的））

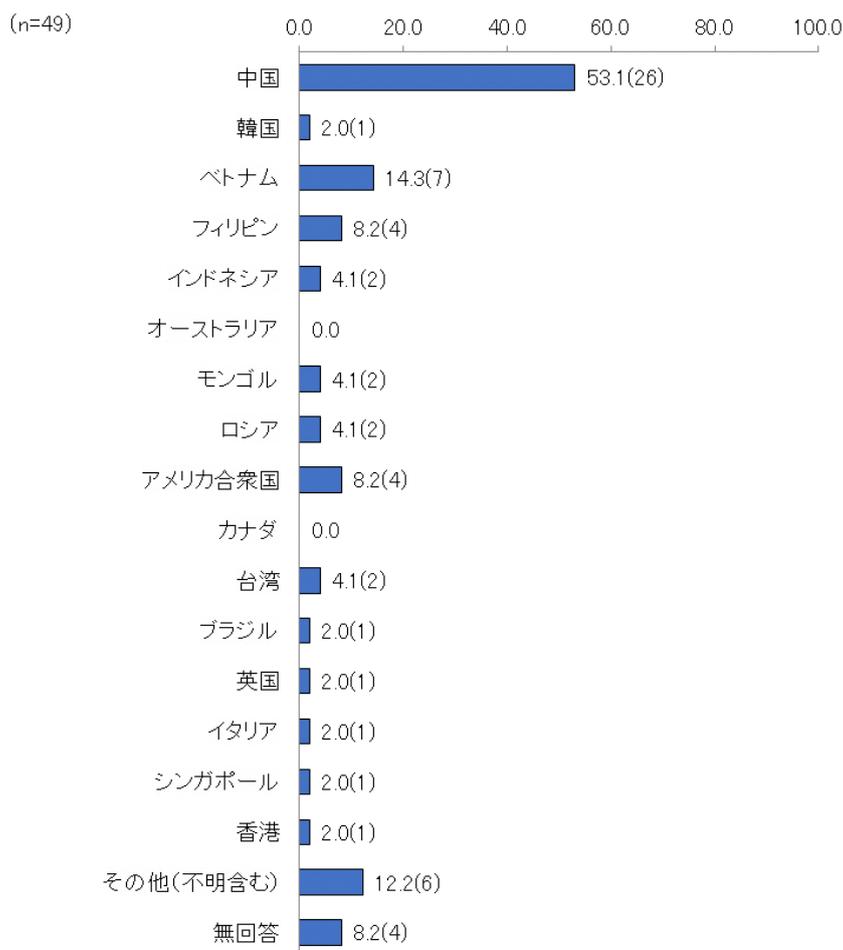


(3) 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍別の延べ人数（MA）

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の 53.1%で最も高く、次いで「ベトナム」籍が 14.3%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者（医療目的）の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-3-3 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍



図表Ⅱ-3-3-1 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	オーストラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ合衆国	カナダ	台湾
回答医療機関数 (件)	26	1	7	4	2	-	2	2	4	-	2
総数 (人)	86	1	46	4	2	-	3	5	8	-	2
平均 (人)	3.31	1	6.57	1	1	-	1.5	2.5	2	-	1
	ブラジル	英国	イタリア	シンガポール	香港	その他(不明含む)					
回答医療機関数 (件)	1	1	1	1	1	6					
総数 (人)	1	1	1	1	1	80					
平均 (人)	1.00	1	1	1	1	13.33					

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

(4) 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類（FA）

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類の総数及び平均については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-3-4 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類

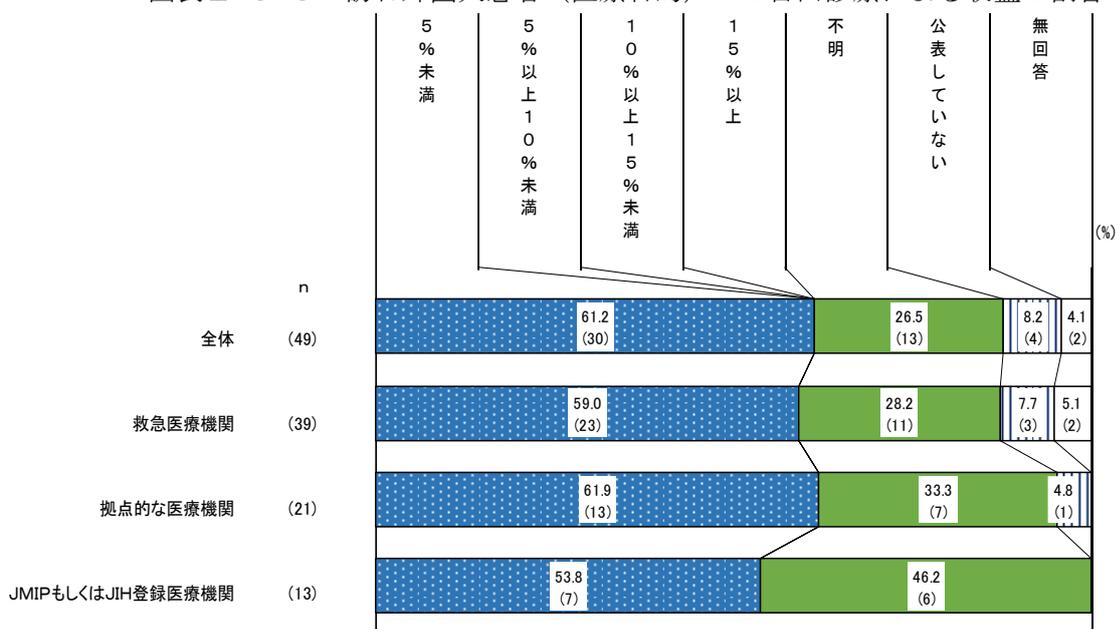
	回答医療機関数（件）	総数（人）	平均（人）
悪性新生物（C00-C97）	15	94	6.27
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50-D89）	2	2	1.00
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患（H00-H95）	2	2	1.00
循環器系疾患（I00-I99）	6	9	1.50
呼吸器系疾患（J00-J99）	1	2	2.00
歯科疾患を除く消化器系疾患（K00-K94）	2	2	1.00
歯科疾患（管理等含む）	1	1	1.00
筋骨格系及び結合組織疾患（M00-M94）	6	12	2.00
腎尿路生殖器系疾患（N00-N99）	3	7	2.33
妊娠、分娩及び産褥（O00-O99）	2	2	1.00
損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00-T98）	3	5	1.67
その他	15	23	1.53

(5) 訪日外国人患者（医療目的）への自由診療による収益の割合

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者（医療目的）への自由診療による収益の割合について聞いたところ、「5%未満」が61.2%で最も高く、次いで「不明」が26.5%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「5%未満」が59.0%で最も高く、次いで「不明」が28.2%と続いている。拠点的な医療機関では「5%未満」が61.9%で最も高く、次いで「不明」が33.3%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「5%未満」が53.8%で最も高く、次いで「不明」が46.2%と続いている。

図表Ⅱ-3-5 訪日外国人患者（医療目的）への自由診療による収益の割合



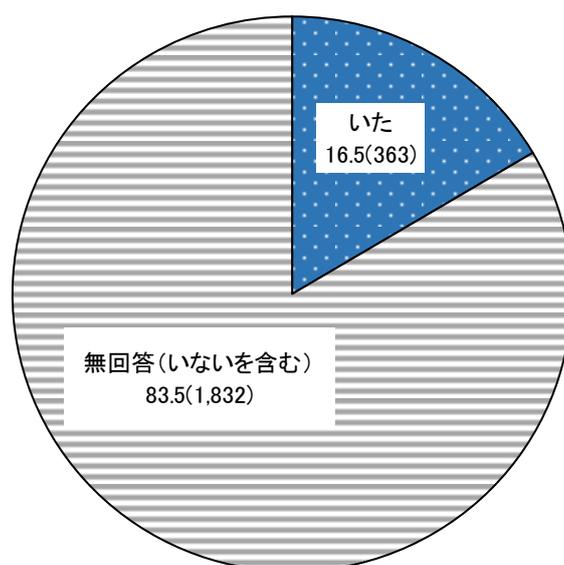
4. 未収金を生じた患者について

(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)

いずれかの外国人患者を受け入れた病院に未収金を生じた患者の有無について聞いたところ、「いた」が16.5%、「無回答 (いないを含む)」が83.5%となっている。

図表Ⅱ-4-1 未収金を生じた患者の有無

(n=2,195)



(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)

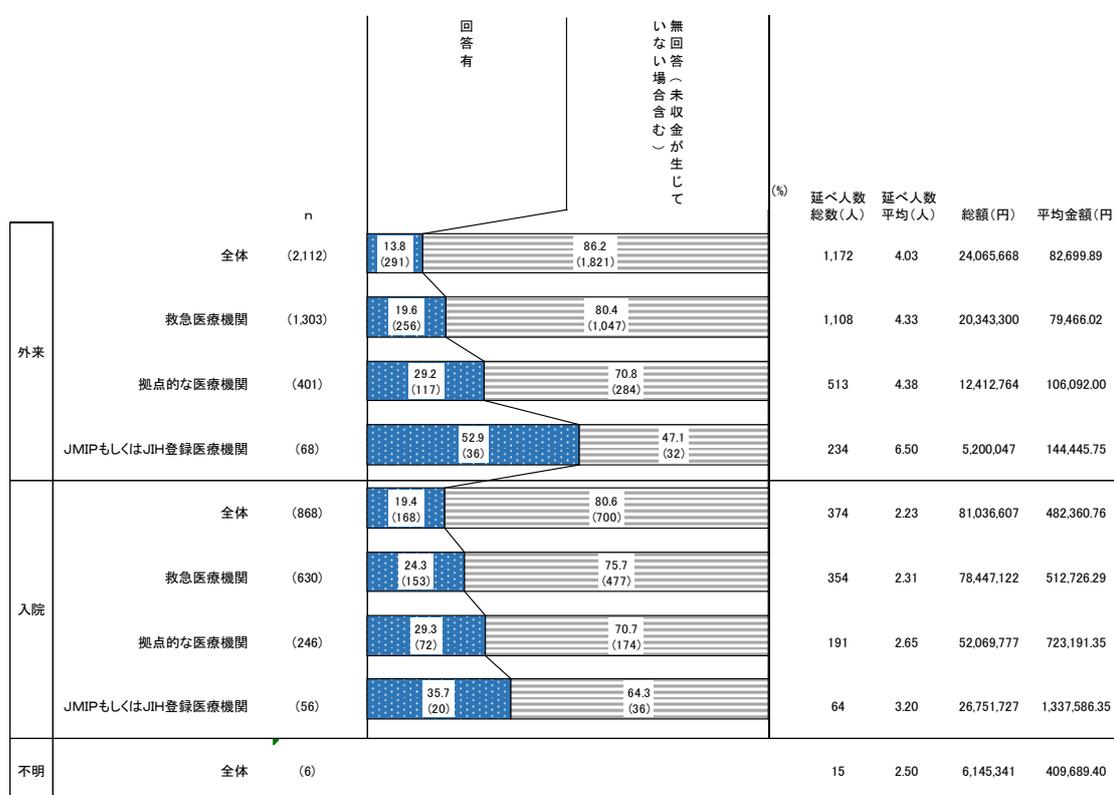
未収金を生じた在留外国人患者について回答があったのは、外来で 291 件 (13.8%)、入院で 168 件 (19.4%) となっている。延べ人数は外来で 1,172 人、平均人数 4.03 人となっており、入院では 374 人、平均人数 2.23 人となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では外来で 256 件 (19.6%)、入院で 153 件 (24.3%) となっている。延べ人数は外来で 1,108 人、平均人数 4.33 人となっており、入院では 354 人、平均人数 2.31 人となっている。拠点的な医療機関では外来で 117 件 (29.2%)、入院で 72 件 (29.3%) となっている。延べ人数は外来で 513 人、平均人数 4.38 人となっており、入院では 191 人、平均人数 2.65 人となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では、外来で 36 件 (52.9%)、入院で 20 件 (35.7%) となっている。延べ人数は外来で 234 人、平均人数 6.50 人となっており、入院では 64 人、平均人数 3.20 人となっている。

在留外国人患者の未収金額の総額は、外来で 24,065,668 円 (平均 82,699.89 円) となっており、入院は 81,036,607 円 (平均 482,360.76 円) となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では外来で 20,343,300 円 (平均 79,466.02 円) となっており、入院は 78,447,122 円 (平均 512,726.29 円) となっている。拠点的な医療機関では、外来で 12,412,764 円 (平均 106,092.00 円) となっており、入院は 52,069,777 円 (平均 723,191.35 円) となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では、外来で 5,200,047 円 (平均 144,445.75 円) となっており、入院は 26,751,727 円 (平均 1,337,586.35 円) となっている。

図表Ⅱ-4-2 未収金を生じた在留外国人患者



※表中の「延べ人数平均」「平均金額」は、「回答有」の機関数で割って算出している。

(3) 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）(FA)

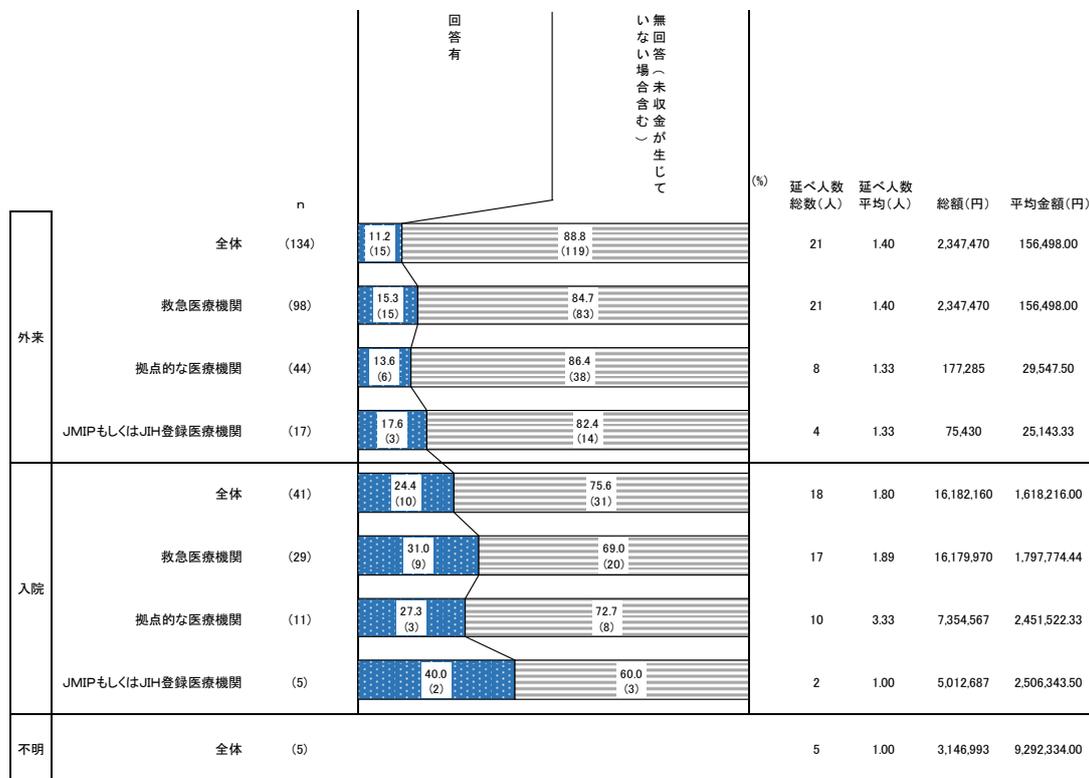
未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）について回答があったのは、外来で 15 件（11.2%）、入院で 10 件（24.4%）となっている。延べ人数は外来で 21 人、平均人数 1.40 人となっており、入院では 18 人、平均人数 1.80 人となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では、外来で 15 件（15.3%）、入院で 9 件（31.0%）となっている。延べ人数は外来で 21 人、平均人数 1.40 人となっており、入院では 17 人、平均人数 1.89 人となっている。拠点的な医療機関では、外来で 6 件（13.6%）、入院で 3 件（27.3%）となっている。延べ人数は外来で 8 人、平均人数 1.33 人となっており、入院では 10 人、平均人数 3.33 人となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では、外来で 3 件（17.6%）、入院で 2 件（40.0%）となっている。延べ人数は外来で 4 人、平均人数 1.33 人となっており、入院では 2 人、平均人数 1.00 人となっている。

訪日外国人患者（医療渡航を除く）の未収金額の総額は、外来で 2,347,470 円（平均 156,498 円）となっており、入院は 16,182,160 円（平均 1,618,216 円）となっている。

医療機関の種別で見ると、救急医療機関では、外来で 2,347,470 円（平均 156,498 円）となっており、入院は 16,179,970 円（平均 1,797,774.44 円）となっている。拠点的な医療機関では外来で 177,285 円（平均 29,547.50 円）となっており、入院は 7,354,567 円（平均 2,451,522.33 円）となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では、外来で 75,430 円（平均 25,143.33 円）となっており、入院は 5,012,687 円（平均 2,506,343.50 円）となっている。

図表Ⅱ-4-3 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）



※表中の「延べ人数平均」「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(4) 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（FA）

未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）について回答があったのは、外来・入院で 2 件（4.8%）となっている。延べ人数は外来・入院で 3 人、平均人数 1.5 人となっている。なお、検診のみでは未収金を生じた訪日外国人患者はいなかった。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来・入院で 2 件（5.9%）となっている。延べ人数は外来・入院で 3 人、平均人数 1.5 人となっている。拠点的な医療機関では、外来・入院で 1 件（5.0%）となっている。延べ人数は外来・入院で 2 人、平均人数 2.0 人となっている。

訪日外国人患者（医療目的）の未収金額の総額は、外来・入院で 1,214,346 円（平均 607,173 円）となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来・入院で 1,214,346 円（平均 607,173 円）となっている。拠点的な医療機関では、外来・入院で 1,146,300 円（平均 1,146,300 円）となっている。

図表Ⅱ-4-4 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）

	n	回答有		無回答（未収金が生じていない場合を含む）		延べ人数・金額			
		(%)	延べ人数 総数(人)	延べ人数 平均(人)	延べ人数 総数(人)	延べ人数 平均(人)	総額(円)	平均金額 (円)	
外来・入院	全体 (42)	4.8 (2)	3	1.50	95.2 (40)	1,214,346	607,173.00		
	救急医療機関 (34)	5.9 (2)	3	1.50	94.1 (32)	1,214,346	607,173.00		
	拠点的な医療機関 (20)	5.0 (1)	2	2.00	95.0 (19)	1,146,300	1,146,300.00		
	JMIPもしくはJH登録医療機関 (13)		-	-	100.0 (13)	-	-		
健診のみ	全体 (13)		-	-	100.0 (13)	-	-		
	救急医療機関 (10)		-	-	100.0 (10)	-	-		
	拠点的な医療機関 (4)		-	-	100.0 (4)	-	-		
	JMIPもしくはJH登録医療機関 (1)		-	-	100.0 (1)	-	-		

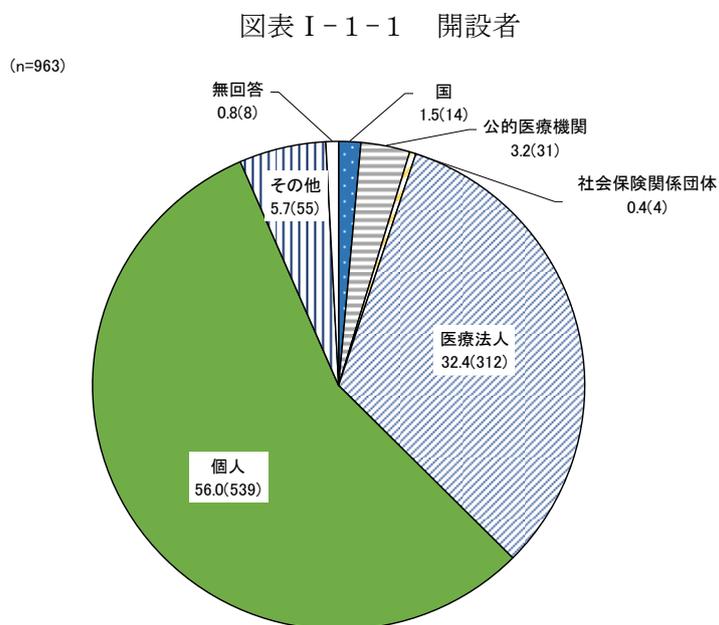
※表中の「延べ人数平均」「平均金額」は、機関数で割って算出している。

第3章 調査結果（診療所）

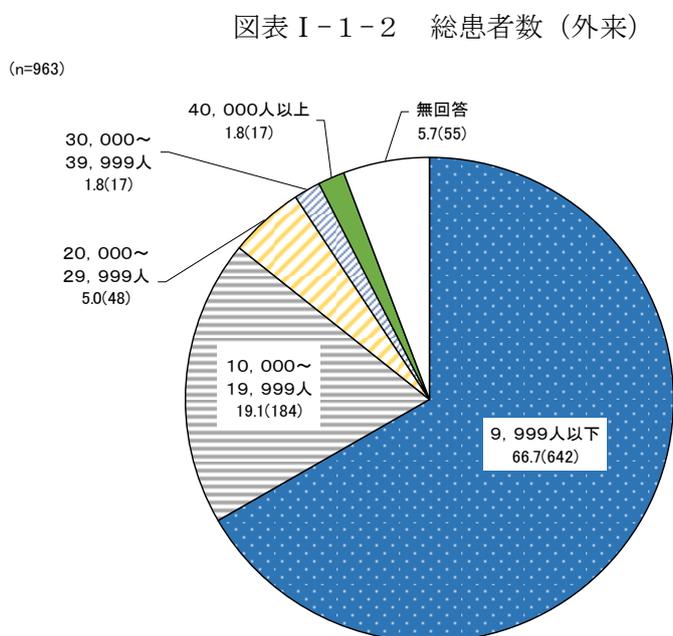
I. 調査票 A 結果

1. 回答した医療機関の基本情報

(1) 開設者 (SA)



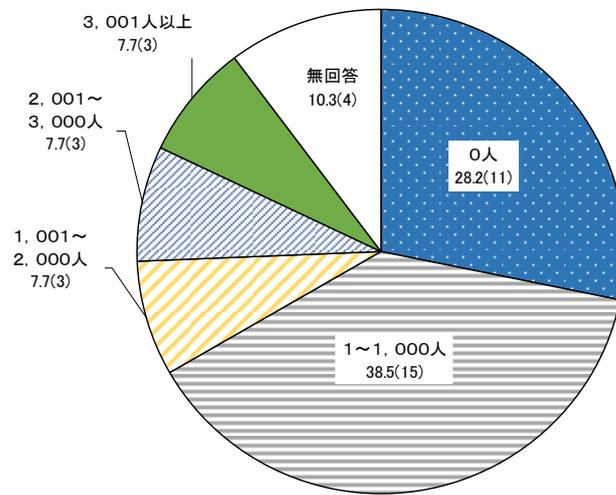
(2) 総患者数 (外来) (FA)



(3) 総患者数 (入院) (FA)

図表 I-1-3 総患者数 (入院)

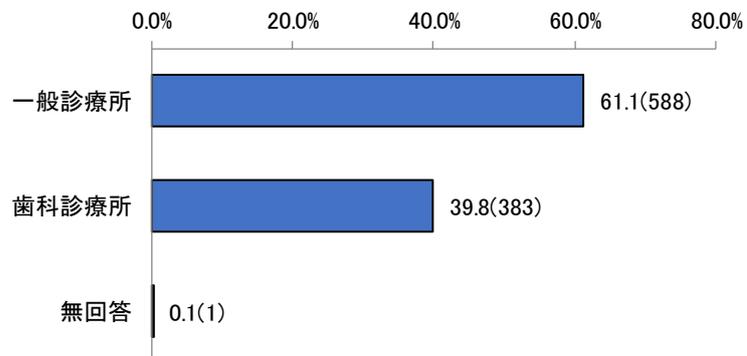
(n=39)



(4) 医療機関の種別 (MA)

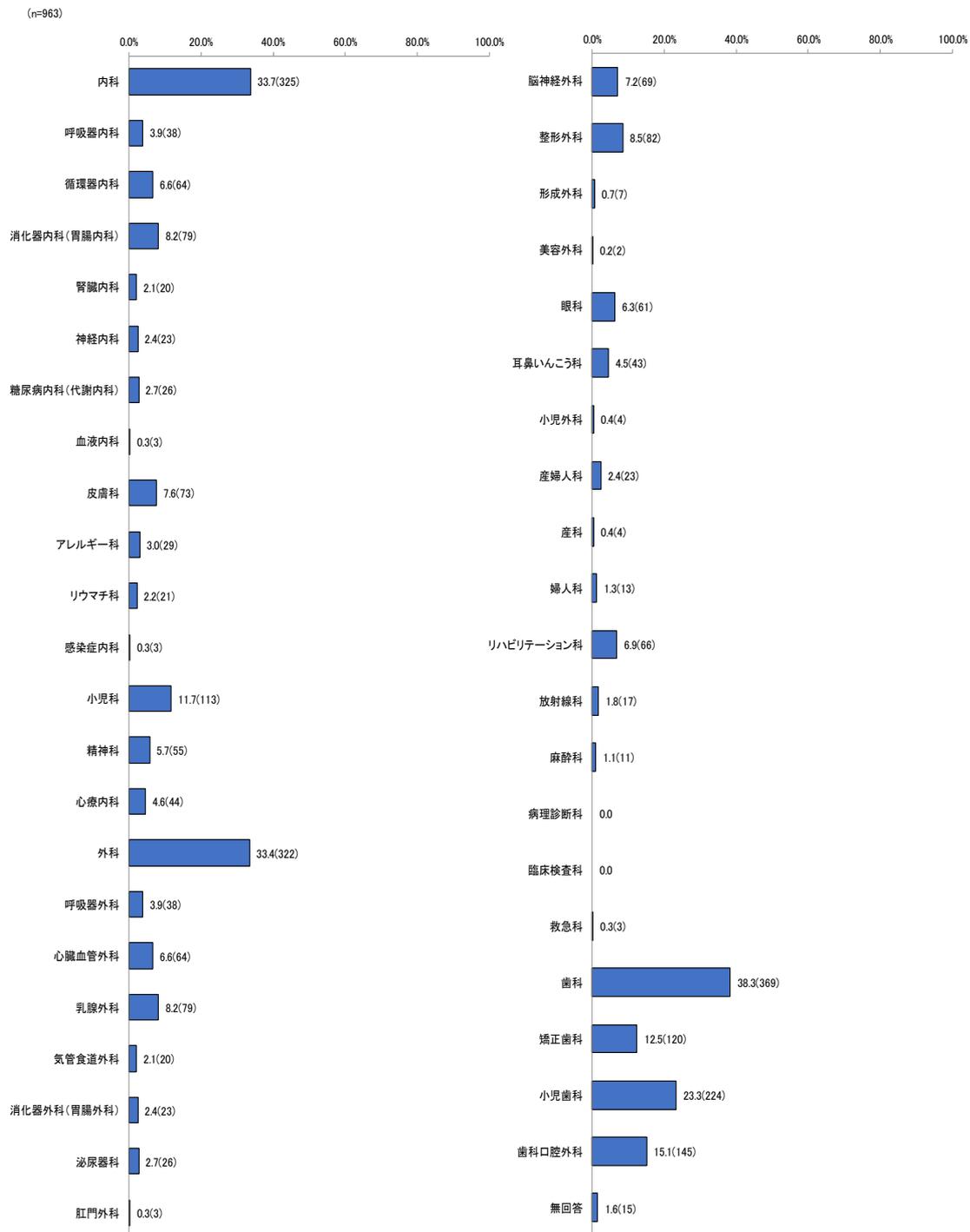
図表 I-1-4 医療機関の種別

(n=963)



(5) 診療科目 (MA)

図表 I-1-5 診療科目

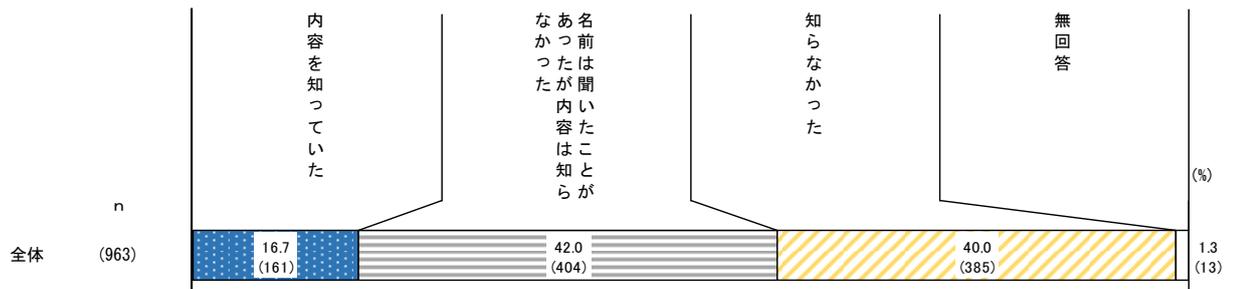


2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)

外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアルについてその認知度を聞いたところ、「内容を知っていた」が16.7%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が42.0%、「知らなかった」が40.0%、「無回答」が1.3%となっている。

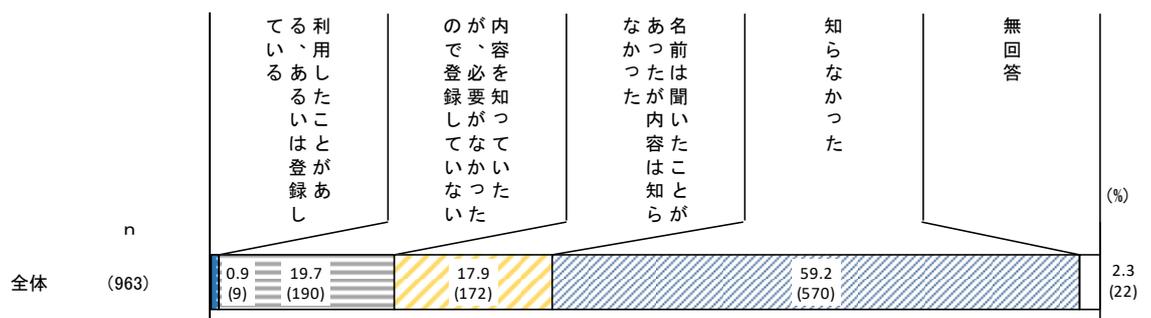
図表 I-2-1 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度



(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)

希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業についてその利用・登録状況を聞いたところ、「利用したことがある、あるいは登録している」が0.9%、「内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない」が19.7%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が17.9%、「知らなかった」が59.2%、「無回答」が2.3%となっている。

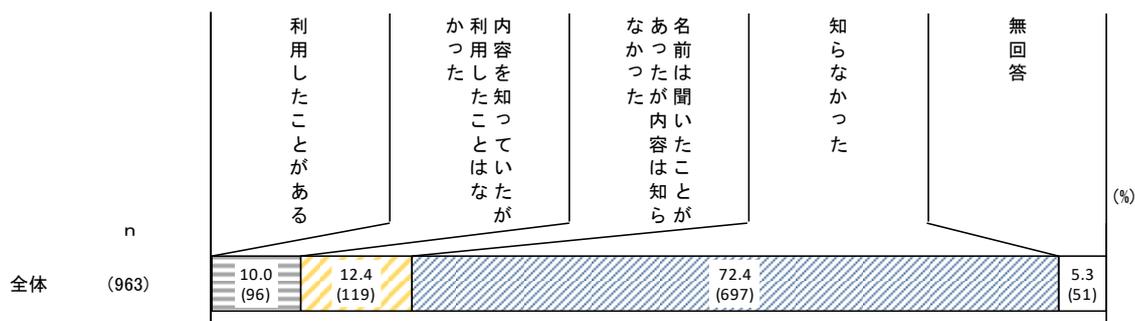
図表 I-2-2 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況



(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)

医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.0%、「内容を知っていたが利用したことはない」が 10.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 12.4%、「知らなかった」が 72.4%、「無回答」が 5.3%となっている。

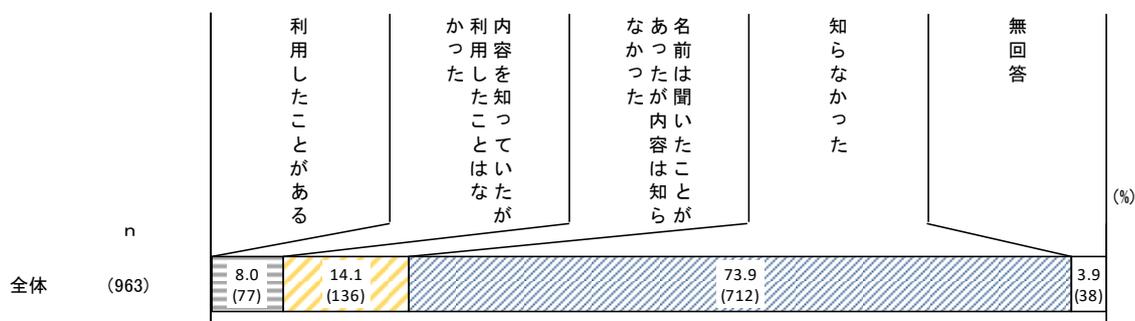
図表 I-2-3 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況



(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.0%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 8.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 14.1%、「知らなかった」が 73.9%、「無回答」が 3.9%となっている。

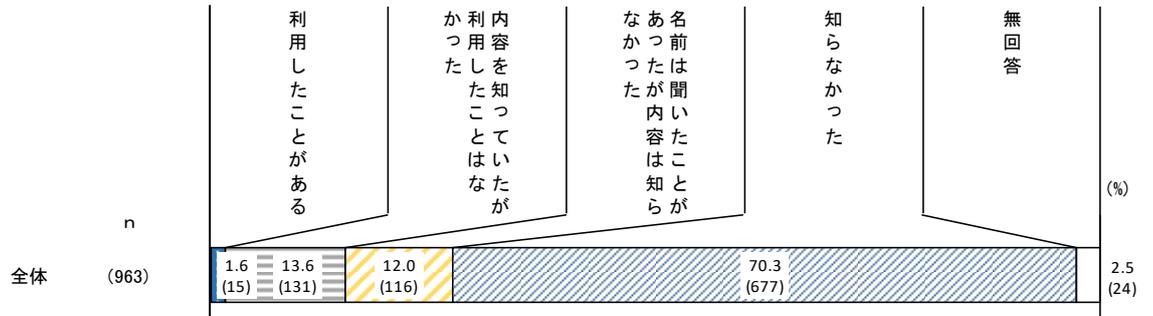
図表 I-2-4 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況



(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)

外国人向け多言語説明資料一覧についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 1.6%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 13.6%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 12.0%、「知らなかった」が 70.3%、「無回答」が 2.5%となっている。

図表 I-2-5 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況



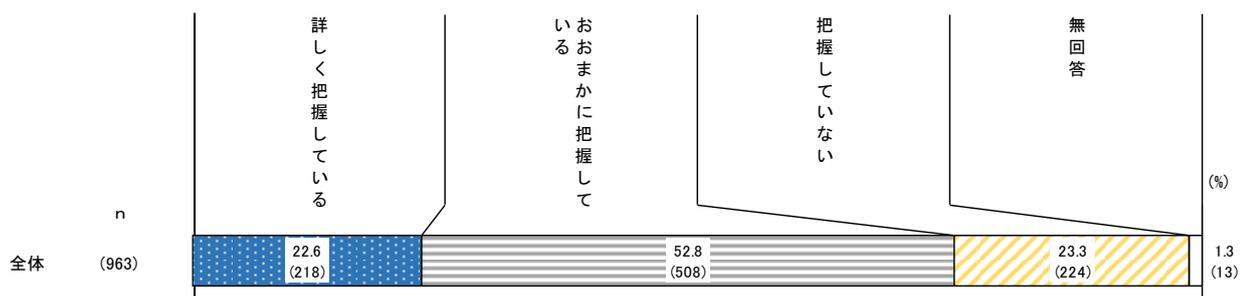
3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 外国人患者の受入れに関する体制

(1) - 1 自院における外国人患者の受診状況（患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等）(SA)

自院における外国人患者の受診状況を把握しているか聞いたところ、「詳しく把握している」が22.6%、「おおまかに把握している」が52.8%、「把握していない」が23.3%、「無回答」が1.3%となっている。

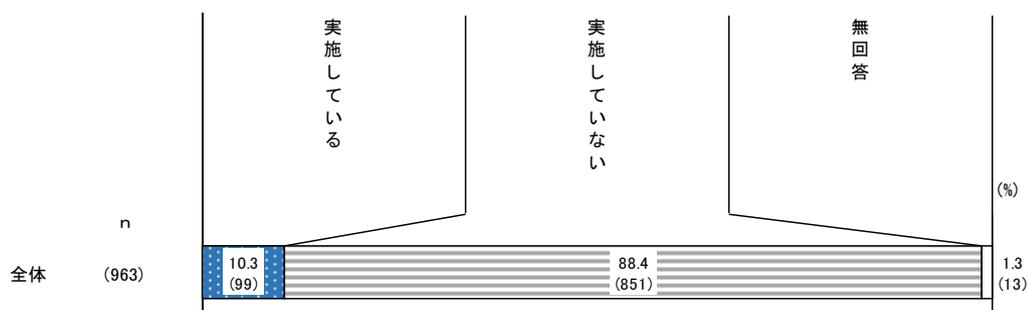
図表 I-3-1-1 自院における外国人患者の受診状況



(1) - 2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出 (SA)

外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出について聞いたところ、「実施している」が10.3%、「実施していない」が88.4%、「無回答」が1.3%となっている。

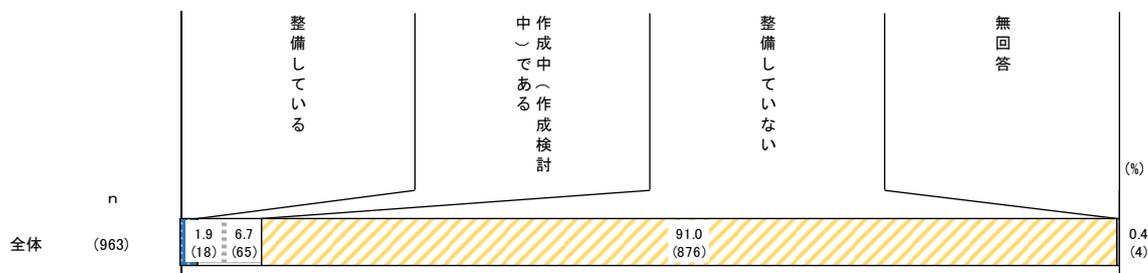
図表 I-3-1-2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出



(1) - 3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について (SA)

自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について聞いたところ、「整備している」が1.9%、「作成中（作成検討中）である」が6.7%、「整備していない」が91.0%、「無回答」が0.4%となっている。

図表 I-3-1-3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」

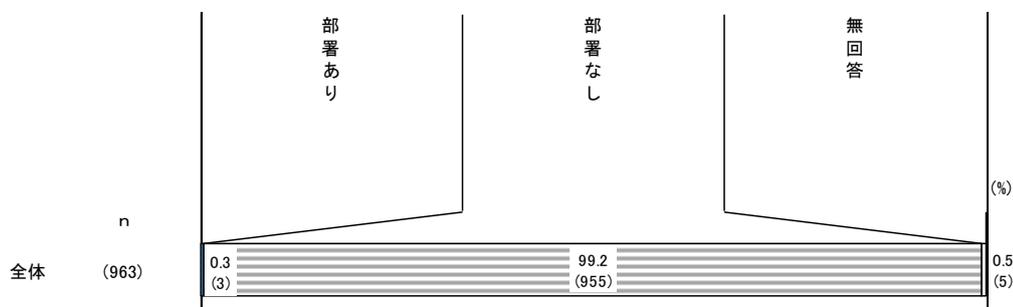


3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況

(2) - 1 外国人患者対応の専門部署の有無 (SA)

外国人患者対応専門部署の有無について聞いたところ、「部署あり」が0.3%、「部署なし」が99.2%、「無回答」が0.5%となっている。

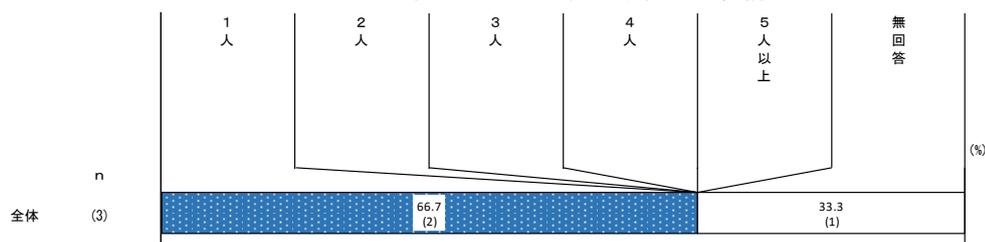
図表 I-3-2-1 外国人患者対応専門部署の有無



(2) - 2 外国人担当の専門部署の職員数 (SA)

外国人患者対応専門部署があると回答した医療機関に対して、外国人担当の専門部署の職員数について聞いたところ、「1人」が66.7%、「無回答」が33.3%となっている。

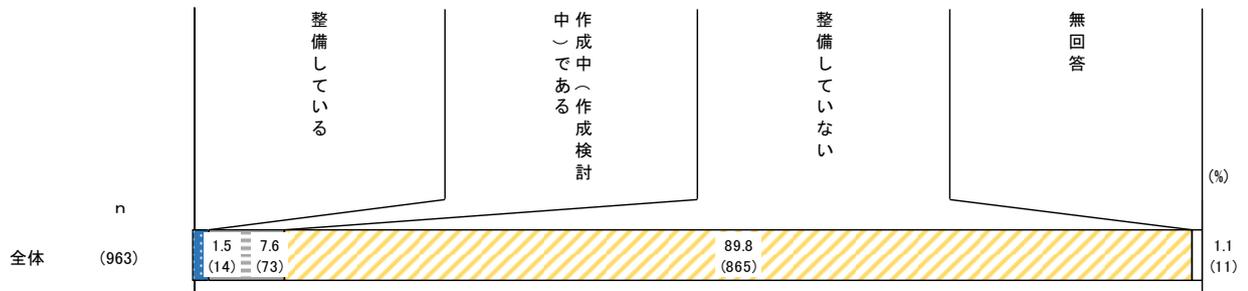
図表 I-3-2-2 外国人担当の専門部署の職員数



(2) - 3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)

外国人対応のマニュアル整備状況について聞いたところ、「整備している」が1.5%、「作成中（作成検
中）である」が7.6%、「整備していない」が89.8%、「無回答」が1.1%となっている。

図表 I-3-2-3 外国人対応のマニュアル整備状況

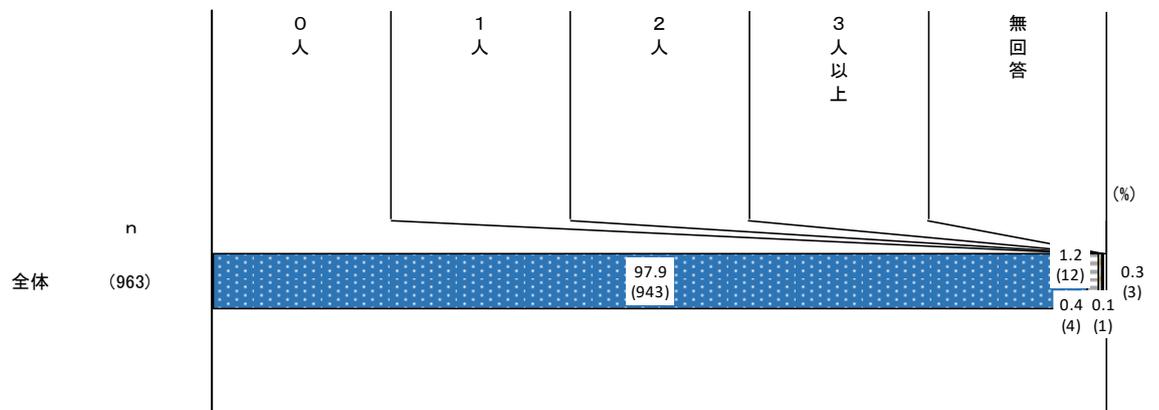


3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター

(3) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数について聞いたところ、「0人」が97.9%で最も高く、次いで「1人」が1.2%、「2人」が0.4%と続いている。

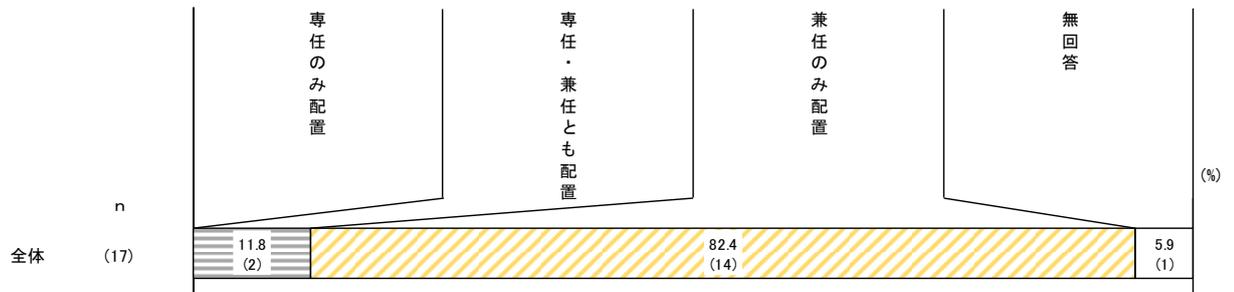
図表 I-3-3-1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数



(3) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が82.4%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が11.8%と続いている。

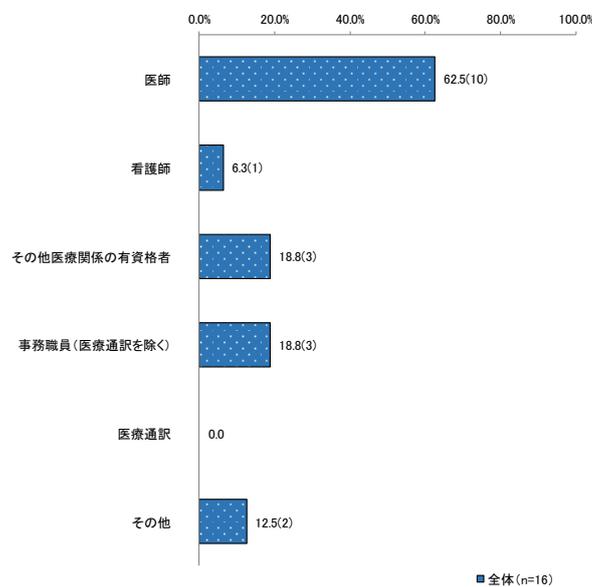
図表 I-3-3-2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別



(3) - 3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)

兼任の外国人患者受入れ医療コーディネーターを配置していると回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職について聞いたところ、「医師」が62.5%で最も高く、次いで「事務職員」が18.8%と続いている。

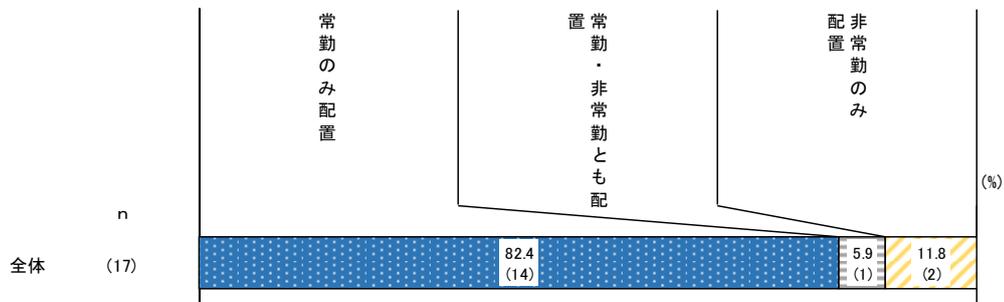
図表 I-3-3-3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職



(3) - 4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が82.4%で最も高く、次いで「非常勤のみ配置」が11.8%と続いている。

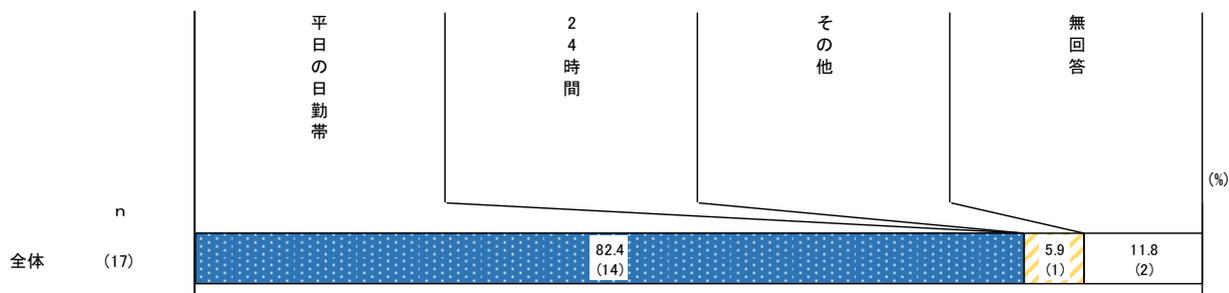
図表 I-3-3-4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別



(3) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が82.4%で最も高く、次いで「無回答」が11.8%となっている。

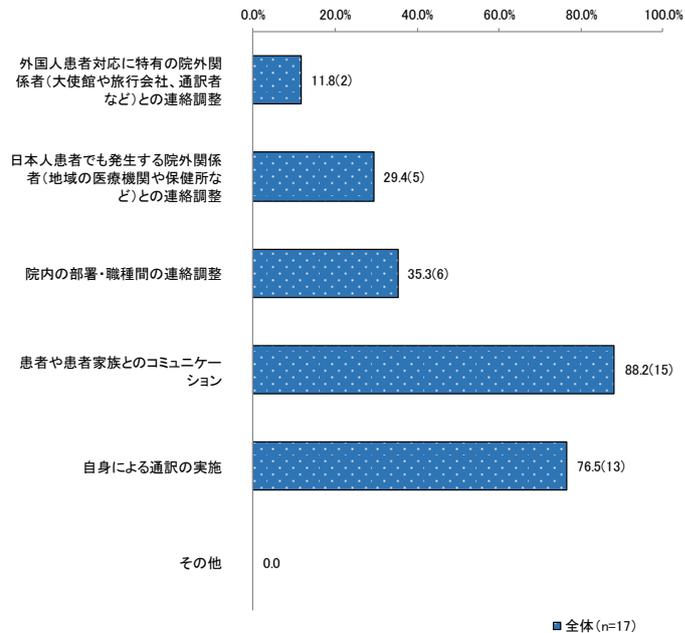
図表 I-3-3-5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時



(3) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割について聞いたところ、「患者や患者家族とのコミュニケーション」が88.2%で最も高く、次いで「自身による通訳の実施」が76.5%と続いている。

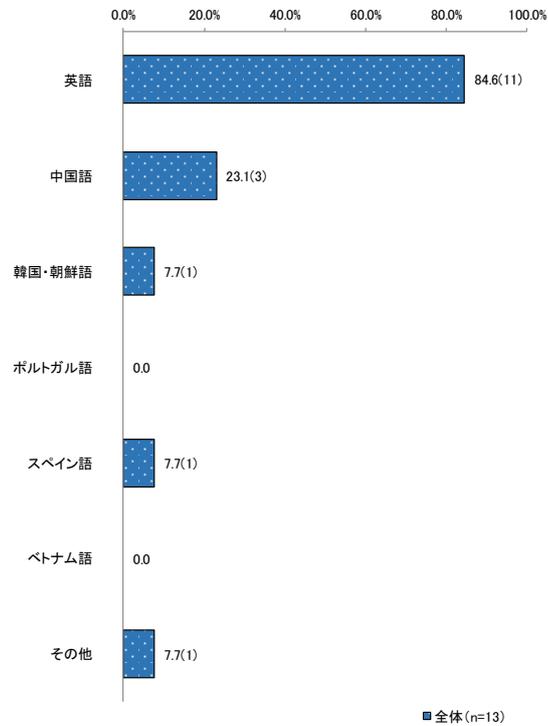
図表 I-3-3-6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割



(3) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割で『多言語対応』と回答した医療機関にコーディネーターの対応言語について聞いたところ、「英語」が84.6%で最も高く、次いで「中国語」が23.1%と続いている。

図表 I-3-3-7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語

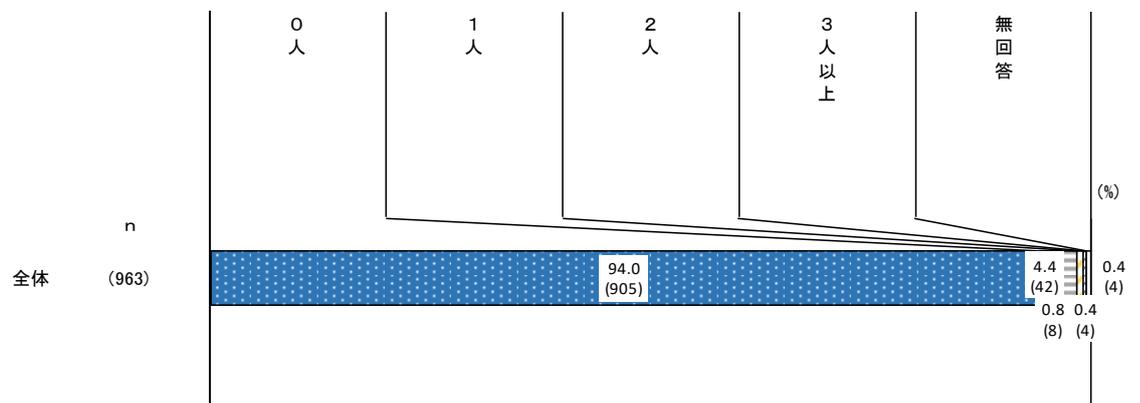


3-4. 医療通訳

(4) - 1 医療通訳の人数 (FA)

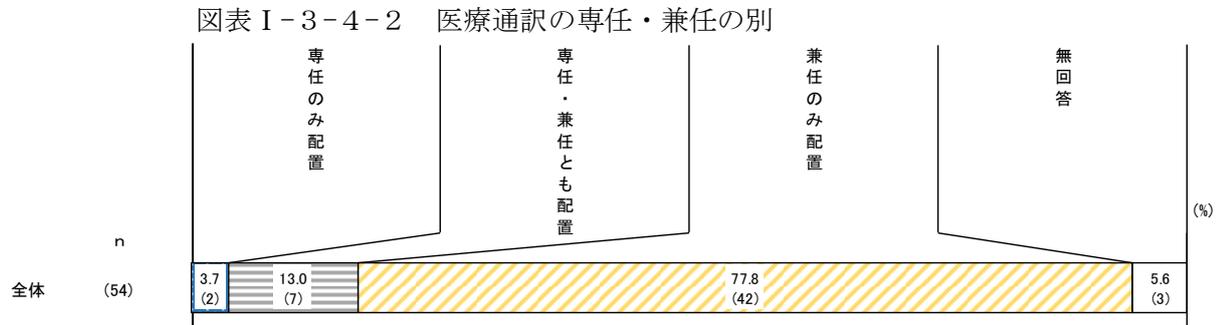
医療通訳の人数について聞いたところ、「0人」が94.0%で最も高く、次いで「1人」が4.4%と続いている。

図表 I-3-4-1 医療通訳の人数



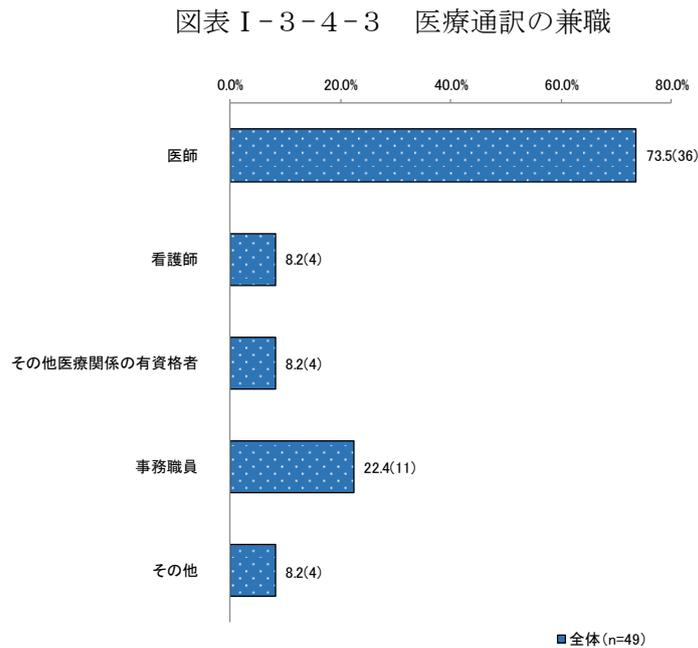
(4) - 2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が77.8%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が13.0%と続いている。



(4) - 3 医療通訳の兼職 (MA)

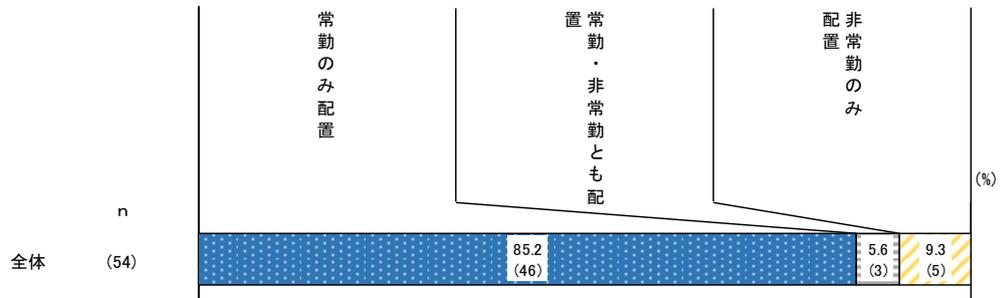
兼任の医療通訳を配置していると回答した医療機関に対して、医療通訳の兼職について聞いたところ、「医師」が73.5%で最も高く、次いで「事務職員」が22.4%と続いている。



(4) - 4 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が85.2%で最も高く、次いで「非常勤のみ配置」が9.3%と続いている。

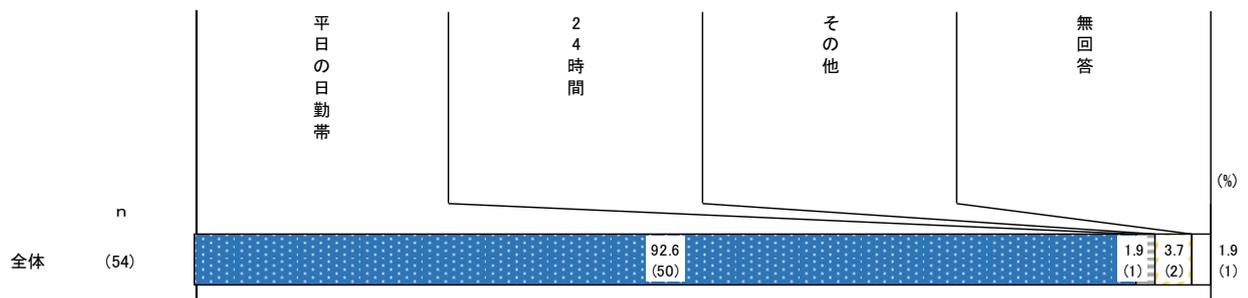
図表 I-3-4-4 医療通訳の常勤・非常勤の別



(4) - 5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳がカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が92.6%で最も高く、次いで「その他」が3.7%と続いている。

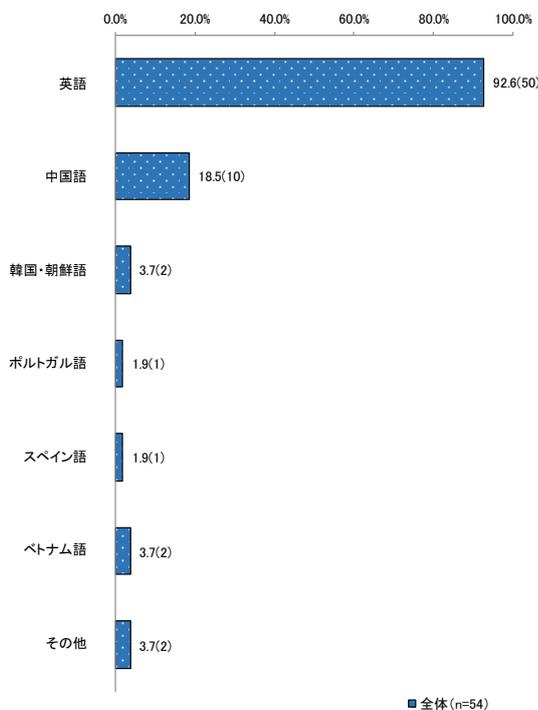
図表 I-3-4-5 医療通訳がカバーしている日時



(4) - 6 医療通訳の対応言語 (MA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が92.6%で最も高く、次いで「中国語」が18.5%と続いている。

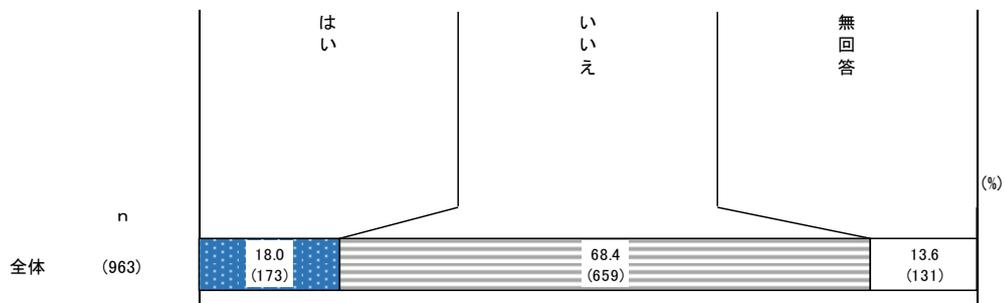
図表 I-3-4-6 医療通訳の対応言語



(4) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)

患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に案内しているか（医療機関のホームページ等による案内も含む）について聞いたところ、「はい」が18.0%、「いいえ」が68.4%となっている。

図表 I-3-4-7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか

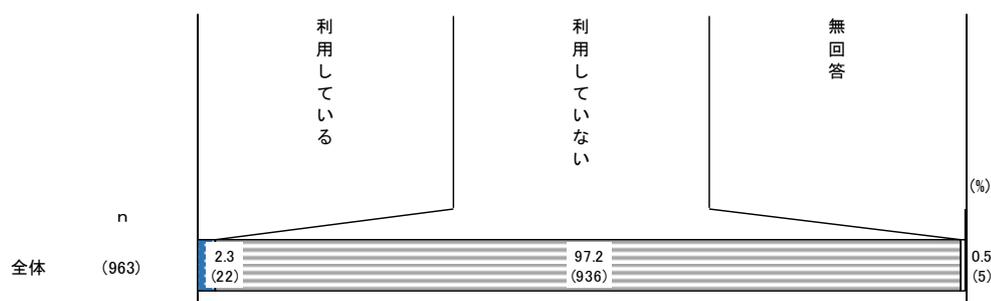


3-5. 電話通訳（遠隔通訳）

(5) - 1 電話通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

電話通訳（遠隔通訳）の利用状況について聞いたところ、「利用している」が2.3%、「利用していない」が97.2%となっている。

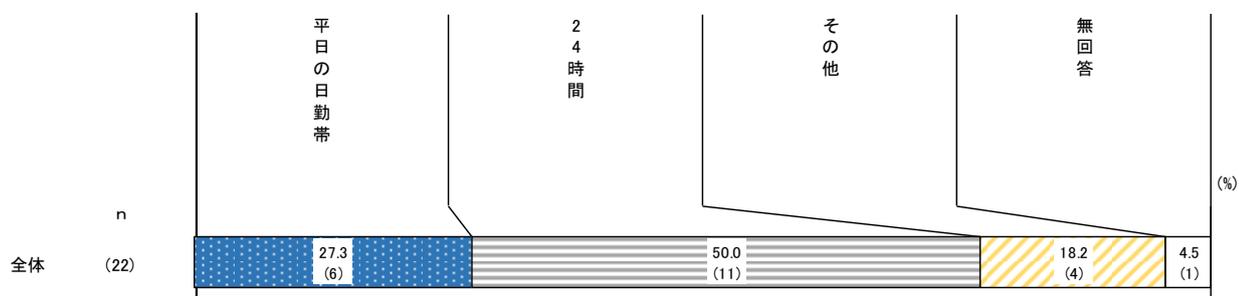
図表 I-3-5-1 電話通訳（遠隔通訳）の利用状況



(5) - 2 電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時（SA）

電話通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている範囲について聞いたところ、「24時間」が50.0%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が27.3%となっている。

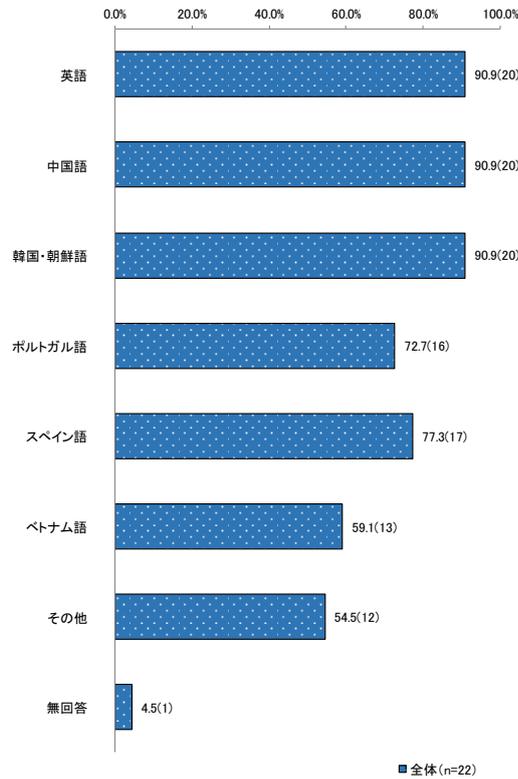
図表 I-3-5-2 電話通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時



(5) - 3 電話通訳（遠隔通訳）の対応言語（MA）

電話通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、電話通訳（遠隔通訳）の対応言語について聞いたところ、「英語」「中国語」と「韓国・朝鮮語」がそれぞれ90.9%で最も高く、次いで「スペイン語」が77.3%で続いている。

図表 I-3-5-3 電話通訳（遠隔通訳）の対応言語

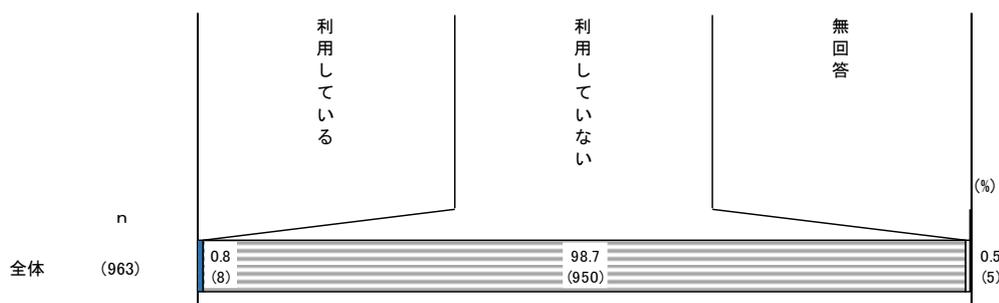


3-6. ビデオ通訳（遠隔通訳）

(6) - 1 ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況 (SA)

ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況の配置状況について聞いたところ、「利用している」が0.8%、「利用していない」が98.7%となっている。

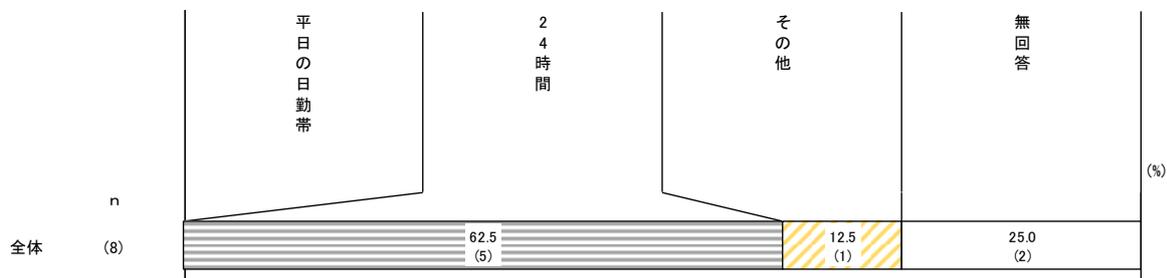
図表 I-3-6-1 ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況



(6) - 2 ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時 (SA)

ビデオ通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時について聞いたところ、「24時間」が62.5%で最も高く、次いで「無回答」が25.0%となっている。

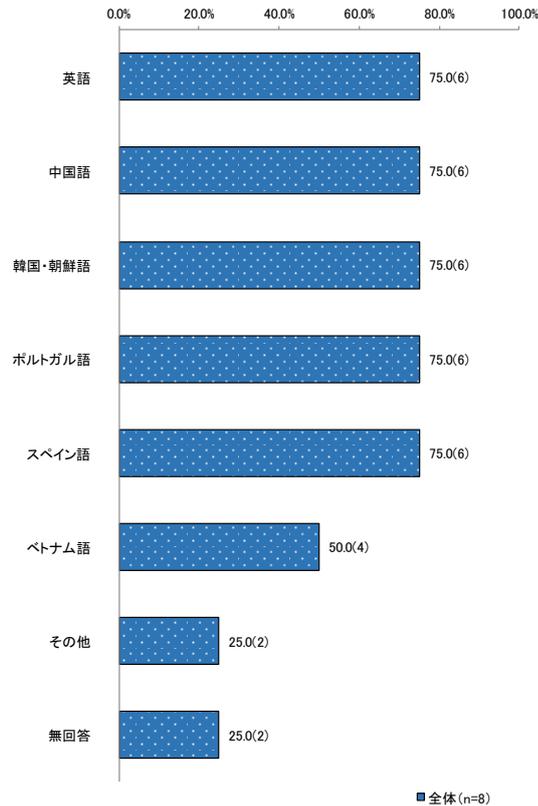
図表 I-3-6-2 ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている日時



(6) - 3 ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語（MA）

ビデオ通訳（遠隔通訳）を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語について聞いたところ、「英語」「中国語」「韓国・朝鮮語」「ポルトガル語」と「スペイン語」がそれぞれ75.0%で最も高く、次いで「ベトナム語」が50.0%で続いている。

図表 I-3-6-3 ビデオ通訳（遠隔通訳）の対応言語

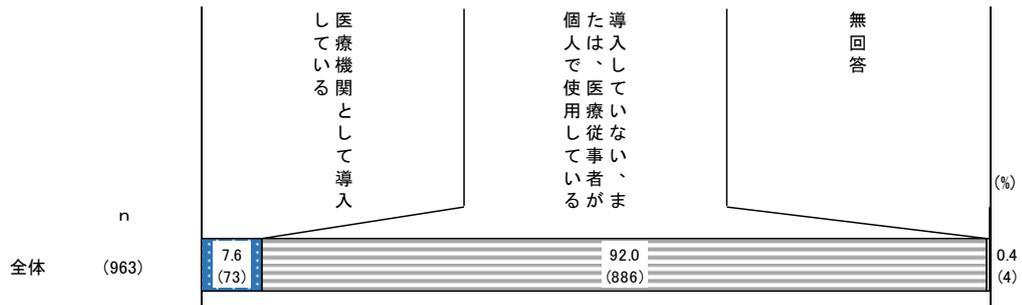


3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況

(7) - 1 タブレット端末等の利用状況 (SA)

タブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について聞いたところ、「医療機関として導入している」が 7.6%、「導入していない、または、医療従事者が個人で使用している」が 92.0%となっている。

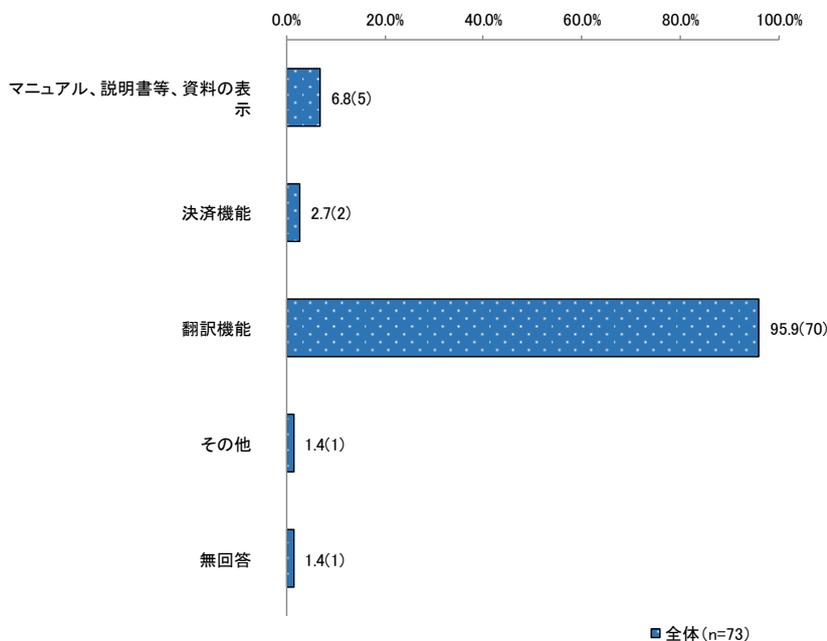
図表 I-3-7-1 タブレット端末等の利用状況



(7) - 2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)

タブレット端末等を導入している医療機関に対して、端末等に備わっている機能について聞いたところ、「翻訳機能」が 95.9%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 6.8%と続いている。

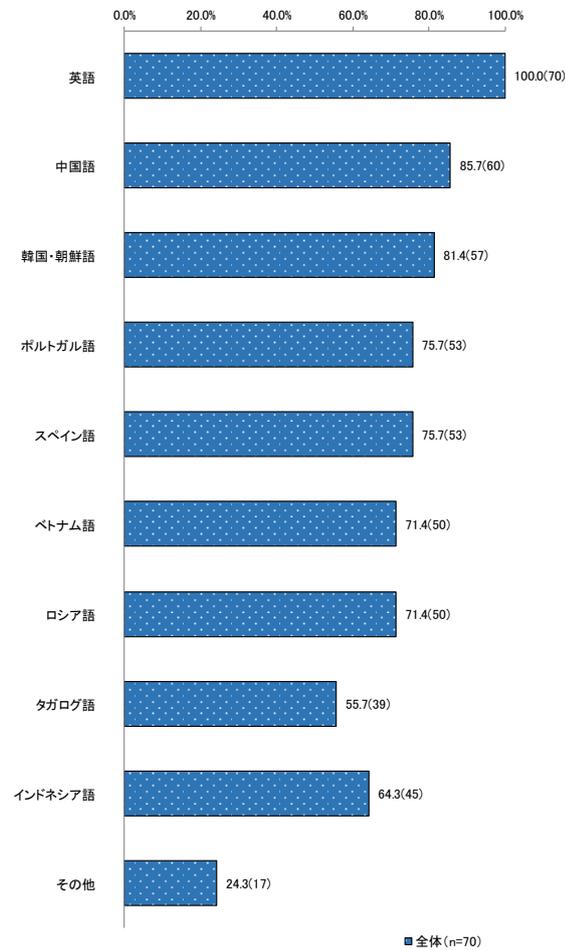
図表 I-3-7-2 タブレット端末等に備わっている機能



(7) - 3 翻訳機能の対応言語 (MA)

翻訳機能を備えているタブレット端末等を導入している医療機関に対して、翻訳機能の対応言語について聞いたところ、「英語」が 100.0%で最も高く、次いで「中国語」が 85.7%と続いている。

図表 I-3-7-3 翻訳機能の対応言語

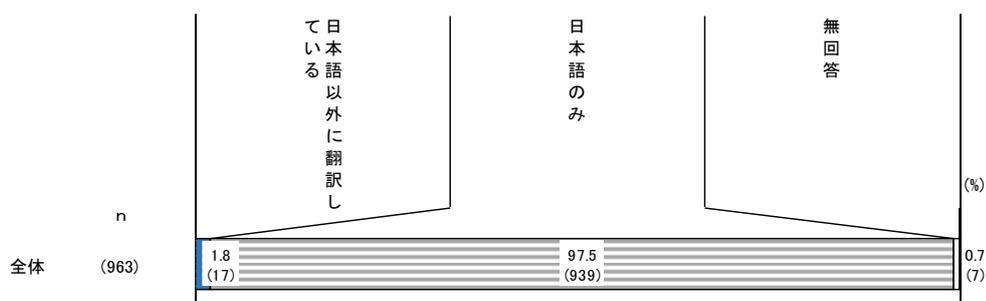


3-8. 院内案内図、院内表示

(8) - 1 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)

院内案内図、院内表示の多言語化状況について聞いたところ、「日本語以外に翻訳している」が 1.8%、「日本語のみ」が 97.5%となっている。

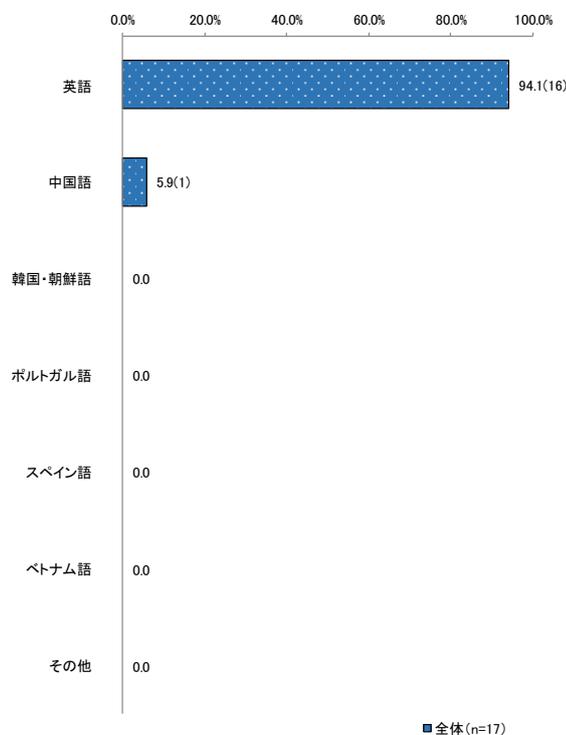
図表 I-3-8-1 院内案内図、院内表示の多言語化状況



(8) - 2 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)

院内案内図、院内表示を日本語以外に翻訳していると回答した医療機関に対して、院内案内図、院内表示の対応言語について聞いたところ、「英語」が 94.1%で最も高く、次いで「中国語」5.9%となっている。

図表 I-3-8-2 院内案内図、院内表示の対応言語



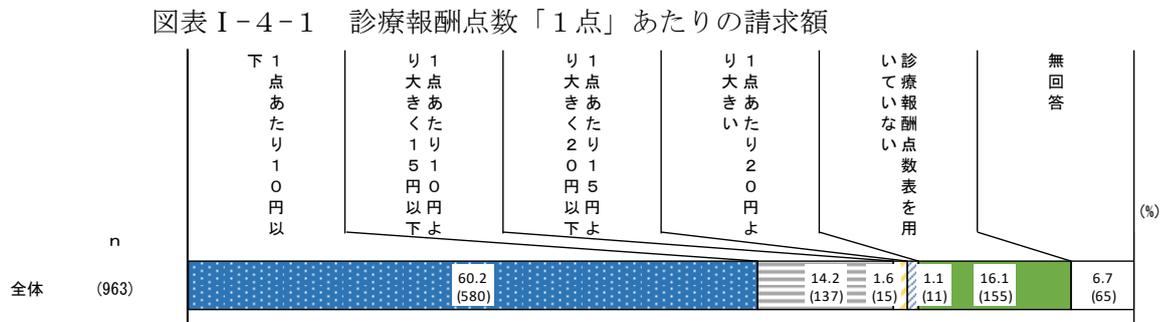
3-9. 多言語に対応するためのその他の取組 (FA)

多言語に対応するためのその他の取組について聞いたところ、「問診票の多言語化」、「翻訳アプリの利用」、「ポケトークの購入」、「Google 翻訳の利用」、「英会話教室参加」等の回答が得られた。

4. 医療費（自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費）について

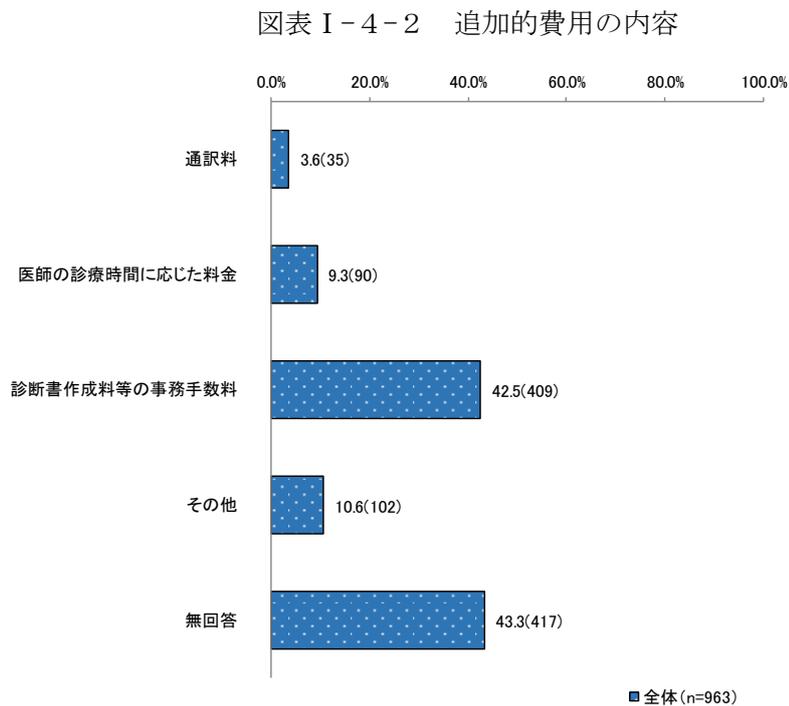
(1) 診療報酬点数「1点」あたりの請求額（SA）

診療報酬点数「1点」あたりの金額について聞いたところ、「10 円以下」が 60.2%で最も高く、次いで「診療報酬点数表を用いていない」が 16.1%と続いている。



(2) 診療報酬点数表に含まれてない追加的費用の内容（MA）

診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容について聞いたところ、「無回答」を除くと、「診断書作成等の事務手数料」が 42.5%で最も高かった。

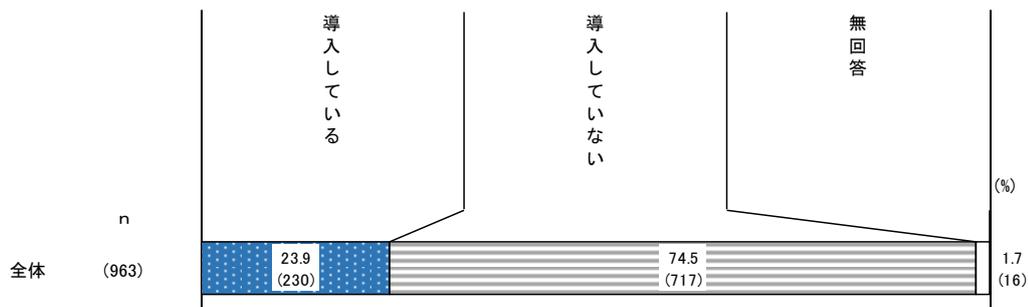


5. キャッシュレス決済について

(1) クレジットカード（デビットカードを含む）を利用した決済の導入状況（SA）

クレジットカードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 23.9%、「導入していない」が 74.5%となっている。

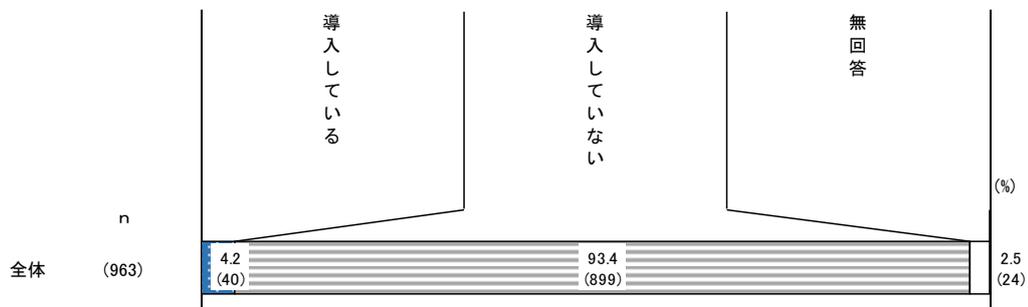
図表 I-5-1 クレジットカード（デビットカードを含む）を利用した決済の導入状況



(2) 非接触カードを利用した決済の導入状況（SA）

非接触カードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 4.2%、「導入していない」が 93.4%となっている。

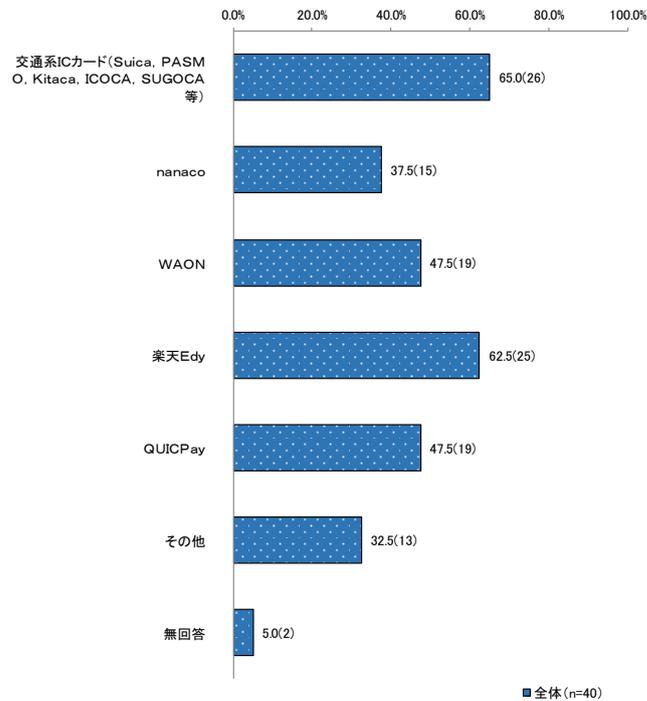
図表 I-5-2 非接触カードを利用した決済の導入状況



(3) 対応している非接触カード (MA)

非接触カードを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応しているサービスについて聞いたところ、「交通系 IC カード」が 65.0%で最も高く、次いで「楽天Edy」が 62.5%と続いている。

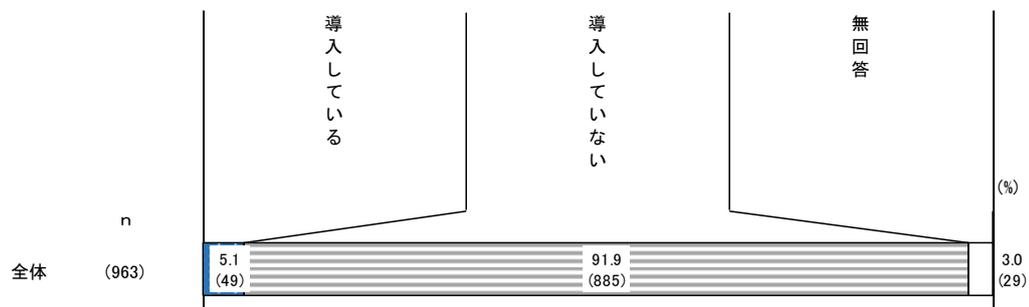
図表 I-5-3 対応している非接触カード



(4) QR コードを利用した決済の導入状況 (SA)

QR コードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 5.1%、「導入していない」が 91.9%となっている。

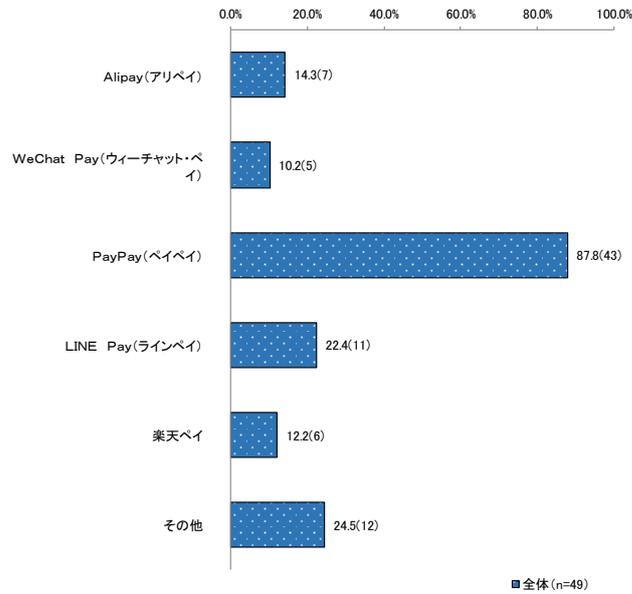
図表 I-5-4 QR コードを利用した決済の導入状況



(5) 対応している QR コードサービス (MA)

QR コードを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応している QR コードサービスについて聞いたところ、「PayPay(ペイペイ)」が 87.8%で最も高く、次いで「その他」が 24.5%、「LINE Pay (ラインペイ)」が 22.4%となっている。

図表 I-5-5 対応している QR コードサービス



(6) その他の決済サービスの利用状況 (FA)

その他の決済サービスの利用状況について聞いたところ、「Air ペイ」、「銀行振込」、等の回答が得られた。

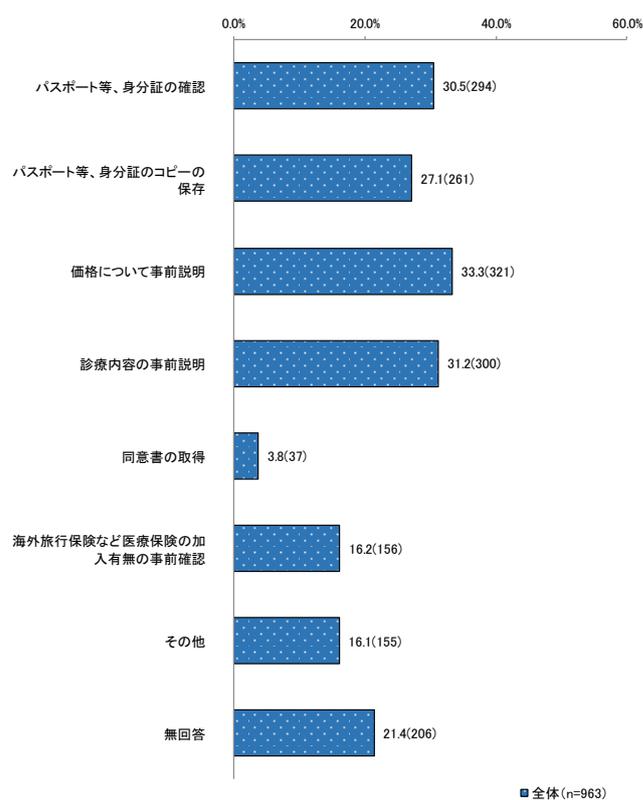
6. 未収金等への対策について

6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している、取り組み

(1) - 1 訪日外国人患者に対して実施している取組 (MA)

訪日外国人患者に対して実施している取組について聞いたところ「価格について事前説明」が 33.3%で最も高く、次いで「診療内容の事前説明」が 31.2%と続いている。

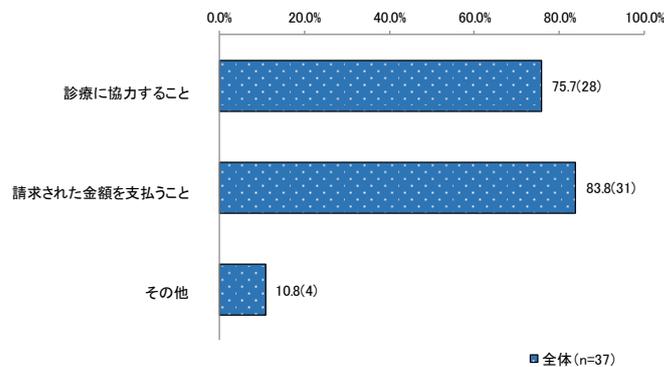
図表 I-6-1-1 訪日外国人患者に対して実施している取組



(1) - 2 同意書の同意内容 (MA)

訪日外国人患者に『同意書の取得』を実施している医療機関に対して、同意書の同意内容について聞いたところ、「請求された金額を支払うこと」が 83.8%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が 75.7%と続いている。

図表 I-6-1-2 同意書の同意内容

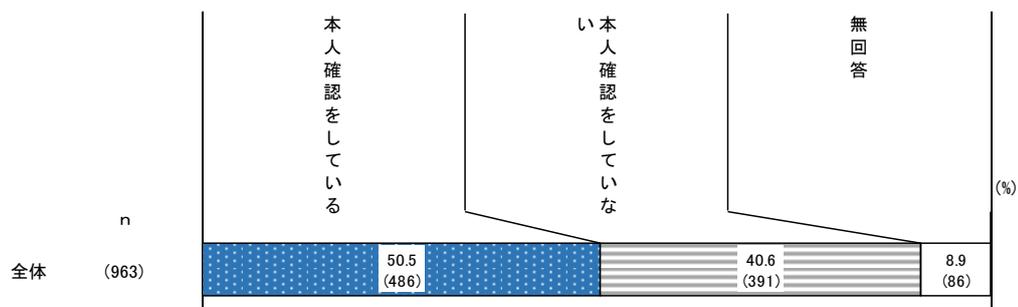


6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み

(2) - 1 在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)

在留外国人患者への本人確認実施の有無について聞いたところ、「本人確認をしている」が 50.5%、「本人確認をしていない」が 40.6%となっている。

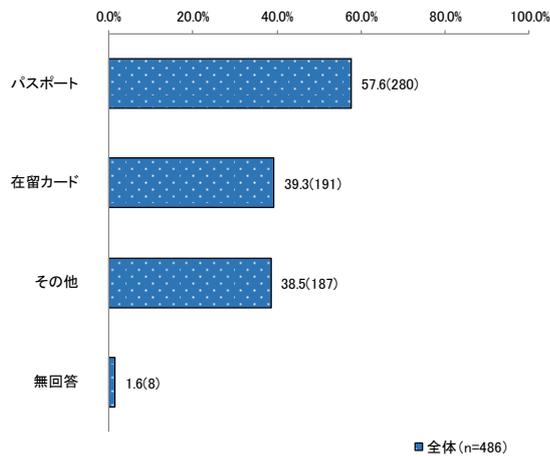
図表 I-6-2-1 在留外国人への本人確認実施の有無



(2) - 2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)

在留外国人患者への本人確認を実施していると回答した医療機関に対して、本人確認時に提示を求めているものについて聞いたところ、「パスポート」が 57.6%で最も高く、次いで「在留カード」が 39.3%と続いている。

図表 I-6-2-2 本人確認時に提示を求めているもの

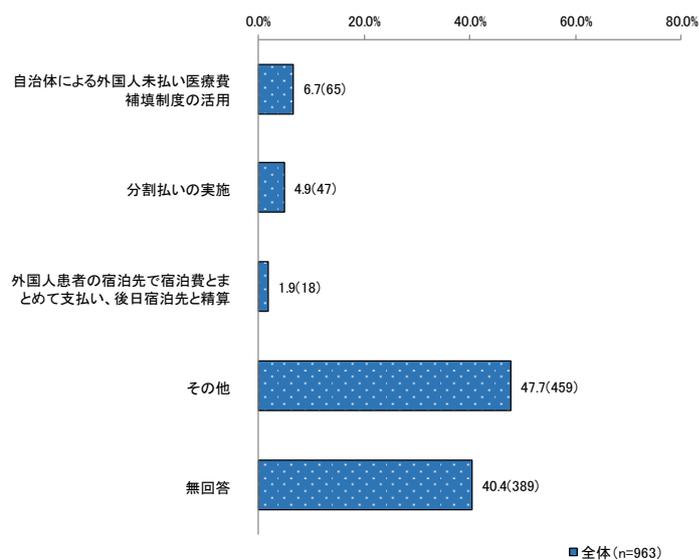


6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法

(3) - 1 医療費の回収方法 (MA)

外国人患者の医療費の回収方法について聞いたところ、「無回答」を除くと、自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用が6.7%で、個別の選択肢の中では最も高かった。

図表 I-6-3-1 医療費の回収方法



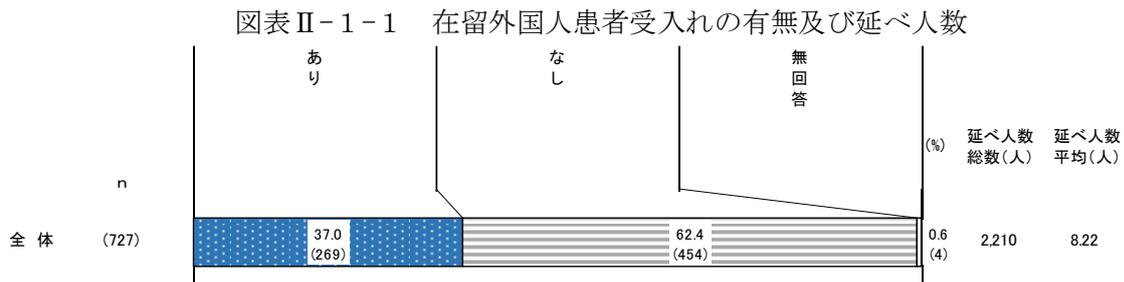
II. 調査票 B 結果

1. 在留外国人患者の受入れ実績について

(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (SA)

在留外国人患者受入れの有無について聞いたところ、「あり」が 37.0%、「なし」が 62.4%、「無回答」が 0.6%となっている。

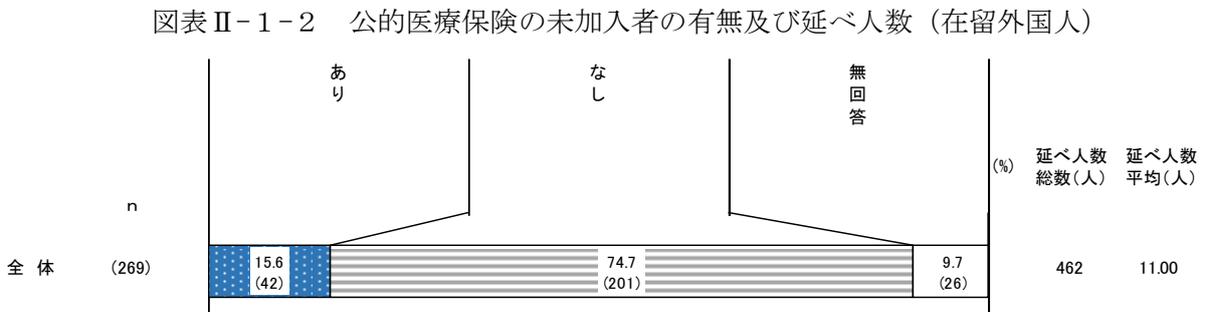
延べ人数はそれぞれ 2,210 人、平均人数は 8.22 人となっている。



(2) 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数 (在留外国人) (FA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の公的医療保険の未加入者の延べ人数について聞いたところ、1名以上の未加入者「あり」と回答した医療機関が 15.6%、未加入者「なし」と回答した医療機関が 74.7%、「無回答」が 9.7%となっている。

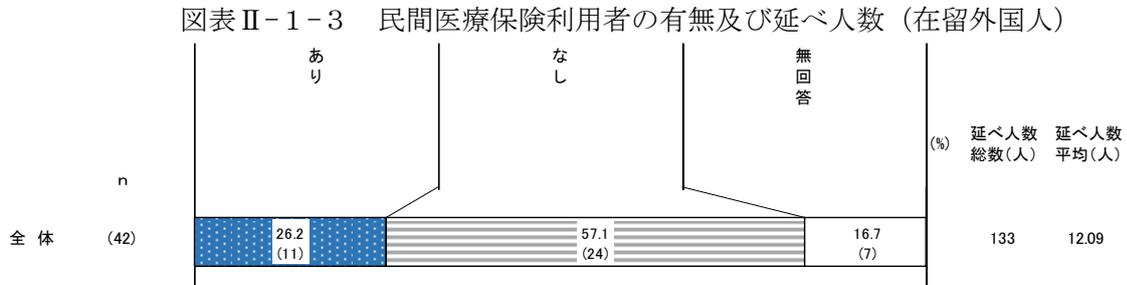
延べ人数はそれぞれ 462 人、平均人数は 11.00 人となっている。



(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数 (在留外国人) (SA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の民間医療保険利用者の延べ人数について聞いたところ、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が 26.2%、利用者「なし」と回答した医療機関が 57.1%、「無回答」が 16.7%となっている。

延べ人数はそれぞれ 133 人、平均人数は 12.09 人となっている。

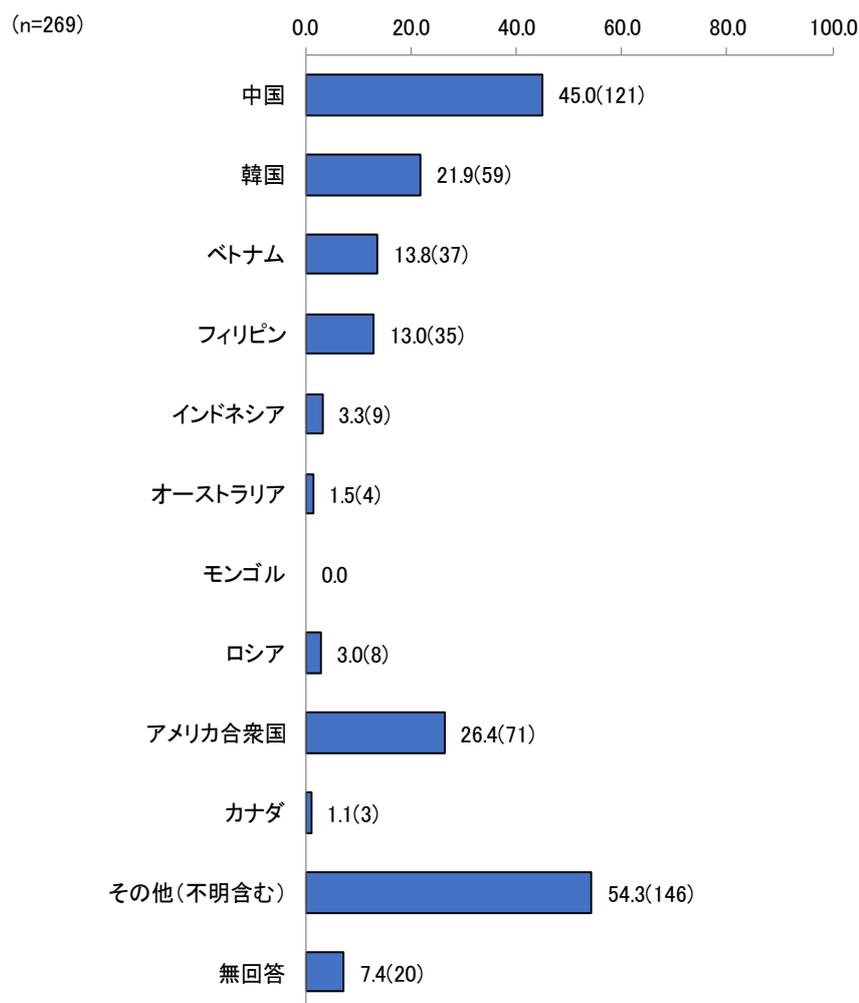


(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の45.0%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」籍が26.4%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-4 受入れた在留外国人患者の国籍



図表Ⅱ-1-4-1 受入れた在留外国人患者の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	オーストラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ合衆国	カナダ	その他(不明含む)
回答医療機関数(件)	121	59	37	35	9	4	-	8	71	3	146
総数(人)	492	142	130	70	27	6	-	14	348	7	635
平均(人)	4.07	2.41	3.51	2	3	1.5	-	1.75	4.9	2.33	4.35

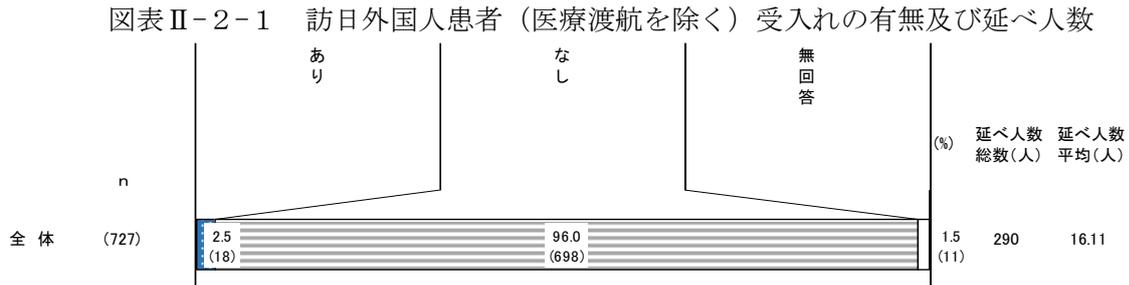
※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

2. 訪日外国人患者（医療渡航を除く）の受入れ実績について

(1) 訪日外国人患者（医療渡航を除く）の受入れの有無及び延べ人数（SA）

訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入れの有無について聞いたところ、「あり」が 2.5%、「なし」が 96.0%、「無回答」が 1.5%となっている。

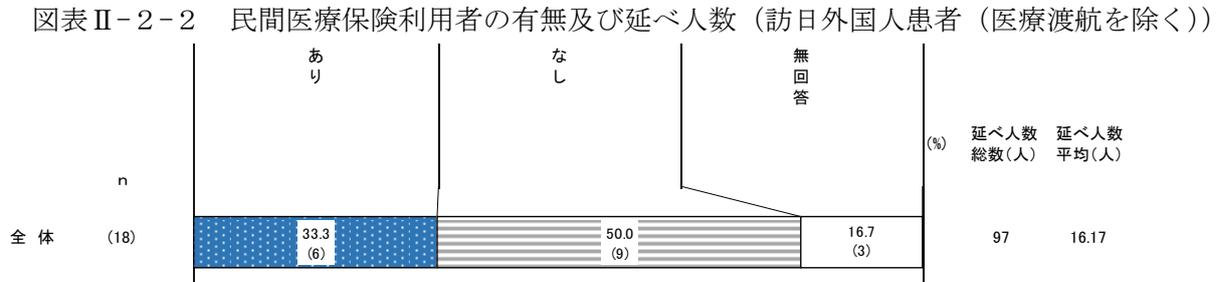
延べ人数は 290 人、平均人数は 16.11 人となっている。



(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（訪日外国人患者（医療渡航を除く））（SA）

訪日外国人患者（医療渡航を除く）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の民間医療保険利用者の延べ人数について聞いたところ、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が 33.3%、利用者「なし」と回答した医療機関が 50.0%、「無回答」の医療機関が 16.7%となっている。

延べ人数は 97 人、平均人数は 16.17 人となっている。

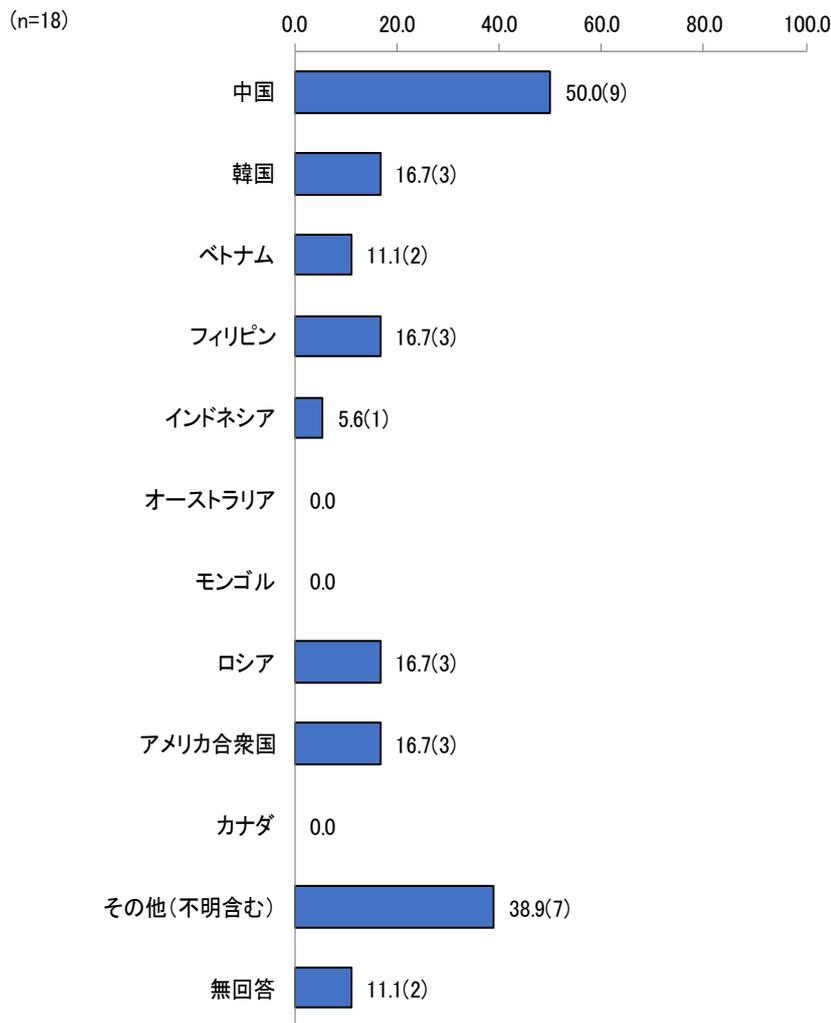


(3) 受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍別の延べ人数（MA）

訪日外国人患者（医療渡航を除く）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の50.0%で最も高く、次いで「韓国」籍と「フィリピン」籍、「ロシア」籍、「アメリカ合衆国」籍がいずれも16.7%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者（医療渡航を除く）の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-2-3 受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍



図表Ⅱ-2-3-1 受入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍別人数

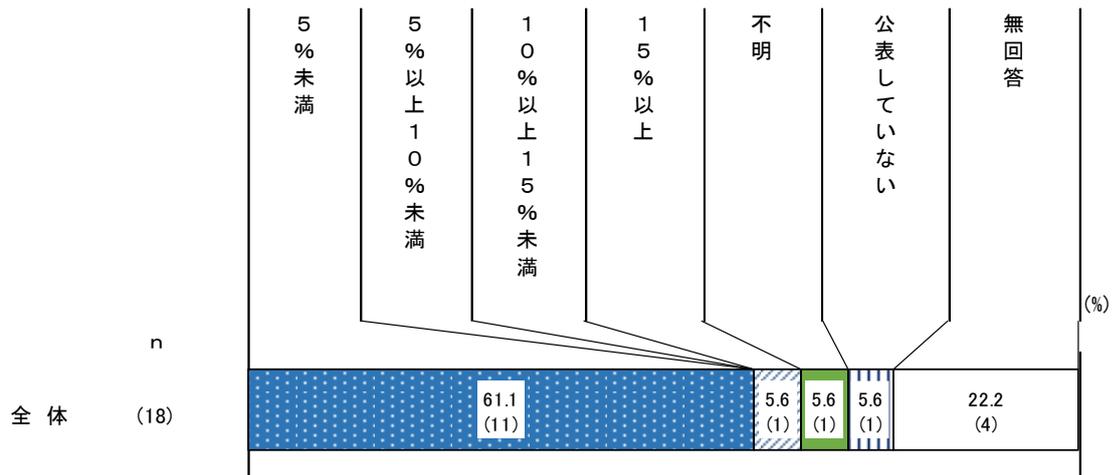
	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	オーストラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ合衆国	カナダ	その他(不明含む)
回答医療機関数(件)	9	3	2	3	1	-	-	3	3	-	7
総数(人)	109	5	9	17	2	-	-	4	24	-	38
平均(人)	12.11	1.67	4.5	5.67	2	-	-	1.33	8	-	5.43

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

(4) 訪日外国人患者（医療渡航を除く）への自由診療による収益の割合

訪日外国人患者（医療渡航を除く）を受入れたと回答した医療機関に対して、期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者（医療渡航を除く）への自由診療による収益の割合について聞いたところ、「5%未満」が61.1%で最も高く、次いで「15%以上」「不明」「公表していない」が5.6%と続いている。

図表Ⅱ-2-4 訪日外国人患者（医療渡航を除く）への自由診療による収益の割合

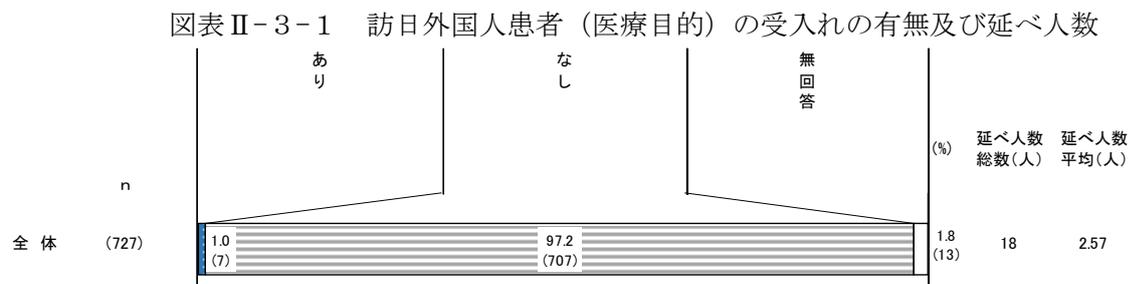


3. 訪日外国人患者（医療目的）の受入れ実績について

(1) 訪日外国人患者（医療目的）の受入れの有無及び延べ人数（SA）

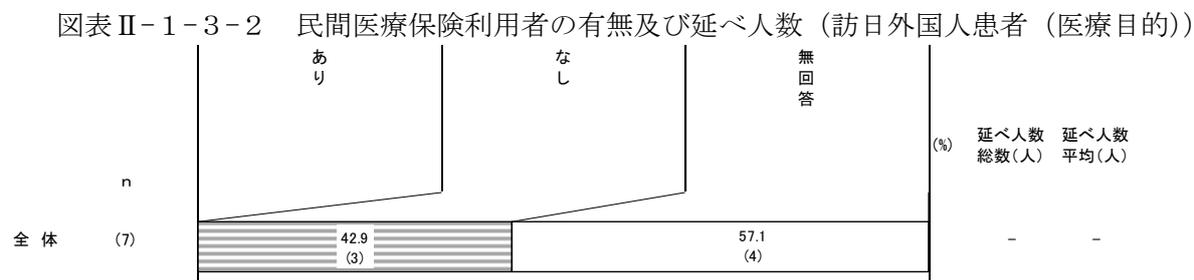
訪日外国人患者（医療目的）受入れの有無について聞いたところ、「あり」が1.0%、「なし」が97.2%、「無回答」が1.8%となっている。

延べ人数は18人、平均人数は2.57人となっている。



(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数（訪日外国人患者（医療目的））（SA）

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療目的）の民間医療保険利用の延べ利用者について聞いたところ、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関は0.0%、利用者「なし」と回答した医療機関は42.9%となっている。

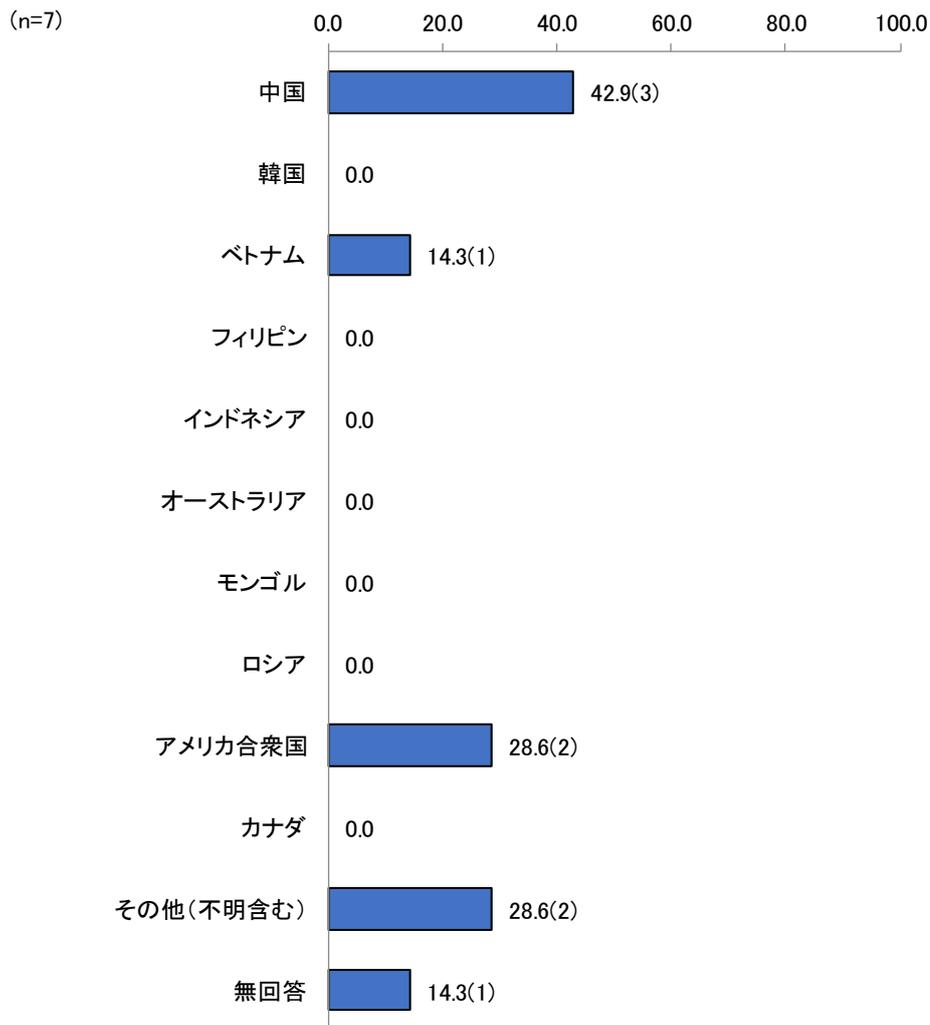


(3) 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍別の延べ人数（MA）

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の42.9%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」籍が28.6%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-3-3 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍



図表Ⅱ-3-3-1 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	オーストラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ合衆国	カナダ	その他(不明含む)
回答医療機関数(件)	3	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2
総数(人)	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2
平均(人)	2	-	1	-	-	-	-	-	1.5	-	1

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

(4) 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類（FA）

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類の総数及び平均については、下表の通りとなっている。

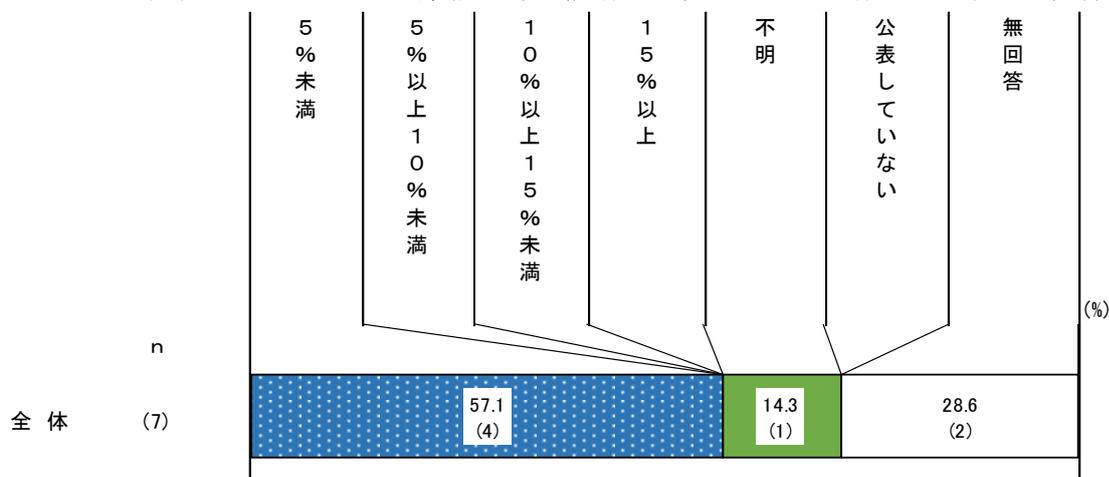
図表Ⅱ-3-4 受入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類

	回答医療機関数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
悪性新生物（C00-C97）	-	-	-
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50-D89）	-	-	-
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患（H00-H95）	-	-	-
循環器系疾患（I00-I99）	1	1.00	1.00
呼吸器系疾患（J00-J99）	-	-	-
歯科疾患を除く消化器系疾患（K00-K94）	-	-	-
歯科疾患（管理等含む）	2	2.00	1.00
筋骨格系及び結合組織疾患（M00-M94）	-	-	-
腎尿路生殖器系疾患（N00-N99）	1	1.00	1.00
妊娠、分娩及び産褥（000-099）	-	-	-
損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00-T98）	-	-	-
その他	1	1.00	1.00

(5) 訪日外国人患者（医療目的）への自由診療による収益の割合

訪日外国人患者（医療目的）を受入れたと回答した医療機関に対して、期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者（医療目的）への自由診療による収益の割合について聞いたところ、「5%未満」が 57.1%で最も高く、次いで「不明」が 14.3%と続いている

図表Ⅱ-3-5 訪日外国人患者（医療目的）への自由診療による収益の割合



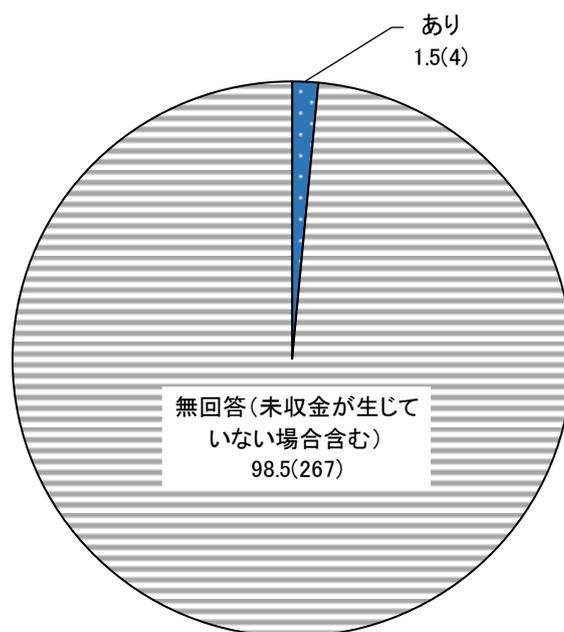
4. 未収金を生じた患者について

(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)

いずれかの外国人患者を受入れた医療機関に未収金を生じた患者の有無について聞いたところ、「いた」が1.5%、「無回答 (いないを含む)」が98.5%となっている。

図表Ⅱ-4-1 未収金を生じた患者の有無

(n=271)

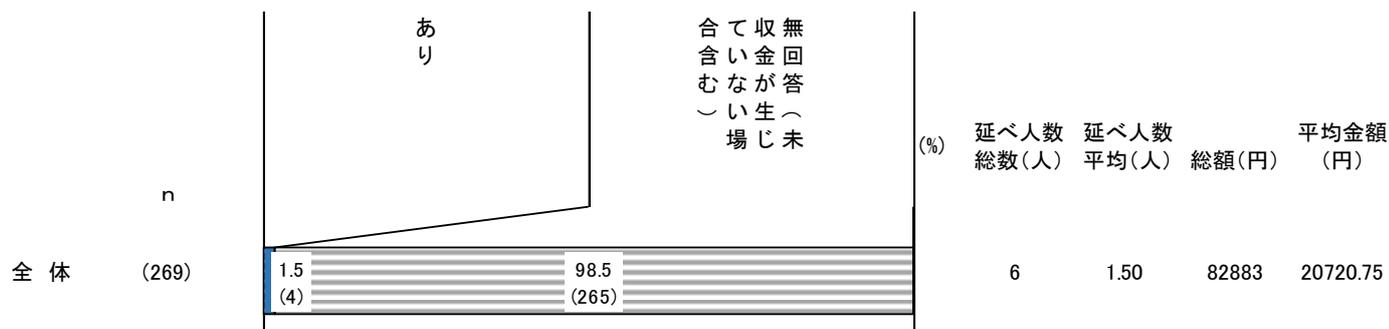


(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)

未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、4件 (1.5%) となっており、延べ人数はそれぞれ 6人、平均人数は 1.5人となっている。

未収金額の総額は、82,883円 (平均 20,720.75円) となっている。

図表Ⅱ-4-2 未収金を生じた在留外国人患者 (人数/総額)

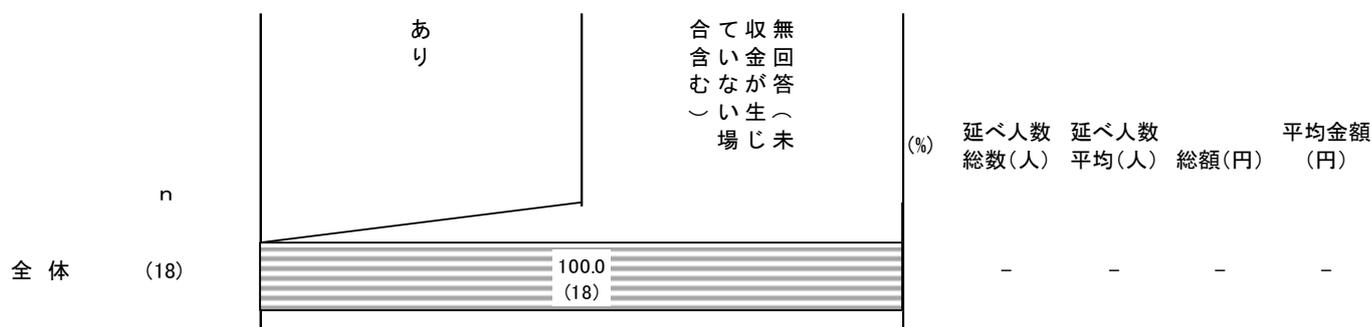


※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

(3) 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) (FA)

未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) がいたと回答した医療機関はなかった。

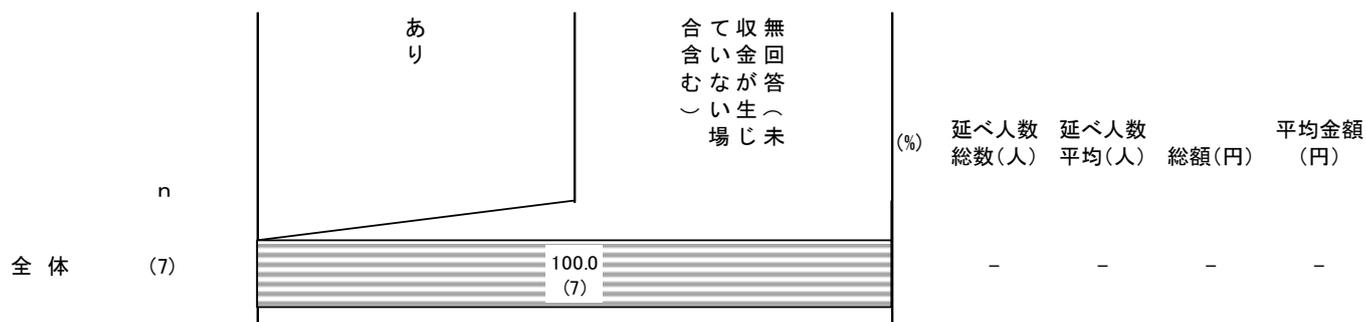
図表Ⅱ-4-3 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) (人数/総額)



(4) 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) (FA)

未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) がいたと回答した医療機関はなかった。

図表Ⅱ-4-4 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) (人数/総額)



< 卷末資料 >

調查票

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票A(病院用)医療機関における受入体制に関する調査票**

- 本調査の調査票は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- 調査票A(病院用)は、貴院における外国人※患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするものです。
※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和2年9月1日時点の状況をお答えください。**
- 回答欄が黒色で塗られた質問は、特定の回答をした方に対する質問となります。

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください

ふりがな			
医療機関名			
所在地	〒	都道府県名	市区町村名 番地
医療機関コード			
開設者			
許可病床数	床		
総患者数	令和元年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の「延べ」患者数(日本人・外国人を問わず)	外来	名
		入院	名

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するもの**全て**にクリックしてチェックを入れてください。

医療機関の種別	回答
1. 特定機能病院	<input type="checkbox"/>
2. 地域医療支援病院	<input type="checkbox"/>
3. 第2次救急医療機関	<input type="checkbox"/>
4. 救命救急センター	<input type="checkbox"/>
5. 災害拠点病院	<input type="checkbox"/>
6. 周産期母子医療センター	<input type="checkbox"/>
7. ジャパンインターナショナルホスピタルズ※1	<input type="checkbox"/>
8. JMIP認証病院※2	<input type="checkbox"/>

※1— 一般社団法人Medical Excellence JAPANにより推奨されている医療機関をいいます。
※2— 一般社団法人日本医療教育財団により認証された医療機関をいいます。

1-3. 貴院が標榜している診療科目について、該当するもの**全て**にクリックしてチェックを入れてください。

診療科目	回答	診療科目	回答	診療科目	回答
1. 内科	<input type="checkbox"/>	16. 外科	<input type="checkbox"/>	31. 産婦人科	<input type="checkbox"/>
2. 呼吸器内科	<input type="checkbox"/>	17. 呼吸器外科	<input type="checkbox"/>	32. 産科	<input type="checkbox"/>
3. 循環器内科	<input type="checkbox"/>	18. 心臓血管外科	<input type="checkbox"/>	33. 婦人科	<input type="checkbox"/>
4. 消化器内科(胃腸内科)	<input type="checkbox"/>	19. 乳腺外科	<input type="checkbox"/>	34. リハビリテーション科	<input type="checkbox"/>
5. 腎臓内科	<input type="checkbox"/>	20. 気管食道外科	<input type="checkbox"/>	35. 放射線科	<input type="checkbox"/>
6. 神経内科	<input type="checkbox"/>	21. 消化器外科(胃腸外科)	<input type="checkbox"/>	36. 麻酔科	<input type="checkbox"/>
7. 糖尿病内科(代謝内科)	<input type="checkbox"/>	22. 泌尿器科	<input type="checkbox"/>	37. 病理診断科	<input type="checkbox"/>
8. 血液内科	<input type="checkbox"/>	23. 肛門外科	<input type="checkbox"/>	38. 臨床検査科	<input type="checkbox"/>
9. 皮膚科	<input type="checkbox"/>	24. 脳神経外科	<input type="checkbox"/>	39. 救急科	<input type="checkbox"/>
10. アレルギー科	<input type="checkbox"/>	25. 整形外科	<input type="checkbox"/>	40. 歯科	<input type="checkbox"/>
11. リウマチ科	<input type="checkbox"/>	26. 形成外科	<input type="checkbox"/>	41. 矯正歯科	<input type="checkbox"/>
12. 感染症内科	<input type="checkbox"/>	27. 美容外科	<input type="checkbox"/>	42. 小児歯科	<input type="checkbox"/>
13. 小児科	<input type="checkbox"/>	28. 眼科	<input type="checkbox"/>	43. 歯科口腔外科	<input type="checkbox"/>
14. 精神科	<input type="checkbox"/>	29. 耳鼻いんこう科	<input type="checkbox"/>		
15. 心療内科	<input type="checkbox"/>	30. 小児外科	<input type="checkbox"/>		

2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて伺います。
以下の5つの取り組みについて、各ホームページにアクセスして内容を確認した後、該当する回答を選択肢から選んでください。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173230_00003.html	<input type="radio"/> 内容を知っていた <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
2. 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou.iryuu/iryuu/newpage_00002.html	<input type="radio"/> 利用したことがある、あるいは登録している <input type="radio"/> 内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
3. 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業 https://emergency.co.jp/onestop/	<input type="radio"/> 利用したことがある <input type="radio"/> 内容を知っていたが利用したことはなかった <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
4. 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou.iryuu/iryuu/newpage_08951.html	<input type="radio"/> 利用したことがある <input type="radio"/> 内容を知っていたが利用したことはなかった <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
5. 外国人向け多言語説明資料 一覧 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou.iryuu/iryuu/kokusai/setsumeiml.html	<input type="radio"/> 利用したことがある <input type="radio"/> 内容を知っていたが利用したことはなかった <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった

3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 貴院における外国人患者の受入れに関する体制について伺います。

質問	回答
1. 自院における外国人患者の受診状況 (患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)	<input type="radio"/> 詳しく把握している <input type="radio"/> おおまかに把握している <input type="radio"/> 把握していない
2. 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出	<input type="radio"/> 実施している <input type="radio"/> 実施していない
3. 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」※について ※外国人患者受入れ体制整備方針とは、「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル (https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000646749.pdf#page=41)」の41ページ目に記載されている、医療費の設定、医療費概算の提示方法、通訳体制、院内文書の多言語化、マニュアルの整備などを検討することをいいます。	<input type="radio"/> 整備している <input type="radio"/> 作成中(作成検討中)である <input type="radio"/> 整備していない

3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者対応の専門部署	<input type="radio"/> 部署あり ⇒3-2-2. 職員数へ <input type="radio"/> 部署なし ⇒3-2-3. マニュアルへ
2. 外国人担当の専門部署の職員数	人
3. 外国人対応マニュアルの整備状況	<input type="radio"/> 整備している <input type="radio"/> 作成中(作成検討中)である <input type="radio"/> 整備していない

3-5. 電話通訳(遠隔通訳)※について伺います。

※電話通訳とは、映像を伴わない音声のみの遠隔通訳をいいます。

質問	回答
1. 電話通訳(遠隔通訳)の利用の有無	<input type="radio"/> 利用している ⇒3-5-2. サービス名へ <input type="radio"/> 利用していない ⇒3-6. ビデオ通訳へ
2. 利用しているサービス名(事業者)	サービス名についてご記入ください。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
3. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	<input type="radio"/> 平日の日勤帯 <input type="radio"/> 24時間 <input type="radio"/> その他
4. 電話通訳(遠隔通訳)が対応している言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的に記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-6. ビデオ通訳(遠隔通訳)について伺います。

※ビデオ通訳とは、映像を伴う遠隔通訳をいいます。

質問	回答
1. ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用の有無	<input type="radio"/> 利用している ⇒3-6-2. サービス名へ <input type="radio"/> 利用していない ⇒3-7. タブレット端末等へ
2. 利用しているサービス名(事業者)	サービス名についてご記入ください。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
3. ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	<input type="radio"/> 平日の日勤帯 <input type="radio"/> 24時間 <input type="radio"/> その他
4. ビデオ通訳(遠隔通訳)が対応している言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的に記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、またはその他翻訳機器の導入状況	<input type="radio"/> 医療機関として導入している ⇒3-7-2 機能へ <input checked="" type="radio"/> 導入していない、または、医療従事者が個人で使用している ⇒3-8. 案内図へ
2. 端末に備わっている機能 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> マニュアル、説明書等、資料の表示 <input type="checkbox"/> 決済機能 <input type="checkbox"/> 翻訳機能 ⇒3-7-3. 対応言語へ <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
3. (翻訳機能を備えている場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> ロシア語 <input type="checkbox"/> タガログ語 <input type="checkbox"/> インドネシア語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-8. 院内案内図、院内表示について伺います。

質問	回答
1. 院内案内図、院内表示の状況	<input type="radio"/> 日本語以外に翻訳している ⇒3-8-2. 対応言語へ <input checked="" type="radio"/> 日本語のみ ⇒3-9. その他の取り組みへ
2. (翻訳している場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-9. その他、貴院において多言語に対応するために行っている取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

4. 医療費について

自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

質問	回答
1. 診療報酬点数表1点あたりの請求額(税抜き)	<input type="radio"/> 1点あたり10円以下 <input type="radio"/> 1点あたり10円より大きく15円以下 <input type="radio"/> 1点あたり15円より大きく20円以下 <input type="radio"/> 1点あたり20円より大きい <input checked="" type="radio"/> 診療報酬点数表を用いていない
2. 診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の請求 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 通訳料 <input type="checkbox"/> 医師の診療時間に応じた料金 <input type="checkbox"/> 診断書作成料等の事務手数料 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

5. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について伺います。

質問	回答
1. クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済	<input type="radio"/> 導入している <input type="radio"/> 導入していない
2. 非接触カードを利用した決済	<input type="radio"/> 導入している ⇒5-3. 対応しているサービスへ <input type="radio"/> 導入していない ⇒5-4. QRコードを利用した決済へ
3. (非接触カードを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等) <input type="checkbox"/> nanaco <input type="checkbox"/> WAON <input type="checkbox"/> 楽天Edy <input type="checkbox"/> QUICPay <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
4. QRコードを利用した決済	<input type="radio"/> 導入している ⇒5-5. 対応しているサービスへ <input type="radio"/> 導入していない ⇒5-6. その他の決済サービスへ
5. (QRコードを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> Alipay(アリペイ) <input type="checkbox"/> WeChat Pay(ウィーチャットペイ) <input type="checkbox"/> PayPay(ペイペイ) <input type="checkbox"/> LINE Pay(ラインペイ) <input type="checkbox"/> 楽天ペイ <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
6. その他の決済サービス	サービス名についてご記入ください。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

6. 未収金等への対策

6-1. 訪日外国人患者※を診療する際に実施している、取り組みについて伺います。

※訪日外国人とは、観光等の目的で日本に短期間訪日している外国人をいいます。

質問	回答
1. 取り組みの内容 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> パスポート等、身分証の確認 <input type="checkbox"/> パスポート等、身分証のコピーの保存 <input type="checkbox"/> 価格について事前説明 <input type="checkbox"/> 診療内容の事前説明 <input type="checkbox"/> 同意書の取得 ⇒6-1-2. 同意の内容へ <input type="checkbox"/> 海外旅行保険など医療保険の加入有無の事前確認 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。
2. (同意書を取得している場合)同意の内容 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 診療に協力すること <input type="checkbox"/> 請求された金額を支払うこと <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。

6-2. 在留外国人患者※を診療する際に実施している、取り組みについて伺います。

※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。

質問	回答
1. 外国人患者に対する本人確認の有無	<input type="radio"/> 本人確認をしている ⇒6-2-2. 本人確認資料へ <input type="radio"/> 本人確認をしていない ⇒6-3. 医療費の回収方法へ
2. (本人確認をしている場合)確認の際に提示を求めているもの (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 在留カード <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法について伺います。

質問	回答
1. 医療費の回収方法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用 <input type="checkbox"/> 分割払いの実施 <input type="checkbox"/> 外国人患者の宿泊先で宿泊費とまとめて支払い、後日宿泊先と精算 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。

7. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が個人情報情報を匿名化した上で、都道府県や厚生労働省科学研究事業に共有します。共有に**同意しない場合**にチェックをつけてください。

8. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせる際のご連絡先

ふりがな	
お名前	
ご所属・職名	
電話番号	
メールアドレス	

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票B(病院用) 外国人患者の受入に関する調査票**

- 本調査の調査票は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- 調査票B(病院用)は、貴院における外国人※患者受入れの実績等についてお尋ねするものです。
※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和2年10月1日～10月31日に受診した外国人についてお答えください。**
- 回答欄が黒色で塗られた質問は、特定の回答をした方に対する質問となります。

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください

ふりがな			
医療機関名			
所在地	〒		
	都道府県名	市区町村名	番地
医療機関コード			

2. 在留外国人患者の受入れ実績について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた在留外国人患者※について伺います。

※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。保険証を所持していても、在留外国人であるかどうかについては必ずしも容易に確認できないことから、**把握できる限り**で記載ください。

質問	回答																								
1. 受入れた※在留外国人の延べ患者数 ※期間内に医療を提供した患者	<table border="0"> <tr> <td>外来</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>名</td> </tr> </table>	外来	名	入院	名																				
外来	名																								
入院	名																								
2. 上記1のうち公的医療保険の未加入者数※ ※在留外国人の多くは公的医療保険に加入しています	<table border="0"> <tr> <td>外来</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>名</td> </tr> </table>	外来	名	入院	名																				
外来	名																								
入院	名																								
3. 上記2のうち民間医療保険の利用者数	<table border="0"> <tr> <td>外来</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>名</td> </tr> </table>	外来	名	入院	名																				
外来	名																								
入院	名																								
4. 上記1について国籍別の延べ患者数	<table border="0"> <tr> <td>中国</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>ベトナム</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>フィリピン</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>インドネシア</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>オーストラリア</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>モンゴル</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>ロシア</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>アメリカ合衆国</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>カナダ</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>名</td> </tr> </table> <p>その他の内訳をご記入下さい。</p>	中国	名	韓国	名	ベトナム	名	フィリピン	名	インドネシア	名	オーストラリア	名	モンゴル	名	ロシア	名	アメリカ合衆国	名	カナダ	名	不明	名	その他	名
中国	名																								
韓国	名																								
ベトナム	名																								
フィリピン	名																								
インドネシア	名																								
オーストラリア	名																								
モンゴル	名																								
ロシア	名																								
アメリカ合衆国	名																								
カナダ	名																								
不明	名																								
その他	名																								

3. 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れ実績について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)※について伺います。

※訪日外国人患者とは、観光等の目的で日本に短期間訪日している外国人をいいます。医療を目的に訪日した外国人は含めないで下さい。

質問	回答																								
1. 受入れた※訪日外国人(医療渡航を除く)の延べ患者数 ※期間内に医療を提供した患者	<table border="0"> <tr> <td>外来</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>名</td> </tr> </table>	外来	名	入院	名																				
外来	名																								
入院	名																								
2. 上記1のうち民間医療保険の利用者数	<table border="0"> <tr> <td>外来</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>名</td> </tr> </table>	外来	名	入院	名																				
外来	名																								
入院	名																								
3. 上記1について国籍別の延べ患者数	<table border="0"> <tr><td>中国</td><td>名</td></tr> <tr><td>韓国</td><td>名</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>名</td></tr> <tr><td>フィリピン</td><td>名</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>オーストラリア</td><td>名</td></tr> <tr><td>モンゴル</td><td>名</td></tr> <tr><td>ロシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>アメリカ合衆国</td><td>名</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>名</td></tr> <tr><td>不明</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> </table> <p>その他の内訳をご記入下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	中国	名	韓国	名	ベトナム	名	フィリピン	名	インドネシア	名	オーストラリア	名	モンゴル	名	ロシア	名	アメリカ合衆国	名	カナダ	名	不明	名	その他	名
中国	名																								
韓国	名																								
ベトナム	名																								
フィリピン	名																								
インドネシア	名																								
オーストラリア	名																								
モンゴル	名																								
ロシア	名																								
アメリカ合衆国	名																								
カナダ	名																								
不明	名																								
その他	名																								
4. 期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者(医療渡航を除く)への自由診療による収益の割合	<p> <input type="radio"/> 5%未満 <input type="radio"/> 5%以上10%未満 <input type="radio"/> 10%以上15%未満 <input type="radio"/> 15%以上 <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 公表していない </p>																								

4. 訪日外国人患者(医療目的)の受入れ実績について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療目的)※について伺います。

※訪日外国人患者(医療目的)とは、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で来日した外国人をいいます。

質問	回答
1. 受入れた※訪日外国人(医療目的)の延べ患者数 ※期間内に医療を提供した患者	外来・入院 <input type="text"/> 名 健診のみ <input type="text"/> 名
2. 上記1のうち民間医療保険の利用者数	外来・入院 <input type="text"/> 名 健診のみ <input type="text"/> 名
3. 上記1について国籍別の延べ患者数	中国 <input type="text"/> 名 韓国 <input type="text"/> 名 ベトナム <input type="text"/> 名 フィリピン <input type="text"/> 名 インドネシア <input type="text"/> 名 オーストラリア <input type="text"/> 名 モンゴル <input type="text"/> 名 ロシア <input type="text"/> 名 アメリカ合衆国 <input type="text"/> 名 カナダ <input type="text"/> 名 不明 <input type="text"/> 名 その他 <input type="text"/> 名 その他の内訳をご記入下さい。 <input type="text"/>
4. 上記1について病名別※の延べ患者数 ※ICD-10コード(2013年版)に基づいて、最も費用を要した病名を1人の患者につき1つ選んでください。	悪性新生物(C00-C97) <input type="text"/> 名 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89) <input type="text"/> 名 眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95) <input type="text"/> 名 循環器系疾患(100-199) <input type="text"/> 名 呼吸器系疾患(J00-J99) <input type="text"/> 名 歯科疾患を除く消化器系疾患(K00-K94) <input type="text"/> 名 歯科疾患(管理等含む) <input type="text"/> 名 筋骨格系及び結合組織疾患(M00-M94) <input type="text"/> 名 腎尿路生殖器系疾患(N00-N99) <input type="text"/> 名 妊娠、分娩及び産褥(O00-O99) <input type="text"/> 名 損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98) <input type="text"/> 名 その他 <input type="text"/> 名 その他の内訳をご記入下さい。 <input type="text"/>
5. 期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者(医療目的)への自由診療による収益の割合	<input type="radio"/> 5%未満 <input type="radio"/> 5%以上10%未満 <input type="radio"/> 10%以上15%未満 <input type="radio"/> 15%以上 <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 公表していない

5. 未収金を生じた患者の詳細について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた外国人患者※1のうち、未収金を生じた**全ての患者**※2について、以下の表にご記入ください。

※1 受入れた患者とは、期間内に医療を提供した患者をいいます。

※2 未収金を生じた患者とは、診療の対価を請求したに関わらず、請求日より1ヶ月を経ても診療費の一部又は全部が未収である患者を指すこととします。

ID	外国人分類	受診区分	請求総額(円)	未収金額(円)	公的医療保険の加入状況	民間医療保険の加入状況	医療機関が加入する保険や自治体等による未収金の補填	未収金の理由
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

6. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂こう、厚生労働省が個人情報を匿名化した上で、都道府県や厚生労働省科学研究事業に共有します。共有に**同意しない場合**にチェックをつけてください。

7. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせる際のご連絡先

ふりがな	
お名前	
ご所属・職名	
電話番号	
メールアドレス	

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票A(診療所用)医療機関における受入体制に関する調査票**

- 本調査の調査票は、京都府及び沖縄県の診療所(歯科診療所を含む)を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- 調査票A(診療所用)は、貴院における外国人※患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするものです。
※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和2年9月1日時点の状況をお答えください。**
- 回答欄が黒色で塗られた質問は、特定の回答をした方に対する質問となります。

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください

ふりがな			
医療機関名			
所在地	〒		
	都道府県名	市区町村名	番地
医療機関コード			
開設者			
病床の有無			
総患者数	令和元年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の「延べ」患者数(日本人・外国人を問わず)		
	外来	名	
	入院	名	

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するもの**全て**にクリックしてチェックを入れてください。

医療機関の種別	回答
1. 一般診療所	<input type="checkbox"/>
2. 歯科診療所	<input type="checkbox"/>

1-3. 貴院が標榜している診療科目について、該当するもの**全て**にクリックしてチェックを入れてください。

診療科目	回答	診療科目	回答	診療科目	回答
1. 内科	<input type="checkbox"/>	16. 外科	<input type="checkbox"/>	31. 産婦人科	<input type="checkbox"/>
2. 呼吸器内科	<input type="checkbox"/>	17. 呼吸器外科	<input type="checkbox"/>	32. 産科	<input type="checkbox"/>
3. 循環器内科	<input type="checkbox"/>	18. 心臓血管外科	<input type="checkbox"/>	33. 婦人科	<input type="checkbox"/>
4. 消化器内科(胃腸内科)	<input type="checkbox"/>	19. 乳腺外科	<input type="checkbox"/>	34. リハビリテーション科	<input type="checkbox"/>
5. 腎臓内科	<input type="checkbox"/>	20. 気管食道外科	<input type="checkbox"/>	35. 放射線科	<input type="checkbox"/>
6. 神経内科	<input type="checkbox"/>	21. 消化器外科(胃腸外科)	<input type="checkbox"/>	36. 麻酔科	<input type="checkbox"/>
7. 糖尿病内科(代謝内科)	<input type="checkbox"/>	22. 泌尿器科	<input type="checkbox"/>	37. 病理診断科	<input type="checkbox"/>
8. 血液内科	<input type="checkbox"/>	23. 肛門外科	<input type="checkbox"/>	38. 臨床検査科	<input type="checkbox"/>
9. 皮膚科	<input type="checkbox"/>	24. 脳神経外科	<input type="checkbox"/>	39. 救急科	<input type="checkbox"/>
10. アレルギー科	<input type="checkbox"/>	25. 整形外科	<input type="checkbox"/>	40. 歯科	<input type="checkbox"/>
11. リウマチ科	<input type="checkbox"/>	26. 形成外科	<input type="checkbox"/>	41. 矯正歯科	<input type="checkbox"/>
12. 感染症内科	<input type="checkbox"/>	27. 美容外科	<input type="checkbox"/>	42. 小児歯科	<input type="checkbox"/>
13. 小児科	<input type="checkbox"/>	28. 眼科	<input type="checkbox"/>	43. 歯科口腔外科	<input type="checkbox"/>
14. 精神科	<input type="checkbox"/>	29. 耳鼻いんこう科	<input type="checkbox"/>		
15. 心療内科	<input type="checkbox"/>	30. 小児外科	<input type="checkbox"/>		

2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて伺います。
以下の5つの取り組みについて、各ホームページにアクセスして内容を確認した後、
該当する回答を選択肢から選んでください。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173230_00003.html	<input type="radio"/> 内容を知っていた <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
2. 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/newpage_00002.html	<input type="radio"/> 利用したことがある、あるいは登録している <input type="radio"/> 内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
3. 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業 https://emergency.go.jp/onestop/	<input type="radio"/> 利用したことがある <input type="radio"/> 内容を知っていたが利用したことはなかった <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
4. 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/newpage_08951.html	<input type="radio"/> 利用したことがある <input type="radio"/> 内容を知っていたが利用したことはなかった <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった
5. 外国人向け多言語説明資料 一覧 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/kokusai/setsumei-mj.html	<input type="radio"/> 利用したことがある <input type="radio"/> 内容を知っていたが利用したことはなかった <input type="radio"/> 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった <input type="radio"/> 知らなかった

3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 貴院における外国人患者の受入れに関する体制について伺います。

質問	回答
1. 自院における外国人患者の受診状況 (患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)	<input type="radio"/> 詳しく把握している <input type="radio"/> おおまかに把握している <input type="radio"/> 把握していない
2. 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出	<input type="radio"/> 実施している <input type="radio"/> 実施していない
3. 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」※について ※外国人患者受入れ体制整備方針とは、「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル (https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000640749.pdf#page=41)」の41ページ目に記載されている、医療費の設定、医療費概算の提示方法、通訳体制、院内文書の多言語化、マニュアルの整備などを検討することをいいます。	<input type="radio"/> 整備している <input type="radio"/> 作成中(作成検討中)である <input type="radio"/> 整備していない

3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者対応の専門部署	<input type="radio"/> 部署あり ⇒3-2-2. 職員数へ <input type="radio"/> 部署なし ⇒3-2-3. マニュアルへ
2. 外国人担当の専門部署の職員数	<input type="text" value=""/> 人
3. 外国人対応マニュアルの整備状況	<input type="radio"/> 整備している <input type="radio"/> 作成中(作成検討中)である <input type="radio"/> 整備していない

3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター※ について伺います。

※外国人患者受入れ医療コーディネーターとは「外国人患者を受入れるための院内や院外関係者との調整を中心と
なってコーディネートする役割を担う職員」をいいます。通訳のみの役割を担う職員は「外国人患者受入れ医療コ
ーディネーター」には該当しません。

質問	回答
1. 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数	<input type="radio"/> 0人 ⇒3-4. 医療通訳へ <input type="radio"/> 1人 } <input type="radio"/> 2人 } <input type="radio"/> 3人以上 }
2. 専任・兼任の別	<input type="radio"/> 専任のみ配置 ⇒3-3-4. 常勤・非常勤の別へ <input type="radio"/> 専任・兼任とも配置 ⇒3-3-3. 職種へ <input type="radio"/> 兼任のみ配置 ⇒3-3-3. 職種へ
3. (兼任の場合)医療コーディネーターの職種 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> その他医療関係の有資格者 <input type="checkbox"/> 事務職員(医療通訳を除く) <input type="checkbox"/> 医療通訳 <input type="checkbox"/> その他
4. 常勤・非常勤の別	<input type="radio"/> 常勤のみ配置 <input type="radio"/> 常勤・非常勤とも配置 <input type="radio"/> 非常勤のみ配置
5. 週の中でコーディネーターがカバーしている日時	<input type="radio"/> 平日の日勤帯 <input type="radio"/> 24時間 <input type="radio"/> その他
6. コーディネーターの役割 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 外国人患者対応に特有の院外関係者(大使館や旅行会社、通訳者など)との連絡調整 <input type="checkbox"/> 日本人患者でも発生する院外関係者(地域の医療機関や保健所など)との連絡調整 <input type="checkbox"/> 院内の部署・職種間の連絡調整 <input type="checkbox"/> 患者や患者家族とのコミュニケーション <input type="checkbox"/> 自身による通訳の実施 ⇒3-3-7 対応言語へ <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
7. (自身による通訳を実施している場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-4. 医療通訳※ について伺います。

※外国人患者受入れ医療コーディネーターが通訳を担当している場合は、3-3でお答えください。

質問	回答
1. 医療通訳の人数	<input type="radio"/> 0人 ⇒3-4-7 患者自身による医療通訳の手配へ <input type="radio"/> 1人) <input type="radio"/> 2人) ⇒3-4-2. 専任・兼任の別へ <input type="radio"/> 3人以上)
2. 専任・兼任の別	<input type="radio"/> 専任のみ配置 ⇒3-4-4. 常勤・非常勤の別へ <input type="radio"/> 専任・兼任とも配置 ⇒3-4-3. 職種へ <input type="radio"/> 兼任のみ配置 ⇒3-4-3. 職種へ
3. (兼任の場合)医療通訳の職種 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> その他医療関係の有資格者 <input type="checkbox"/> 事務職員 <input type="checkbox"/> その他
4. 常勤・非常勤の別	<input type="radio"/> 常勤のみ配置 <input type="radio"/> 常勤・非常勤とも配置 <input type="radio"/> 非常勤のみ配置
5. 週の中で医療通訳がカバーしている日時	<input type="radio"/> 平日の日勤帯 <input type="radio"/> 24時間 <input type="radio"/> その他
6. 対応言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
7. 患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に案内している(医療機関のホームページ等による案内も含む)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

3-5. 電話通訳(遠隔通訳)※ について伺います。

※電話通訳とは、映像を伴わない音声のみの遠隔通訳をいいます。

質問	回答
1. 電話通訳(遠隔通訳)の利用の有無	<input type="radio"/> 利用している ⇒3-5-2. サービス名へ <input type="radio"/> 利用していない ⇒3-6. ビデオ通訳へ
2. 利用しているサービス名(事業者)	サービス名についてご記入ください。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
3. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	<input type="radio"/> 平日の日勤帯 <input type="radio"/> 24時間 <input type="radio"/> その他
4. 電話通訳(遠隔通訳)が対応している言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-6. ビデオ通訳(遠隔通訳)について伺います。

※ビデオ通訳とは、映像を伴う遠隔通訳をいいます。

質問	回答
1. ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用の有無	<input type="radio"/> 利用している ⇒3-6-2. サービス名へ <input type="radio"/> 利用していない ⇒3-7. タブレット端末等へ
2. 利用しているサービス名(事業者)	サービス名についてご記入ください。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
3. ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	<input type="radio"/> 平日の日勤帯 <input type="radio"/> 24時間 <input type="radio"/> その他
4. ビデオ通訳(遠隔通訳)が対応している言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、またはその他翻訳機器の導入状況	<input type="radio"/> 医療機関として導入している ⇒3-7-2 機能へ <input type="radio"/> 導入していない、または、医療従事者が個人で使用している ⇒3-8. 案内図へ
2. 端末に備わっている機能 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> マニュアル、説明書等、資料の表示 <input type="checkbox"/> 決済機能 <input type="checkbox"/> 翻訳機能 ⇒3-7-3. 対応言語へ <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
3. (翻訳機能を備えている場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> ロシア語 <input type="checkbox"/> タガログ語 <input type="checkbox"/> インドネシア語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-8. 院内案内図、院内表示について伺います。

質問	回答
1. 院内案内図、院内表示の状況	<input type="radio"/> 日本語以外に翻訳している ⇒3-8-2. 対応言語へ <input type="radio"/> 日本語のみ ⇒3-9. その他の取り組みへ
2. (翻訳している場合)対応言語 (該当するものを全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語 <input type="checkbox"/> ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ベトナム語 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-9. その他、貴院において多言語に対応するために行っている取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

4. 医療費について

自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

質問	回答
1. 診療報酬点数表1点あたりの請求額(税抜き)	<input type="radio"/> 1点あたり10円以下 <input type="radio"/> 1点あたり10円より大きく15円以下 <input type="radio"/> 1点あたり15円より大きく20円以下 <input type="radio"/> 1点あたり20円より大きい <input type="radio"/> 診療報酬点数表を用いていない
2. 診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の請求 (該当するものを全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 通訳料 <input type="checkbox"/> 医師の診療時間に応じた料金 <input type="checkbox"/> 診断書作成料等の事務手数料 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

5. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について伺います。

質問	回答
1. クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済	<input type="radio"/> 導入している <input checked="" type="radio"/> 導入していない
2. 非接触カードを利用した決済	<input type="radio"/> 導入している ⇒5-3. 対応しているサービスへ <input checked="" type="radio"/> 導入していない ⇒5-4. QRコードを利用した決済へ
3. (非接触カードを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等) <input type="checkbox"/> nanaco <input type="checkbox"/> WAON <input type="checkbox"/> 楽天Edy <input type="checkbox"/> QUICPay <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
4. QRコードを利用した決済	<input type="radio"/> 導入している ⇒5-5. 対応しているサービスへ <input checked="" type="radio"/> 導入していない ⇒5-6. その他の決済サービスへ
5. (QRコードを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> Alipay(アリペイ) <input type="checkbox"/> WeChat Pay(ウィーチャット・ペイ) <input type="checkbox"/> PayPay(ペイペイ) <input type="checkbox"/> LINE Pay(ラインペイ) <input type="checkbox"/> 楽天ペイ <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
6. その他の決済サービス	サービス名についてご記入ください。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

6. 未収金等への対策

6-1. 訪日外国人患者※を診療する際に実施している、取り組みについて伺います。

※訪日外国人とは、観光等の目的で日本に短期間訪日している外国人をいいます。

質問	回答
1. 取り組みの内容 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> バスポート等、身分証の確認 <input type="checkbox"/> バスポート等、身分証のコピーの保存 <input type="checkbox"/> 価格について事前説明 <input type="checkbox"/> 診療内容の事前説明 <input type="checkbox"/> 同意書の取得 ⇒6-1-2. 同意の内容へ <input type="checkbox"/> 海外旅行保険など医療保険の加入有無の事前確認 <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>
2. (同意書を取得している場合)同意の内容 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 診療に協力すること <input type="checkbox"/> 請求された金額を支払うこと <input type="checkbox"/> その他 その他について具体的にご記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

6-2. 在留外国人患者※を診療する際に実施している、取り組みについて伺います。

※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。

質問	回答
1. 外国人患者に対する本人確認の有無	<input type="radio"/> 本人確認をしている ⇒6-2-2. 本人確認資料へ <input checked="" type="radio"/> 本人確認をしていない ⇒6-3. 医療費の回収方法へ
2. (本人確認をしている場合) 確認の際に提示を求めているもの (該当するものを全てにチェック)	<input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 在留カード <input checked="" type="checkbox"/> その他 その他について具体的に記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法について伺います。

質問	回答
1. 医療費の回収方法 (該当するものを全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用 <input type="checkbox"/> 分割払いの実施 <input type="checkbox"/> 外国人患者の宿泊先で宿泊費とまとめて支払い、後日宿泊先と精算 <input checked="" type="checkbox"/> その他 その他について具体的に記入下さい。 <div style="background-color: #ffffcc; height: 20px; width: 100%;"></div>

7. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が個人情報を匿名化した上で、都道府県や厚生労働省科学研究事業に共有します。共有に**同意しない場合**にチェックをつけてください。

8. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせる際のご連絡先

ふりがな	
お名前	
ご所属・職名	
電話番号	
メールアドレス	

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票B(診療所用) 外国人患者の受入に関する調査票**

- 本調査の調査票は、京都府及び沖縄県の診療所(歯科診療所を含む)を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- 調査票B(診療所用)は、貴院における外国人※患者受入れの実績等についてお尋ねするものです。
※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和2年10月1日～10月31日に受診した外国人についてお答えください。**
- 回答欄が黒色で塗られた質問は、特定の回答をした方に対する質問となります。

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください

ふりがな			
医療機関名			
所在地	〒	都道府県名	市区町村名 番地
医療機関コード			

2. 在留外国人患者の受入れ実績について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた在留外国人患者※ について伺います。

※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。保険証を所持していても、在留外国人であるかどうかについては必ずしも容易に確認できないことから、**把握できる限り**で記載ください。

質問	回答																								
1. 受入れた※在留外国人の延べ患者数 ※期間内に医療を提供した患者	名																								
2. 上記1のうち公的医療保険の未加入者数※ ※在留外国人の多くは公的医療保険に加入しています	名																								
3. 上記2のうち民間医療保険の利用者数	名																								
4. 上記1について国籍別の延べ患者数	<table border="0"> <tr><td>中国</td><td>名</td></tr> <tr><td>韓国</td><td>名</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>名</td></tr> <tr><td>フィリピン</td><td>名</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>オーストラリア</td><td>名</td></tr> <tr><td>モンゴル</td><td>名</td></tr> <tr><td>ロシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>アメリカ合衆国</td><td>名</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>名</td></tr> <tr><td>不明</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> </table> <p>その他の内訳をご記入下さい。</p>	中国	名	韓国	名	ベトナム	名	フィリピン	名	インドネシア	名	オーストラリア	名	モンゴル	名	ロシア	名	アメリカ合衆国	名	カナダ	名	不明	名	その他	名
中国	名																								
韓国	名																								
ベトナム	名																								
フィリピン	名																								
インドネシア	名																								
オーストラリア	名																								
モンゴル	名																								
ロシア	名																								
アメリカ合衆国	名																								
カナダ	名																								
不明	名																								
その他	名																								

3. 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れ実績について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)※について伺います。

※訪日外国人患者とは、観光等の目的で日本に短期間訪日している外国人をいいます。医療を目的に訪日した外国人は含めないで下さい。

質問	回答																								
1. 受入れた※訪日外国人(医療渡航を除く)の延べ患者数 ※期間内に医療を提供した患者	名																								
2. 上記1のうち民間医療保険の利用者数	名																								
3. 上記1について国籍別の延べ患者数	<table border="1"> <tr><td>中国</td><td>名</td></tr> <tr><td>韓国</td><td>名</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>名</td></tr> <tr><td>フィリピン</td><td>名</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>オーストラリア</td><td>名</td></tr> <tr><td>モンゴル</td><td>名</td></tr> <tr><td>ロシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>アメリカ合衆国</td><td>名</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>名</td></tr> <tr><td>不明</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> </table> <p>その他の内訳をご記入下さい。</p>	中国	名	韓国	名	ベトナム	名	フィリピン	名	インドネシア	名	オーストラリア	名	モンゴル	名	ロシア	名	アメリカ合衆国	名	カナダ	名	不明	名	その他	名
中国	名																								
韓国	名																								
ベトナム	名																								
フィリピン	名																								
インドネシア	名																								
オーストラリア	名																								
モンゴル	名																								
ロシア	名																								
アメリカ合衆国	名																								
カナダ	名																								
不明	名																								
その他	名																								
4. 期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者(医療渡航を除く)への自由診療による収益の割合	<input type="radio"/> 5%未満 <input type="radio"/> 5%以上10%未満 <input type="radio"/> 10%以上15%未満 <input type="radio"/> 15%以上 <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 公表していない																								

4. 訪日外国人患者(医療目的)の受入れ実績について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療目的)※について伺います。

※訪日外国人患者(医療目的)とは、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で来日した外国人をいいます。

質問	回答																								
1. 受入れた※訪日外国人(医療目的)の延べ患者数 ※期間内に医療を提供した患者	名																								
2. 上記1のうち民間医療保険の利用者数	名																								
3. 上記1について国籍別の延べ患者数	<table border="1"> <tr><td>中国</td><td>名</td></tr> <tr><td>韓国</td><td>名</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>名</td></tr> <tr><td>フィリピン</td><td>名</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>オーストラリア</td><td>名</td></tr> <tr><td>モンゴル</td><td>名</td></tr> <tr><td>ロシア</td><td>名</td></tr> <tr><td>アメリカ合衆国</td><td>名</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>名</td></tr> <tr><td>不明</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> </table> <p>その他の内訳をご記入下さい。</p>	中国	名	韓国	名	ベトナム	名	フィリピン	名	インドネシア	名	オーストラリア	名	モンゴル	名	ロシア	名	アメリカ合衆国	名	カナダ	名	不明	名	その他	名
中国	名																								
韓国	名																								
ベトナム	名																								
フィリピン	名																								
インドネシア	名																								
オーストラリア	名																								
モンゴル	名																								
ロシア	名																								
アメリカ合衆国	名																								
カナダ	名																								
不明	名																								
その他	名																								
4. 上記1について病名別※の延べ患者数 ※ICD-10コード(2013年版)に基づいて、最も費用を要した病名を1人の患者につき1つ選んでください。	<table border="1"> <tr><td>悪性新生物(C00-C97)</td><td>名</td></tr> <tr><td>血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)</td><td>名</td></tr> <tr><td>眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95)</td><td>名</td></tr> <tr><td>循環器系疾患(I00-I99)</td><td>名</td></tr> <tr><td>呼吸器系疾患(J00-J99)</td><td>名</td></tr> <tr><td>歯科疾患を除く消化器系疾患(K00-K94)</td><td>名</td></tr> <tr><td>歯科疾患(管理等含む)</td><td>名</td></tr> <tr><td>筋骨格系及び結合組織疾患(M00-M94)</td><td>名</td></tr> <tr><td>腎尿路生殖系疾患(N00-N99)</td><td>名</td></tr> <tr><td>妊娠、分娩及び産褥(O00-O99)</td><td>名</td></tr> <tr><td>損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> </table> <p>その他の内訳をご記入下さい。</p>	悪性新生物(C00-C97)	名	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)	名	眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95)	名	循環器系疾患(I00-I99)	名	呼吸器系疾患(J00-J99)	名	歯科疾患を除く消化器系疾患(K00-K94)	名	歯科疾患(管理等含む)	名	筋骨格系及び結合組織疾患(M00-M94)	名	腎尿路生殖系疾患(N00-N99)	名	妊娠、分娩及び産褥(O00-O99)	名	損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)	名	その他	名
悪性新生物(C00-C97)	名																								
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)	名																								
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95)	名																								
循環器系疾患(I00-I99)	名																								
呼吸器系疾患(J00-J99)	名																								
歯科疾患を除く消化器系疾患(K00-K94)	名																								
歯科疾患(管理等含む)	名																								
筋骨格系及び結合組織疾患(M00-M94)	名																								
腎尿路生殖系疾患(N00-N99)	名																								
妊娠、分娩及び産褥(O00-O99)	名																								
損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)	名																								
その他	名																								
5. 期間内における、自院の診療による全収益に占める、訪日外国人患者(医療目的)への自由診療による収益の割合	<input type="radio"/> 5%未満 <input type="radio"/> 5%以上10%未満 <input type="radio"/> 10%以上15%未満 <input type="radio"/> 15%以上 <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 公表していない																								

5. 未収金を生じた患者の詳細について

令和2年10月1日～10月31日の期間に受入れた外国人患者※1のうち、未収金を生じた**全ての患者**※2について、以下の表にご記入ください。

※1 受入れた患者とは、期間内に医療を提供した患者をいいます。

※2 未収金を生じた患者とは、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より1ヶ月を経ても診療費の一部又は全部が未収である患者を指すこととします。

ID	外国人分類	請求総額(円)	未収金額(円)	公的医療 保険の加 入状況	民間医療 保険の加 入状況	医療機関が加入する保 険や自治体等による未 収金の補填	未収金の理由
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

6. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が個人情報を匿名化した上で、都道府県や厚生労働省科学研究事業に共有します。共有に**同意しない場合**にチェックをつけてください。

7. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせる際のご連絡先

ふりがな	
お名前	
ご所属・職名	
電話番号	
メールアドレス	